

**(仮)第3期川口市
地域福祉計画の策定に向けた
アンケート調査報告書**

令和5年10月

川口市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査方法・調査期間	3
3. 調査について	3
(1) 調査対象	3
(2) 回収率	3
(3) 調査項目	3
4. 各調査のまとめ	5
(1) 生活の状況について	5
(2) 地域とのつながりについて	5
(3) 地域活動について	6
(4) 今後の福祉施策について	6
(5) 再犯防止について	7
(6) 成年後見制度について	7
(7) 生活困窮者自立支援について	7
5. 報告書を見る際の注意事項	8
第2章 調査結果	9
1. 基本属性	11
(1) 性別（問1）	11
(2) 年齢（問2）	11
(3) 一緒に暮らしている人（問3）	12
(4) 世帯状況（問4）	13
(5) 現在の収入での暮らし（問5）	13
(6) 居住地域（問6）	14
2. 生活の状況について	15
(1) 定住意向（問7）	15
(2) 川口市の「良いところ」（問8-1）	16
(3) 川口市の「改善すべきところ」（問8-2）	18
(4) 地域福祉拠点や組織等の認知度（問9）	21
(5) 悩みや不安（問10）	22
(6) 日常生活で困ったときの相談先（問11）	24
(7) 相談しない理由（問11-2）	25
(8) 新型コロナウイルス感染症による生活への影響（問12）	26

(9) 主観的幸福感 (問 13)	27
3. 地域とのつながりについて.....	28
(1) 地域とのつながりの必要性 (問 14)	28
(2) 近所付き合いの程度 (問 15)	29
(3) 今後の近所付き合いについての意向 (問 16)	31
(4) 孤独感・孤立感 (問 17)	32
(5) 市内で活動している外国人との交流 (問 18)	33
(6) 地域での支えあいの状況 (問 19)	34
(7) 日常生活を送るうえで気にかかる方 (支援が必要と思われる) の有無 (問 20)	35
(8) 現在、気にかかる方にしていること (問 20-2)	36
(9) 困っている方がいる場合にできること (問 21-1)	38
(10) 日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをして もらいたいこと (問 21-2)	39
(11) 日常生活の困りごとや、気がかりな人に気づいたときに必要な 仕組み (問 22)	42
(12) 地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと (問 23)	43
4. 地域活動について.....	45
(1) 参加している地域活動の内容 (問 24-1)	45
(2) 今後取り組んでみたい地域活動 (問 24-2)	46
(3) 地域活動への参加依頼があった場合の参加意向 (問 25)	48
(4) 地域活動に参加しづらいと感じる理由 (問 26)	49
(5) 地域活動を広げていくために必要な支援 (問 27)	51
5. 今後の福祉施策について.....	52
(1) 川口市の福祉施策 (サービス) の充実度 (問 28)	52
(2) 福祉や健康について知りたい情報 (問 29)	53
(3) 福祉サービスに関する情報の入手先 (問 30)	56
(4) 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために 必要なこと (問 31)	59
(5) 地域福祉についての考え (問 32)	61
(6) 居住地域で災害時の備えとして必要なこと (問 33)	62
6. 再犯防止について.....	63
(1) 再犯防止における民間協力者の認知度 (問 34)	63
(2) 「社会を明るくする運動」の認知度 (問 35)	64
(3) 再犯防止のために行政が取り組むべきこと (問 36)	65
(4) 刑務所や少年院を出た人への支援 (問 37)	66

(5) 刑務所や少年院を出た人に支援すべきこと (問 37-2)	67
7. 成年後見制度について	68
(1) 成年後見制度の認知度 (問 38)	68
(2) 成年後見制度が必要になった際に不安なこと (問 39)	69
(3) 市民後見人の利用意向 (問 40)	70
(4) 市民後見人への志望 (問 41)	71
8. 生活困窮者自立支援について	72
(1) 生活困窮者自立支援制度の認知度 (問 42)	72
(2) 生活困窮時の相談先 (問 43)	73
9. 地域共生社会について	73
(1) 地域共生社会の認知度 (問 44)	73
資料編	75
アンケート調査票	77

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民各層の地域福祉にかかわる意識構造や施策ニーズ及び庁内関係課や各種団体責任者等の現況認識と「地域福祉計画」を策定する際の基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

2. 調査方法・調査期間

調査方法：郵送配布・郵送回収（後日、礼状兼督促状を配布）

調査期間：令和5年6月26日～7月14日

3. 調査について

(1) 調査対象

18歳以上の川口市民の中から無作為に抽出した3,000人

(2) 回収率

37.2% (1,115人)

(3) 調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	一緒に暮らしている人
	問4	世帯状況
	問5	現在の収入での暮らし
	問6	居住地域
(2) 生活の状況について	問7	定住意向
	問8-1	川口市の「良いところ」
	問8-2	川口市の「改善すべきところ」
	問9	地域福祉拠点や組織等の認知度
	問10	悩みや不安
	問11	日常生活で困ったときの相談先
	問11-2	相談しない理由
問12	新型コロナウイルス感染症による生活への影響	
問13	主観的幸福感	

調査項目	問番号	設問
(3) 地域とのつながりについて	問 14	地域とのつながりの必要性
	問 15	近所付き合いの程度
	問 16	今後の近所付き合いについての意向
	問 17	孤独感・孤立感
	問 18	市内で活動している外国人との交流
	問 19	地域での支えあいの状況
	問 20	日常生活を送るうえで気にかかる方（支援が必要と思われる）の有無
	問 20-2	現在、気にかかる方にしていること
	問 21-1	困っている方がいる場合にできること
	問 21-2	日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいこと
	問 22	日常生活の困りごとや、気がかりな人に気づいたときに必要な仕組み
	問 23	地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと
	(4) 地域活動について	問 24-1
問 24-2		今後取り組んでみたい地域活動
問 25		地域活動への参加依頼があった場合の参加意向
問 26		地域活動に参加しづらいと感じる理由
問 27		地域活動を広げていくために必要な支援
(5) 今後の福祉施策等について	問 28	川口市の福祉施策（サービス）の充実度
	問 29	福祉や健康について知りたい情報
	問 30	福祉サービスに関する情報の入手先
	問 31	住みなれた地域で安心して生活するために必要なこと
	問 32	地域福祉についての考え
	問 33	居住地域で災害時の備えとして必要なこと
(6) 再犯防止について	問 34	再犯防止における民間協力者の認知度
	問 35	「社会を明るくする運動」の認知度
	問 36	再犯防止のために行政が取り組むべきこと
	問 37	刑務所や少年院を出た人への支援
	問 37-2	刑務所や少年院を出た人に支援すべきこと
(7) 成年後見制度について	問 38	成年後見制度の認知度
	問 39	成年後見制度が必要になった際に不安なこと
	問 40	市民後見人の利用意向
	問 41	市民後見人への志望
(8) 生活困窮者自立支援について	問 42	生活困窮者自立支援制度の認知度
	問 43	生活困窮時の相談先
(9) 地域共生社会について	問 44	地域共生社会の認知度

4. 各調査のまとめ

(1) 生活の状況について

- ・定住意向は、「できれば住み続けたい」が約5割と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が3割前半となっている。(問7)
- ・川口市の良いところは、「近所で買い物がしやすい」が7割前半と最も多く、次いで「公民館などの文化拠点がある」、「いつでもみてる医療機関が身近にある」、「公共交通機関が便利である」、「公園や緑地などの自然環境が豊富」が5割を超えている。(問8-1)
- ・川口市の改善すべきところは、「防犯対策が悪い」が4割前半と最も多く、次いで「災害が起きた際にどうすれば良いか周知されていない」、「暮らしや健康・福祉にかかわる公的制度の説明がない」がともに約4割となっている。(問8-2)
- ・悩みや不安は、「自身の老後(介護)に関すること」が約4割と最も多く、次いで「自身の健康に関すること」が3割半ば、「生活費など経済的問題に関すること」が約3割となっている。(問10)
- ・日常生活で困った時の相談先は、「家族」が7割後半で最も多くなっている。(問11)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前からの生活の変化は、「生活に必要な支出が増加した」が約4割、「外出の機会が減少している」が3割後半となっている。(問12)

(2) 地域とのつながりについて

- ・地域とのつながりの必要性は、「どちらかといえば必要だと思う」が5割後半で最も多く、次いで「とても必要だと思う」が2割前半となっている。(問14)
- ・近所付き合いの程度は、「挨拶や立ち話をする程度」が5割後半で最も多く、次いで「ほとんど付き合いはない」が2割後半となっている。年齢別にみると、18~39歳は「ほとんど付き合いはない」が、75~84歳は「日ごろから仲良くしている」が全体に比べ多い。定住意向別にみると、転出したいは「ほとんど付き合いはない」が全体に比べ多い。(問15)
- ・今後の近所付き合いについての意向は、「現状のままでよい」が約8割で最も多くなっている。地域とのつながりの必要性別にみると、とても必要だと思うは「近所付き合いを深めたい」、あまり必要ないと思う、必要ないと思うは「近所付き合いはなるべくしたくない」が全体に比べ多い。(問16)
- ・地域の中で、お互いの生活を抱え合っていると感じているかについては、「わからない」が3割後半で最も多く、「あまり感じていない」、「感じていない」が2割半ばとなっている。(問19)
- ・日常生活を送るうえで気にかかる方の有無は、「わからない」が約5割を占め、「いる」、「いない」が2割前半となっている。(問20)

- ・困っている方がいる場合にできることは、「日常（安否確認）の声掛け」が5割前半と最も多く、次いで「話し相手」が3割半ば、「行政や関係機関等への連絡」が約2割となっている。（問21-1）
- ・日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいことは、「行政や関係機関等への連絡」が2割を超えて最も多く、次いで「ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）」が約2割となっている。年齢別にみると、18～39歳は「短時間の子どもの預かり」、「子育ての相談」が全体に比べ多い。（問21-2）
- ・地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うことは、「住民自身が日ごろから地域のつながりをもつように心がけること」が3割半ばで最も多く、次いで「地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること」、「行政による相談窓口や側面的援助を充実させること」が3割前半となっている。（問23）

（3）地域活動について

- ・参加している地域活動内容は、「ごみ、リサイクル」が4割半ばで最も多く、次いで「地域の清掃・美化」が約3割となっている。（問24-1）
- ・今後取り組んでみたい地域活動は、「文化・芸術、スポーツ等」、「健康づくり・医療」が3割前半となっている。（問24-2）
- ・地域活動への参加依頼があった場合の参加意向は、「時間に余裕があれば参加したい」が3割前半で最も多く、次いで「あまり参加したいと思わない」が2割前半となっている。（問25）
- ・地域活動に参加しづらいと感じる理由は、「仕事をもっているので時間がとれない」が3割後半で最も多く、次いで「どのような活動があるかなど、地域活動に関する情報がない」が約3割となっている。年齢別にみると、18～39歳は「家事・育児に忙しくて時間がない」、「仕事をもっているので時間がとれない」、40～64歳は「仕事をもっているので時間がとれない」、75～84歳、85歳以上は「健康や体力に自信がない」が全体に比べ多い。（問26）
- ・地域活動を広げていくために必要な支援は、「地域活動についての情報提供の強化」が約3割と最も多く、次いで「わからない」、「地域活動に参加する人材の確保・育成」、「交通費などの実費の補助」が2割半ばとなっている。（問27）

（4）今後の福祉施策等について

- ・福祉や健康について知りたい情報は、「サービスの利用方法」が3割半ばで最も多く、次いで「高齢・介護保険サービス」が約3割となっている。年齢別にみると、18～39歳は「子育て支援サービス」が、75～84歳、85歳以上は「高齢・介護保険サービス」が全体に比べ多い。（問29）

- ・福祉サービスに関する情報の入手先は、「広報誌」が約4割で最も多く、次いで「インターネットやSNS（Facebook、Twitter等）」が2割半ばとなっている。年齢別にみると、18～39歳は「インターネットやSNS（Facebook、Twitter等）」が、85歳以上は「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が全体に比べ多くなっている。（問30）
- ・地域で安心して生活していくために必要なことは、「福祉や保健に関する情報提供の充実」が約4割で最も多く、次いで「防犯対策の充実」が3割半ば、「災害対策の充実」が3割前半となっている。（問31）
- ・地域における福祉についての考えは、「福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである」、「できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい」がともに約3割で、次いで「地域の人と互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい」が1割半ばとなっている。（問32）
- ・居住地域で災害時の備えとして必要なことは、「危険箇所の把握」が5割を超えて最も多く、次いで「日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い」が4割を超え、「地域における援助体制の構築」が2割半ばとなっている。（問33）

（5）再犯防止について

- ・再犯防止における民間協力者の認知度は、「いずれも知らない」が4割後半で最も多く、「保護司」が3割後半、「更生保護施設」が約2割、「少年補導員」が1割半ばとなっている。（問34）
- ・「社会を明るくする運動」の認知度は、「初めて聞いた」が7割半ばと最も多く、次いで「言葉は聞いたことあるが、内容は知らない」が1割後半となっている。（問35）
- ・刑務所や少年院を出た人の支援は、「わからない」が約3割と最も多く、「立ち直りが可能そうな人のみに支援すべきである」が2割後半、「積極的に支援すべきである」が2割前半となっている。（問37）
- ・刑務所や少年院を出た人に支援すべきことは、「就労支援」が8割前半と最も多く、次いで「就学支援」が約4割となっている。（問37-2）

（6）成年後見制度について

- ・成年後見制度が必要になった際に不安なことは、「利用のための手続きがよくわからない」が約5割で最も多く、次いで「制度がよくわからない（利用が必要となる時、制度の内容など）」が約4割となっている。（問39）

（7）生活困窮者自立支援について

- ・生活困窮時の相談先は、「市役所・専門機関（川口市生活自立サポートセンターを含む）」が4割半ばで最も多く、次いで「家族・親族」が4割前半となっています。（問43）

5. 報告書を見る際の注意事項

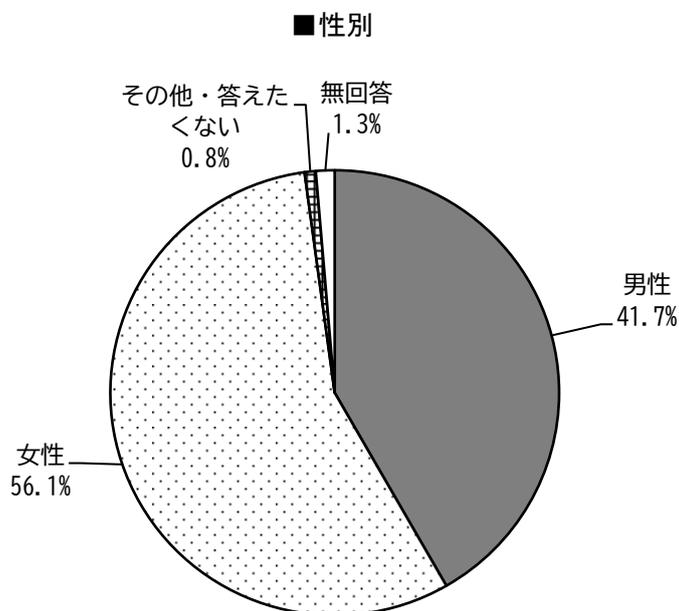
- 図表中の「N」（=Number）は、設問への回答者数を示している。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出している。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがある。
- クロス表の黒地・白文字は全体と比較して10%以上増、グレー地は全体と比較して10%以下減である。
- クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合がある。

第2章 調査結果

1. 基本属性

(1) 性別 (問1)

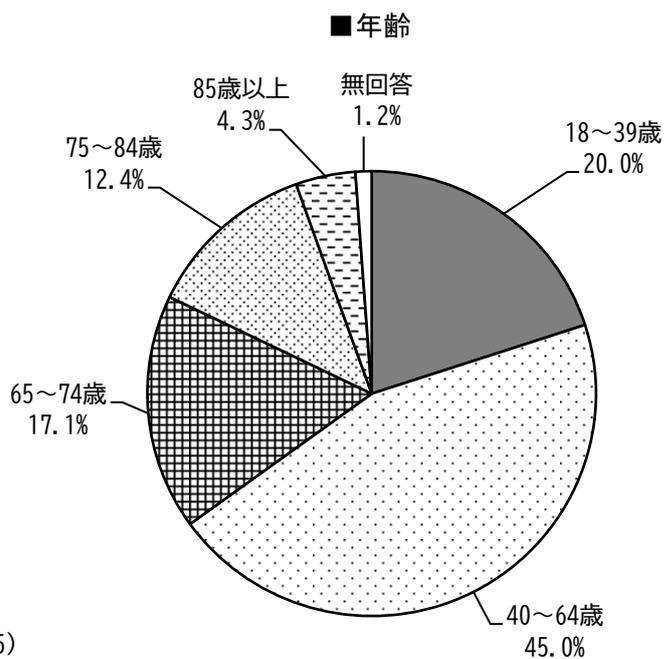
性別については、「男性」が41.7%、「女性」が56.1%となっています。



(N=1,115)

(2) 年齢 (問2)

令和5年6月1日現在の年齢については、「40～64歳」が45.0%で最も多く、次いで「18～39歳」が20.0%、「65～74歳」が17.1%となっています。

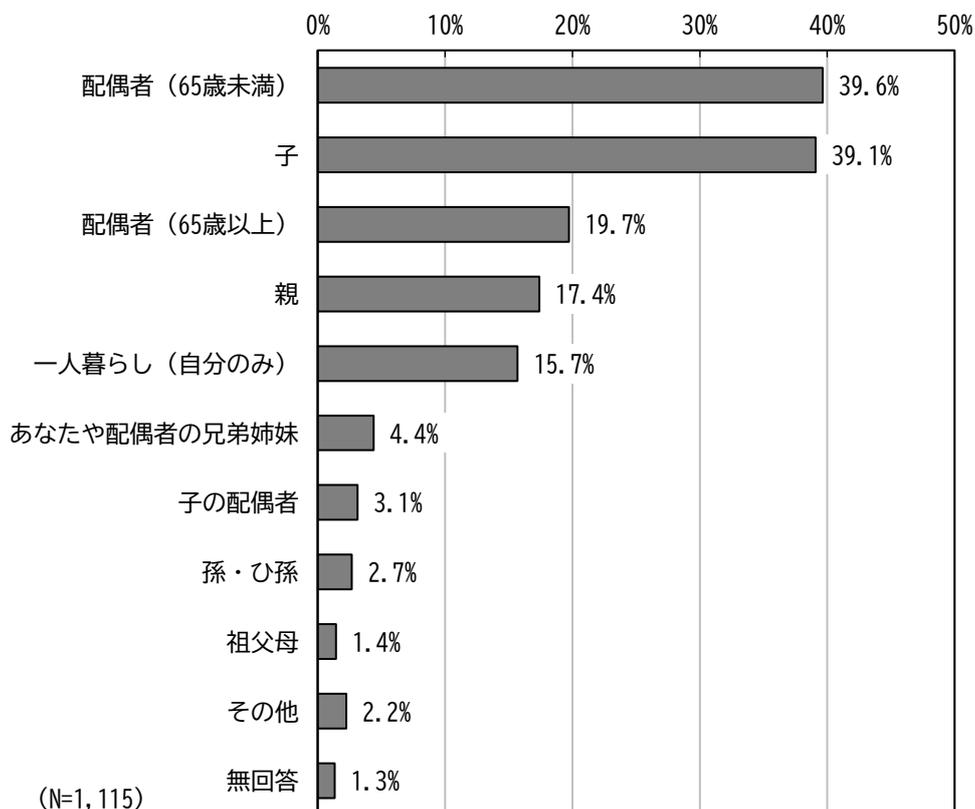


(N=1,115)

(3) 一緒に暮らしている人 (問3)

現在一緒に暮らしている人については、「配偶者 (65歳未満)」が39.6%で最も多く、次いで「子」が39.1%、「配偶者 (65歳以上)」が19.7%となっています。

■一緒に暮らしている人 (複数回答)



年齢別にみると、18～39歳は「親」、40～64歳は「配偶者 (65歳未満)」、65～74歳、75～84歳、85歳以上は「配偶者 (65歳以上)」が多くなっています。

■一緒に暮らしている人 (年齢別)

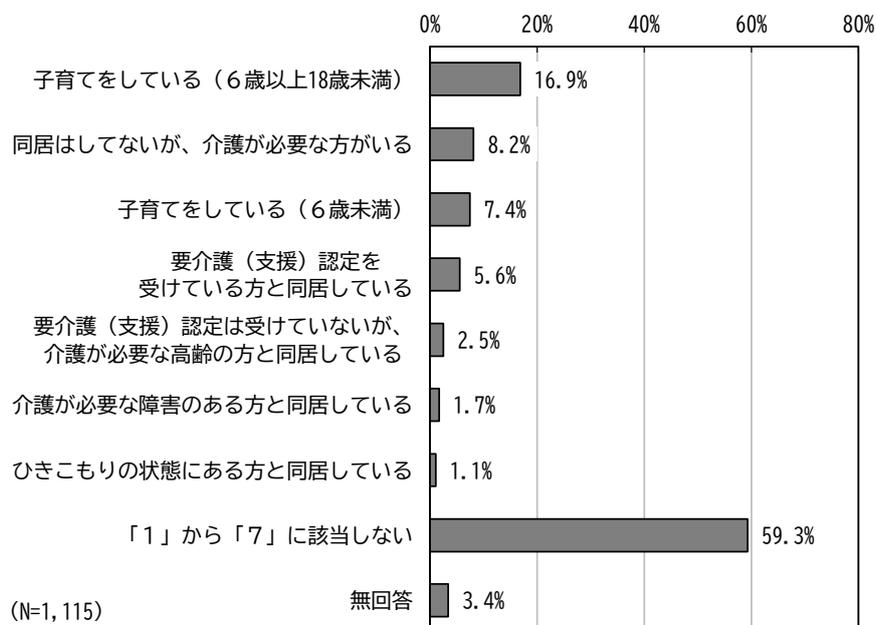
	回答者数	合計	1. 一人暮らし (自分のみ)	2. 配偶者 (65歳未満)	3. 配偶者 (65歳以上)	4. 子	5. 子の配偶者	6. 親	7. 祖父母	8. 孫・ひ孫	9. あなたや配偶者の兄弟姉妹	10. その他	11. 無回答	
全体	1,115 (100.0)	1,637 (146.8)	175 (15.7)	442 (39.6)	220 (19.7)	436 (39.1)	35 (3.1)	194 (17.4)	16 (1.4)	30 (2.7)	49 (4.4)	25 (2.2)	15 (1.3)	
問2 年齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	331 (148.4)	33 (14.8)	99 (44.4)	2 (0.9)	66 (29.6)	1 (0.4)	86 (38.6)	12 (5.4)	0 (0.0)	24 (10.8)	7 (3.1)	1 (0.4)
	2. 40～64歳	502 (100.0)	795 (158.4)	63 (12.5)	315 (62.7)	24 (4.8)	245 (48.8)	14 (2.8)	99 (19.7)	3 (0.6)	3 (0.6)	20 (4.0)	9 (1.8)	0 (0.0)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	261 (136.6)	42 (22.0)	27 (14.1)	93 (48.7)	64 (33.5)	8 (4.2)	9 (4.7)	1 (0.5)	10 (5.2)	3 (1.6)	3 (1.6)	1 (0.5)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	181 (131.2)	27 (19.6)	1 (0.7)	83 (60.1)	45 (32.6)	7 (5.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (10.1)	2 (1.4)	1 (0.7)	1 (0.7)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	56 (116.7)	10 (20.8)	0 (0.0)	17 (35.4)	16 (33.3)	5 (10.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (6.3)	0 (0.0)	5 (10.4)	0 (0.0)
	6. 無回答	13 (100.0)	13 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (92.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(4) 世帯状況 (問4)

世帯状況については、「1」から「7」に該当しない方が59.3%で最も多く、次いで「子育てをしている(6歳以上18歳未満)」が16.9%となっています。

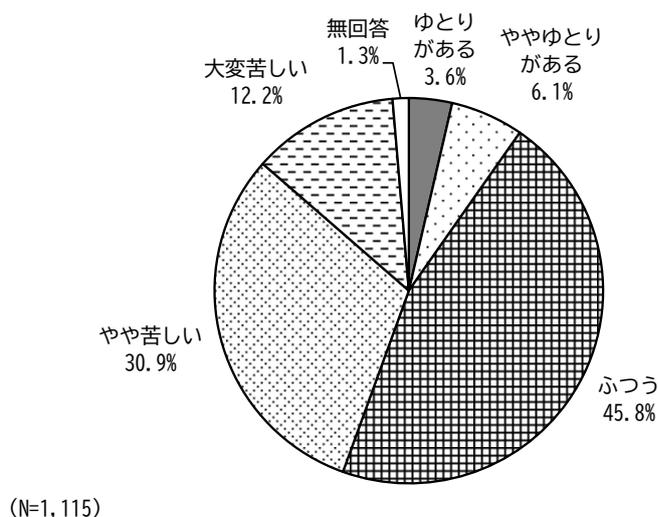
■ 世帯状況 (複数回答)



(5) 現在の収入での暮らし (問5)

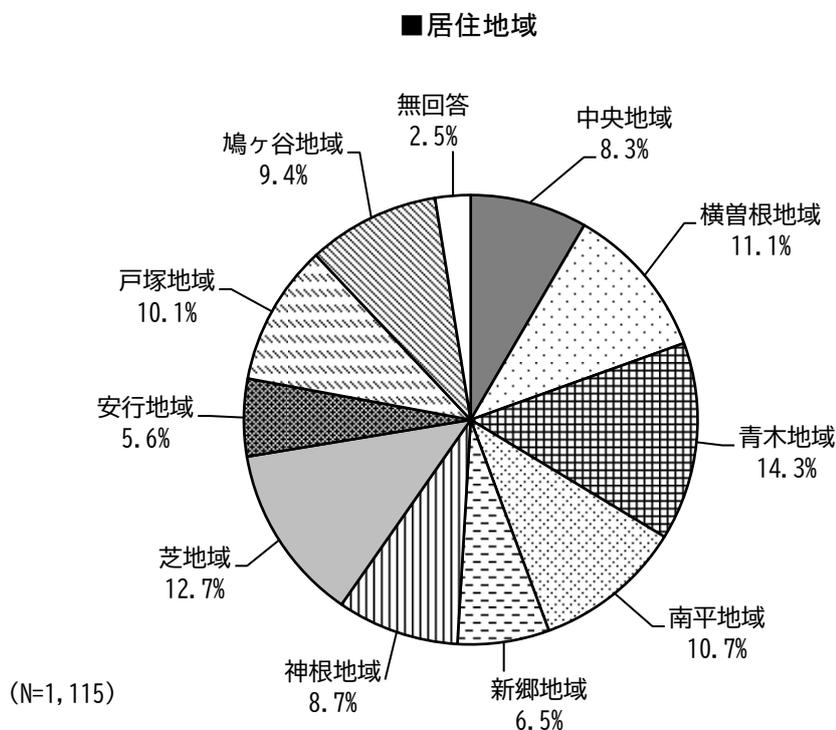
現在の収入での暮らしについては、「ふつう」が45.8%で最も多く、次いで「やや苦しい」が30.9%、「大変苦しい」が12.2%となっています。

■ 現在の収入での暮らし



(6) 居住地域 (問6)

居住地域については、以下のとおりとなっています。

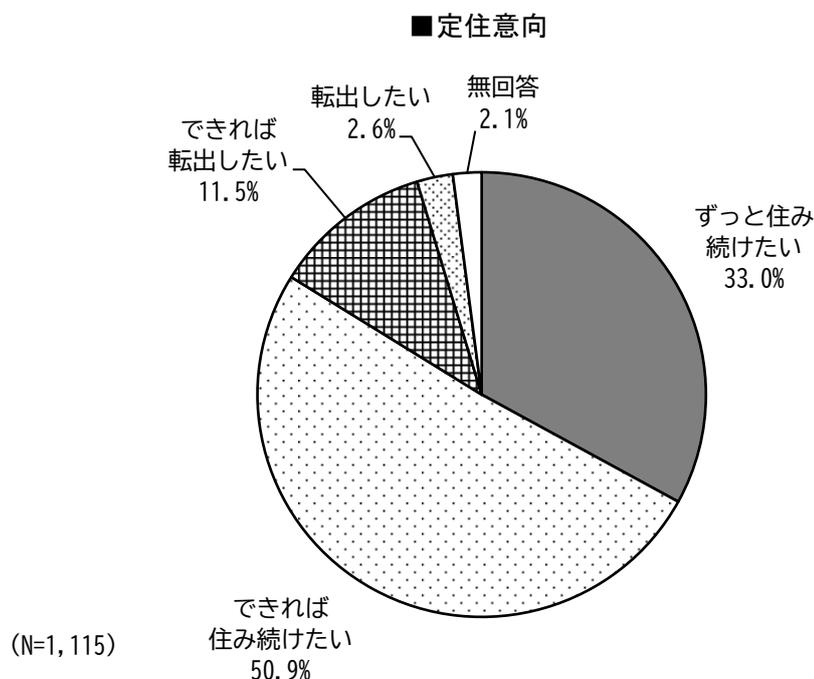


1. 中央地域 (本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1～3丁目)
2. 横曽根地域 (川口4～6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木)
3. 青木地域 (青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川)
4. 南平地域 (朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町)
5. 新郷地域 (赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀、新堀町、榛松、江戸、江戸袋、本蓮)
6. 神根地域 (安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町)
7. 芝地域 (芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎)
8. 安行地域 (安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽)
9. 戸塚地域 (戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、北原台、戸塚缺町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵)
10. 鳩ヶ谷地域 (坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和)

2. 生活の状況について

(1) 定住意向（問7）

定住意向については、「できれば住み続けたい」が 50.9%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が 33.0%、「できれば転出したい」が 11.5%となっています。



年齢別にみると、18～39歳は「できれば住み続けたい」、65～74歳、75～84歳、85歳以上は「ずっと住み続けたい」が全体に比べ多くなっています。

■ 定住意向（年齢別）

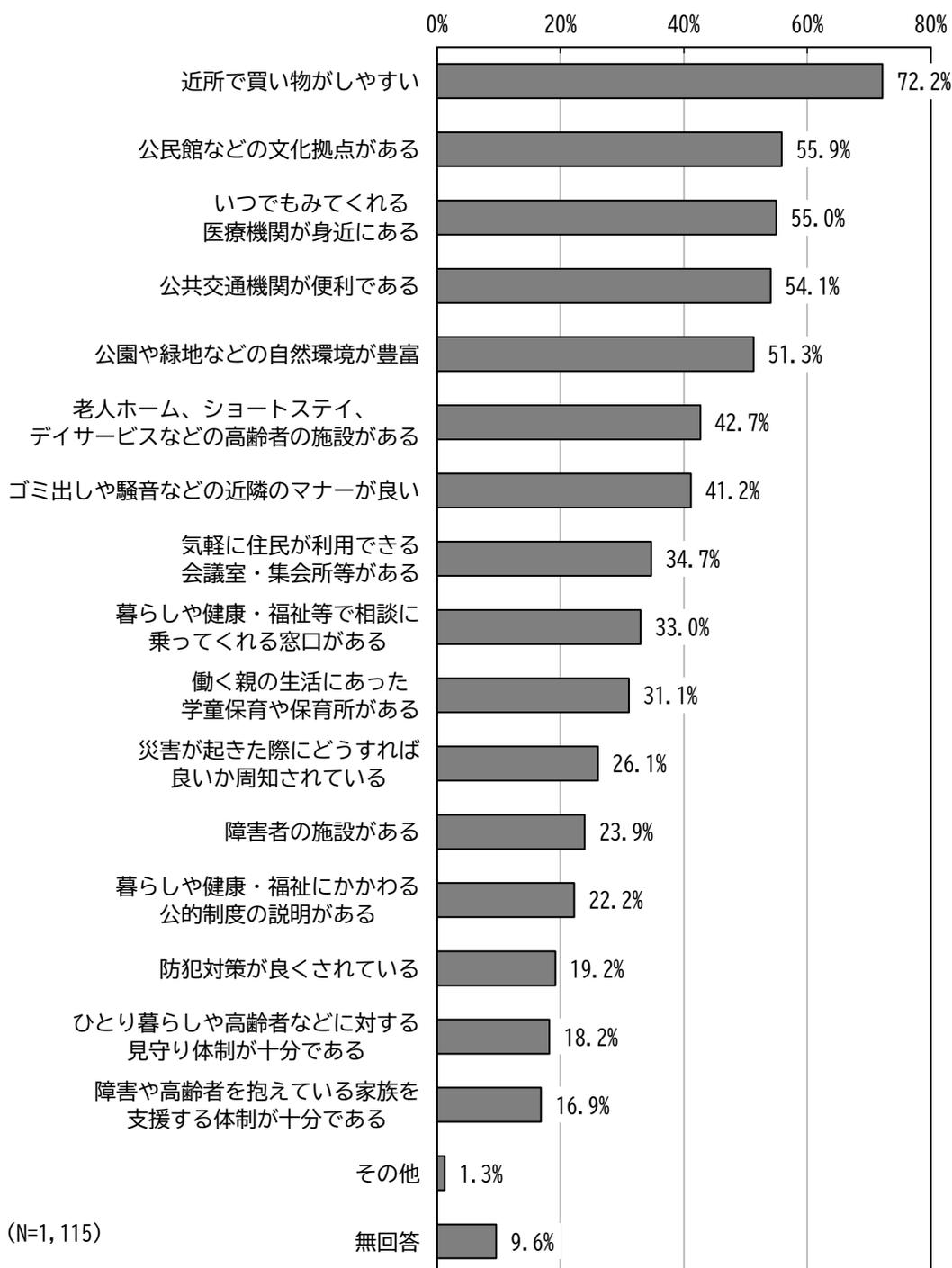
		合計	1. ずっと住 み続けたい	2. できれば 住み続け たい	3. できれば 転出した い	4. 転出した い	5. 無回答
全 体		1,115 (100.0)	368 (33.0)	567 (50.9)	128 (11.5)	29 (2.6)	23 (2.1)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	37 (16.6)	136 (61.0)	37 (16.6)	12 (5.4)	1 (0.4)
	2. 40～64歳	502 (100.0)	121 (24.1)	291 (58.0)	70 (13.9)	13 (2.6)	7 (1.4)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	88 (46.1)	81 (42.4)	17 (8.9)	1 (0.5)	4 (2.1)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	79 (57.2)	48 (34.8)	4 (2.9)	-	7 (5.1)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	35 (72.9)	8 (16.7)	0 (-)	2 (4.2)	3 (6.3)
	6. 無回答	13 (100.0)	8 (61.5)	3 (23.1)	0 (-)	1 (7.7)	1 (7.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(2) 川口市の「良いところ」(問8-1)

川口市の良いところについては、「近所で買い物がしやすい」が72.2%で最も多く、次いで「公民館などの文化拠点がある」が55.9%、「いつでもみてる医療機関が身近にある」が55.0%となっています。

■川口市の良いところ(複数回答)



居住地域別にみると、中央地域は「公共交通機関が便利である」、「近所で買い物がしやすい」、新郷地域は「高齢者の施設がある」、「障害者の施設がある」、「公園や緑地などの自然環境が豊富」、神根地域は「高齢者の施設がある」、芝地域は「公共交通機関が便利である」、安行地域は「働く親の生活にあった学童保育や保育所がある」、「障害者の施設がある」、「災害が起きた際にどうすれば良いか周知されている」、戸塚地域は「公園や緑地などの自然環境が豊富」が全体に比べ多くなっています。

■川口市の良いところ（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 公共交通機関が便利である	2. 気軽に住民が利用できる会議室・集会所等がある	3. 暮らしや健康・福祉にかかわる公的サービスの説明がある	4. 暮らしや健康・福祉等で相談に乗ってくれる窓口がある	5. いつでもみてる医療機関が身近にある	6. ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが良い	7. ひとり暮らしや高齢者などに対する見守り体制が十分である	8. 障害や高齢者を抱えている家族を支援する体制が十分である
全体	1,115 (100.0)	6,785 (608.5)	603 (54.1)	387 (34.7)	248 (22.2)	368 (33.0)	613 (55.0)	459 (41.2)	203 (18.2)	188 (16.9)
問6 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	557 (598.9)	65 (69.9)	27 (29.0)	23 (24.7)	30 (32.3)	46 (49.5)	44 (47.3)	22 (23.7)
	2. 横曽根地域	124 (100.0)	709 (571.8)	74 (59.7)	45 (36.3)	23 (18.5)	39 (31.5)	66 (53.2)	41 (33.1)	27 (21.8)
	3. 青木地域	159 (100.0)	979 (615.7)	100 (62.9)	59 (37.1)	39 (24.5)	58 (36.5)	89 (56.0)	60 (37.7)	19 (16.4)
	4. 南平地域	119 (100.0)	642 (539.5)	63 (52.9)	38 (31.9)	21 (17.6)	34 (28.6)	60 (50.4)	46 (38.7)	18 (15.1)
	5. 新郷地域	73 (100.0)	496 (679.5)	21 (28.8)	32 (43.8)	18 (24.7)	30 (41.1)	44 (60.3)	36 (49.3)	11 (15.1)
	6. 神根地域	97 (100.0)	626 (645.4)	34 (35.1)	38 (39.2)	23 (23.7)	38 (39.2)	59 (60.8)	48 (49.5)	20 (20.6)
	7. 芝地域	142 (100.0)	924 (650.7)	95 (66.9)	49 (34.5)	39 (27.5)	50 (35.2)	90 (63.4)	53 (37.3)	27 (19.0)
	8. 安行地域	62 (100.0)	425 (685.5)	22 (35.5)	26 (41.9)	16 (25.8)	23 (37.1)	33 (53.2)	29 (46.8)	14 (22.6)
	9. 戸塚地域	113 (100.0)	651 (576.1)	61 (54.0)	32 (28.3)	16 (14.2)	29 (25.7)	55 (48.7)	45 (39.8)	13 (11.5)
	10. 鳩ヶ谷地域	105 (100.0)	644 (613.3)	57 (54.3)	32 (30.5)	24 (22.9)	30 (28.6)	60 (57.1)	50 (47.6)	22 (21.0)
	11. 無回答	28 (100.0)	132 (471.4)	11 (39.3)	9 (32.1)	6 (21.4)	7 (25.0)	11 (39.3)	7 (25.0)	3 (10.7)

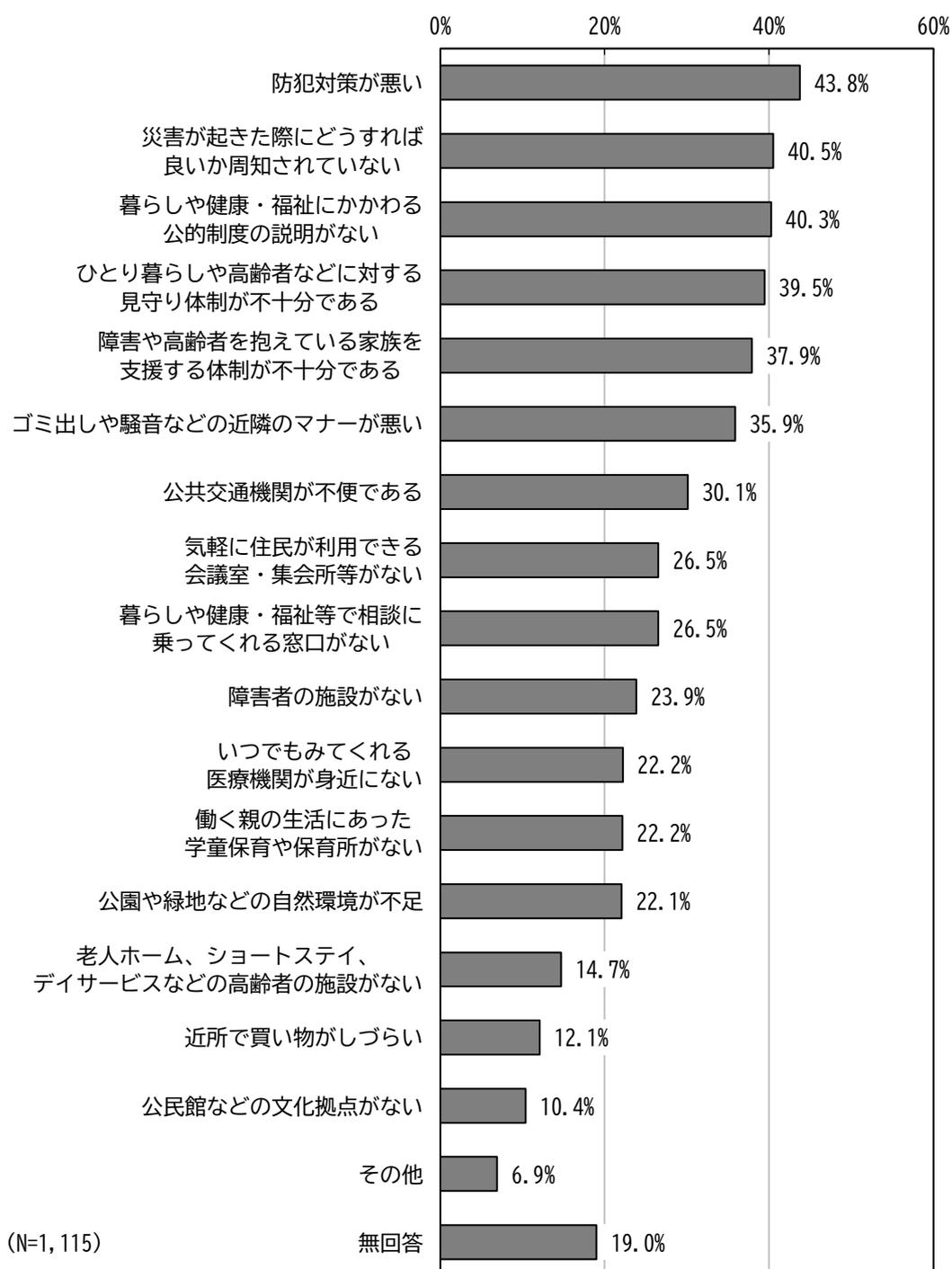
	9. 働く親の生活にあった学童保育や保育所がある	10. 老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなどの高齢者の施設がある	11. 障害者の施設がある	12. 災害が起きた際にどうすれば良いか周知されている	13. 防犯対策が良くされている	14. 近所で買い物がしやすい	15. 公民館などの文化拠点がある	16. 公園や緑地などの自然環境が豊富	17. その他	18. 無回答
全体	347 (31.1)	476 (42.7)	267 (23.9)	291 (26.1)	214 (19.2)	805 (72.2)	623 (55.9)	572 (51.3)	14 (1.3)	107 (9.6)
問6 居住地域	1. 中央地域	24 (25.8)	27 (29.0)	19 (20.4)	24 (25.8)	19 (20.4)	77 (82.8)	46 (49.5)	38 (40.9)	1 (1.1)
	2. 横曽根地域	28 (22.6)	37 (29.8)	21 (16.9)	30 (24.2)	24 (19.4)	100 (80.6)	69 (55.6)	57 (46.0)	3 (2.4)
	3. 青木地域	46 (28.9)	66 (41.5)	37 (23.3)	41 (25.8)	29 (18.2)	122 (76.7)	92 (57.9)	76 (47.8)	2 (1.3)
	4. 南平地域	31 (26.1)	45 (37.8)	24 (20.2)	24 (20.2)	17 (14.3)	75 (63.0)	62 (52.1)	50 (42.0)	1 (0.8)
	5. 新郷地域	24 (32.9)	49 (67.1)	31 (42.5)	22 (30.1)	18 (24.7)	51 (69.9)	45 (61.6)	46 (63.0)	0 (-)
	6. 神根地域	30 (30.9)	54 (55.7)	27 (27.8)	29 (29.9)	17 (17.5)	57 (58.8)	60 (61.9)	53 (54.6)	1 (1.0)
	7. 芝地域	53 (37.3)	64 (45.1)	27 (19.0)	37 (26.1)	30 (21.1)	108 (76.1)	91 (64.1)	80 (56.3)	2 (1.4)
	8. 安行地域	29 (46.8)	32 (51.6)	22 (35.5)	24 (38.7)	15 (24.2)	42 (67.7)	40 (64.5)	38 (61.3)	0 (-)
	9. 戸塚地域	37 (32.7)	48 (42.5)	25 (22.1)	26 (23.0)	20 (17.7)	88 (77.9)	53 (46.9)	73 (64.6)	3 (2.7)
	10. 鳩ヶ谷地域	39 (37.1)	45 (42.9)	28 (26.7)	29 (27.6)	20 (19.0)	72 (68.6)	54 (51.4)	52 (49.5)	1 (1.0)
	11. 無回答	6 (21.4)	9 (32.1)	6 (21.4)	5 (17.9)	5 (17.9)	13 (46.4)	11 (39.3)	9 (32.1)	0 (-)

注：()内は割合、数字を100とした割合

(3) 川口市の「改善すべきところ」(問8-2)

川口市の改善すべきところについては、「防犯対策が悪い」が43.8%で最も多く、次いで「災害が起きた際にどうすれば良いか周知されていない」が40.5%、「暮らしや健康・福祉にかかわる公的制度の説明がない」が40.3%となっています。

■川口市の改善すべきところ(複数回答)



居住地域別にみると、新郷地域は「公共交通機関が不便である」、「暮らしや健康・福祉にかかわる公的制度の説明がない」、神根地域は「公共交通機関が不便である」、「近所で買物がしづらい」、安行地域は「公共交通機関が不便である」が全体に比べ多くなっています。

■川口市の改善すべきところ（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 公共交通機関が不便である	2. 気軽に住民が利用できる会議室・集会所等がない	3. 暮らしや健康・福祉にかかわる公的制度の説明がない	4. 暮らしや健康・福祉等で相談に乗ってくれる窓口がない	5. いつでもみてくれる医療機関が身近にない	6. ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが悪い	7. ひとり暮らしや高齢者などに対する見守り体制が不十分である	8. 障害や高齢者を抱えている家族を支援する体制が不十分である
全体	1,115 (100.0)	5,291 (474.5)	336 (30.1)	296 (26.5)	449 (40.3)	296 (26.5)	248 (22.2)	400 (35.9)	440 (39.5)	423 (37.9)
問6 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	351 (377.4)	22 (23.7)	21 (22.6)	27 (29.0)	17 (18.3)	24 (25.8)	25 (26.9)	26 (28.0)
	2. 横曽根地域	124 (100.0)	564 (454.8)	33 (26.6)	25 (20.2)	49 (39.5)	32 (25.8)	26 (21.0)	56 (45.2)	40 (32.3)
	3. 青木地域	159 (100.0)	740 (465.4)	30 (18.9)	40 (25.2)	60 (37.7)	41 (25.8)	34 (21.4)	63 (39.6)	67 (42.1)
	4. 南平地域	119 (100.0)	602 (505.9)	38 (31.9)	29 (24.4)	53 (44.5)	31 (26.1)	30 (25.2)	37 (31.1)	51 (42.9)
	5. 新郷地域	73 (100.0)	389 (532.9)	47 (64.4)	25 (34.2)	40 (54.8)	23 (31.5)	15 (20.5)	30 (41.1)	33 (45.2)
	6. 神根地域	97 (100.0)	481 (495.9)	46 (47.4)	31 (32.0)	41 (42.3)	24 (24.7)	17 (17.5)	30 (30.9)	41 (42.3)
	7. 芝地域	142 (100.0)	732 (515.5)	30 (21.1)	45 (31.7)	62 (43.7)	44 (31.0)	28 (19.7)	63 (44.4)	64 (45.1)
	8. 安行地域	62 (100.0)	270 (435.5)	26 (41.9)	14 (22.6)	22 (35.5)	15 (24.2)	16 (25.8)	20 (32.3)	24 (38.7)
	9. 戸塚地域	113 (100.0)	505 (446.9)	29 (25.7)	28 (24.8)	44 (38.9)	32 (28.3)	28 (24.8)	39 (34.5)	46 (40.7)
	10. 鳩ヶ谷地域	105 (100.0)	551 (524.8)	29 (27.6)	33 (31.4)	42 (40.0)	31 (29.5)	27 (25.7)	30 (28.6)	40 (38.1)
	11. 無回答	28 (100.0)	106 (378.6)	6 (21.4)	5 (17.9)	9 (32.1)	6 (21.4)	3 (10.7)	7 (25.0)	8 (28.6)

	9. 働く親の生活にあった学童保育や保育所がない	10. 老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなどの高齢者の施設がない	11. 障害者の施設がない	12. 災害が起きた際にどうすれば良いかわからない	13. 防犯対策が悪い	14. 近所で買物がしづらい	15. 公民館などの文化拠点がない	16. 公園や緑地などの自然環境が不足	17. その他	18. 無回答
全体	247 (22.2)	164 (14.7)	266 (23.9)	452 (40.5)	488 (43.8)	135 (12.1)	116 (10.4)	246 (22.1)	77 (6.9)	212 (19.0)
問6 居住地域	1. 中央地域	16 (17.2)	14 (15.1)	16 (17.2)	30 (32.3)	28 (30.1)	5 (5.4)	9 (9.7)	19 (20.4)	5 (5.4)
	2. 横曽根地域	30 (24.2)	23 (18.5)	27 (21.8)	49 (39.5)	53 (42.7)	11 (8.9)	9 (7.3)	27 (21.8)	12 (9.7)
	3. 青木地域	29 (18.2)	23 (14.5)	33 (20.8)	67 (42.1)	69 (43.4)	15 (9.4)	14 (8.8)	39 (24.5)	14 (8.8)
	4. 南平地域	27 (22.7)	18 (15.1)	30 (25.2)	57 (47.9)	59 (49.6)	20 (16.8)	12 (10.1)	31 (26.1)	10 (8.4)
	5. 新郷地域	21 (28.8)	6 (8.2)	12 (16.4)	31 (42.5)	30 (41.1)	14 (19.2)	10 (13.7)	13 (17.8)	4 (5.5)
	6. 神根地域	25 (25.8)	6 (6.2)	25 (25.8)	35 (36.1)	45 (46.4)	24 (24.7)	9 (9.3)	23 (23.7)	6 (6.2)
	7. 芝地域	32 (22.5)	30 (21.1)	47 (33.1)	64 (45.1)	66 (46.5)	10 (7.0)	13 (9.2)	35 (24.6)	11 (7.7)
	8. 安行地域	9 (14.5)	7 (11.3)	14 (22.6)	20 (32.3)	24 (38.7)	8 (12.9)	5 (8.1)	10 (16.1)	2 (3.2)
	9. 戸塚地域	25 (22.1)	14 (12.4)	28 (24.8)	44 (38.9)	49 (43.4)	11 (9.7)	15 (13.3)	11 (9.7)	3 (2.7)
	10. 鳩ヶ谷地域	29 (27.6)	20 (19.0)	30 (28.6)	46 (43.8)	56 (53.3)	16 (15.2)	17 (16.2)	31 (29.5)	9 (8.6)
	11. 無回答	4 (14.3)	3 (10.7)	4 (14.3)	9 (32.1)	9 (32.1)	1 (3.6)	3 (10.7)	7 (25.0)	1 (3.6)

注：()内はサンプル数を100とした割合

定住意向別にみると、できれば転出したい、転出したいは「公共交通機関が不便である」、
「ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが悪い」などが全体に比べ多くなっています。

■川口市の改善すべきところ（定住意向別）

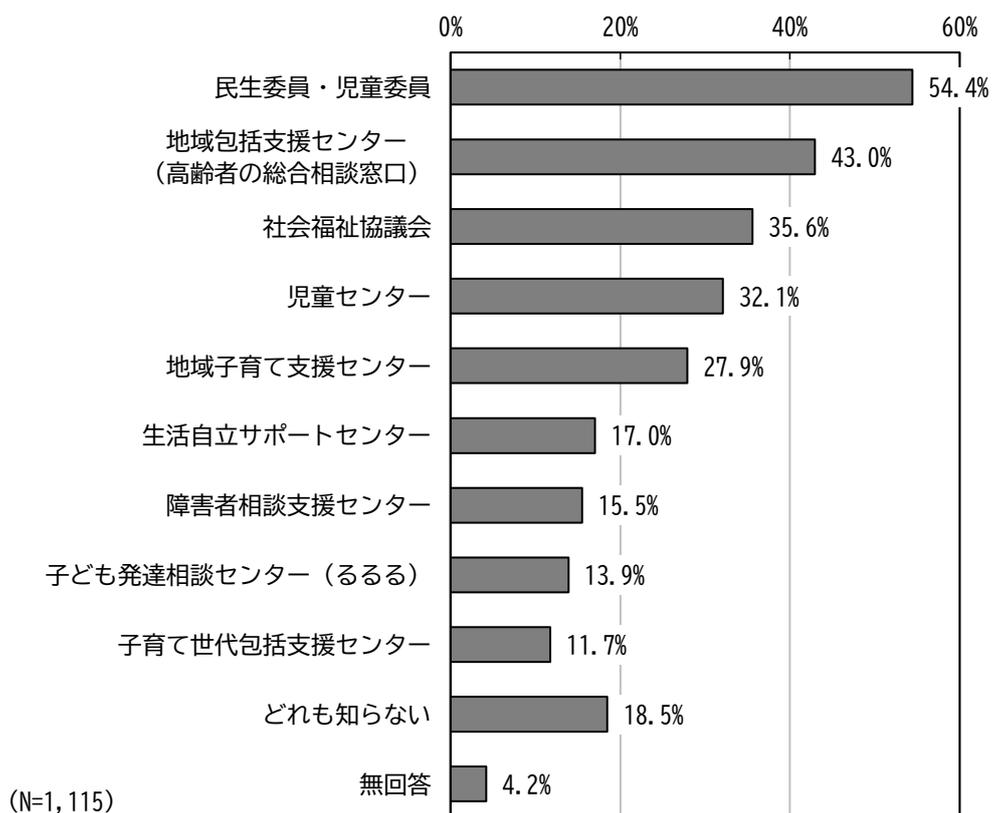
		回答者数	合 計	1. 公共交通 機関が不 便である	2. 気軽に住 民が利用 できる会 議室・集 会所等が ない	3. 暮らしや 健康・福 祉にかか わる公的 制度の説 明がない	4. 暮らしや 健康・福 祉等で相 談に乗っ てくれる 窓口がな い	5. いつも みてくれ る医療機 関が身近 にない	6. ゴミ出し や騒音な どの近隣 のマナー が悪い	7. ひとり暮 らしや高 齢者など に対する 見守り体 制が不十 分である	8. 障害や高 齢者を抱 えている 家族を支 援する体 制が不十 分である		
全 体		1,115 (100.0)	5,291 (474.5)	336 (30.1)	296 (26.5)	449 (40.3)	296 (26.5)	248 (22.2)	400 (35.9)	440 (39.5)	423 (37.9)		
問 7 定 住 意 向	1. ずっと住み続けたい	368 (100.0)	1,481 (402.4)	93 (25.3)	79 (21.5)	123 (33.4)	80 (21.7)	65 (17.7)	102 (27.7)	127 (34.5)	118 (32.1)		
	2. できれば住み続けたい	567 (100.0)	2,789 (491.9)	173 (30.5)	158 (27.9)	247 (43.6)	158 (27.9)	139 (24.5)	203 (35.8)	229 (40.4)	228 (40.2)		
	3. できれば転出したい	128 (100.0)	764 (596.9)	53 (41.4)	45 (35.2)	63 (49.2)	45 (35.2)	34 (26.6)	70 (54.7)	67 (52.3)	59 (46.1)		
	4. 転出したい	29 (100.0)	169 (582.8)	13 (44.8)	10 (34.5)	9 (31.0)	8 (27.6)	6 (20.7)	21 (72.4)	10 (34.5)	10 (34.5)		
	5. 無回答	23 (100.0)	88 (382.6)	4 (17.4)	4 (17.4)	7 (30.4)	5 (21.7)	4 (17.4)	4 (17.4)	7 (30.4)	8 (34.8)		
				9. 働く親の 生活にあ った学 童保育や 保育所が ない	10. 老人ホー ム、 ショート ステイ、 デイサー ビスなど の高齢者 の施設が ない	11. 障害者の 施設がな い	12. 災害が起 きた際に どうすれ ば良いか 周知され ていない	13. 防犯対策 が悪い	14. 近所で買 い物がし づらい	15. 公民館な どの文化 拠点がな い	16. 公園や緑 地などの 自然環境 が不足	17. その他	18. 無回答
全 体		247 (22.2)	164 (14.7)	266 (23.9)	452 (40.5)	488 (43.8)	135 (12.1)	116 (10.4)	246 (22.1)	77 (6.9)	212 (19.0)		
問 7 定 住 意 向	1. ずっと住み続けたい	56 (15.2)	42 (11.4)	87 (23.6)	127 (34.5)	129 (35.1)	38 (10.3)	24 (6.5)	76 (20.7)	19 (5.2)	96 (26.1)		
	2. できれば住み続けたい	141 (24.9)	81 (14.3)	134 (23.6)	251 (44.3)	263 (46.4)	71 (12.5)	65 (11.5)	115 (20.3)	35 (6.2)	98 (17.3)		
	3. できれば転出したい	38 (29.7)	33 (25.8)	35 (27.3)	57 (44.5)	68 (53.1)	19 (14.8)	17 (13.3)	36 (28.1)	17 (13.3)	8 (6.3)		
	4. 転出したい	7 (24.1)	5 (17.2)	7 (24.1)	11 (37.9)	22 (75.9)	4 (13.8)	7 (24.1)	14 (48.3)	5 (17.2)	0 (-)		
	5. 無回答	5 (21.7)	3 (13.0)	3 (13.0)	6 (26.1)	6 (26.1)	3 (13.0)	3 (13.0)	5 (21.7)	1 (4.3)	10 (43.5)		

注：()内はサンプル数を100とした割合

(4) 地域福祉拠点や組織等の認知度 (問9)

地域福祉拠点や組織等の認知度については、「民生委員・児童委員」が 54.4%で最も多く、次いで「地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）」が 43.0%、「社会福祉協議会」が 35.6%となっています。

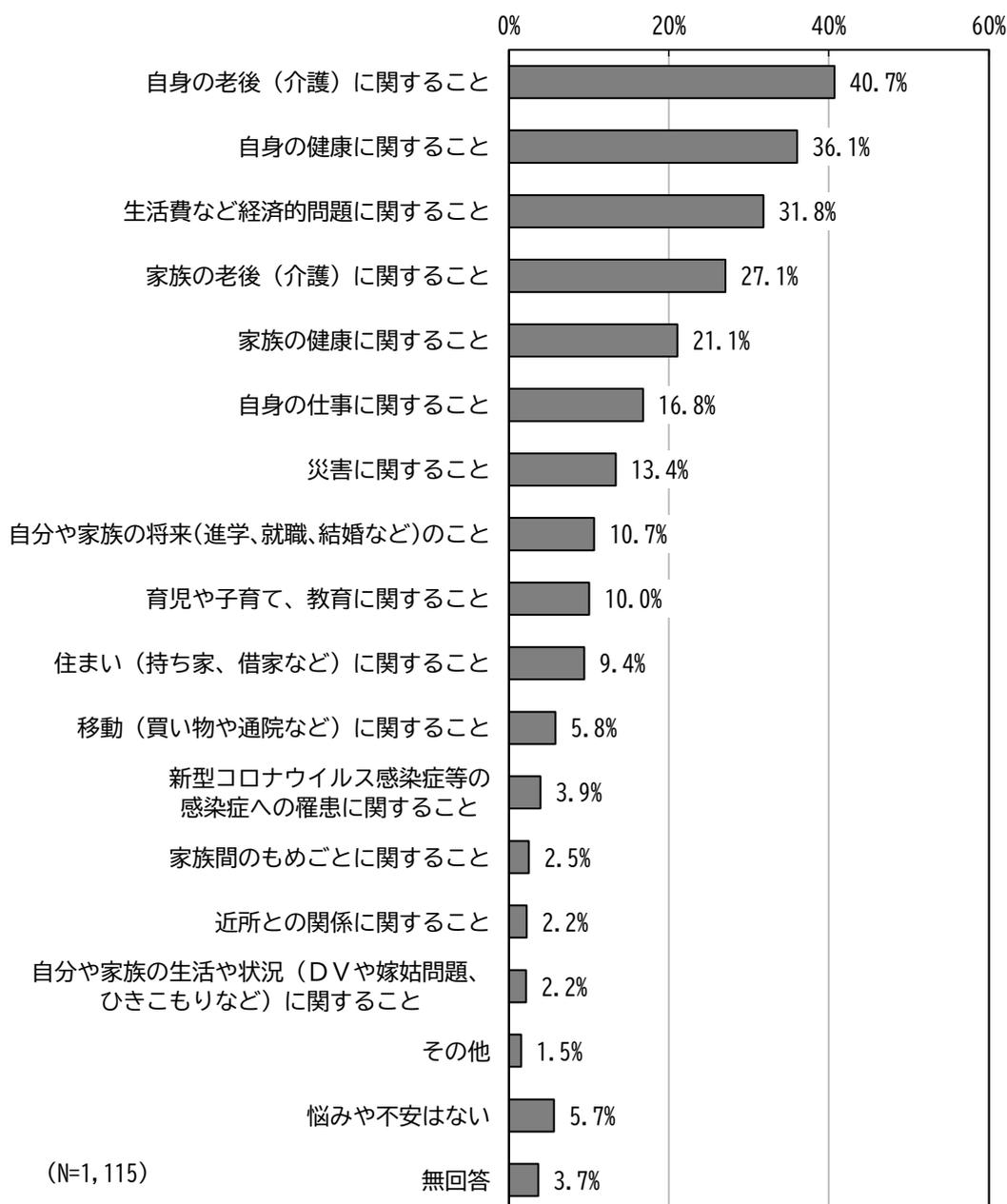
■ 地域福祉の拠点や組織等の認知状況（複数回答）



(5) 悩みや不安 (問 10)

悩みや不安については、「自身の老後（介護）に関すること」が 40.7%で最も多く、次いで「自身の健康に関すること」が 36.1%、「生活費など経済的問題に関すること」が 31.8%となっています。

■ 悩みや不安（3つまで）



年齢別にみると、18～39歳は「自身の仕事に関する事」、「育児や子育て、教育に関する事」、65～74歳は「自身の健康に関する事」、「自身の老後（介護）に関する事」、75～84歳は「自身の健康に関する事」、85歳以上は「自身の健康に関する事」、「移動（買い物や通院など）に関する事」が全体に比べ多くなっています。

■悩みや不安（年齢別）

	回答者数	合計	1. 自身の健康に関する事	2. 自身の仕事に関する事	3. 自身の老後（介護）に関する事	4. 家族の健康に関する事	5. 家族の老後（介護）に関する事	6. 生活費など経済的問題に関する事	7. 家族間のもめごとに関する事	8. 近所との関係に関する事	
全体	1,115 (100.0)	2,727 (244.6)	402 (36.1)	187 (16.8)	454 (40.7)	235 (21.1)	302 (27.1)	355 (31.8)	28 (2.5)	25 (2.2)	
問2 年齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	52 (23.3)	65 (29.1)	54 (24.2)	40 (17.9)	47 (21.1)	87 (39.0)	10 (4.5)	4 (1.8)	
	2. 40～64歳	502 (100.0)	160 (31.9)	97 (19.3)	212 (42.2)	113 (22.5)	164 (32.7)	161 (32.1)	9 (1.8)	16 (3.2)	
	3. 65～74歳	191 (100.0)	474 (248.2)	90 (47.1)	22 (11.5)	100 (52.4)	45 (23.6)	39 (20.4)	70 (36.6)	6 (3.1)	0 (-)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	303 (219.6)	65 (47.1)	0 (-)	61 (44.2)	27 (19.6)	37 (26.8)	27 (19.6)	3 (2.2)	4 (2.9)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	103 (214.6)	29 (60.4)	0 (-)	20 (41.7)	8 (16.7)	11 (22.9)	8 (16.7)	0 (-)	1 (2.1)
	6. 無回答	13 (100.0)	28 (215.4)	6 (46.2)	3 (23.1)	7 (53.8)	2 (15.4)	4 (30.8)	2 (15.4)	0 (-)	0 (-)

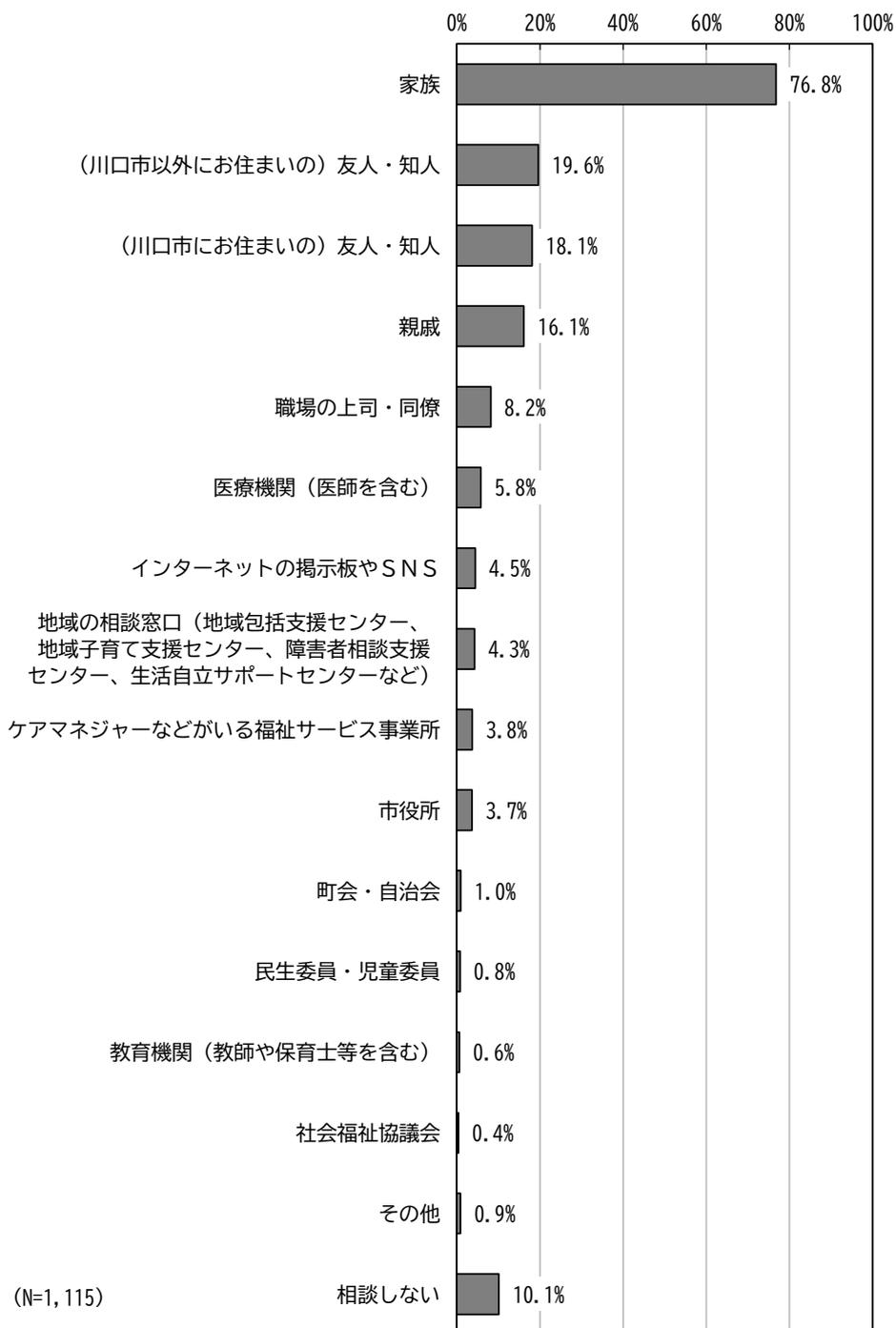
	9. 育児や子育て、教育に関する事	10. 自分や家族の生活や状況（DVや嫁姑問題、ひきこもりなど）に関する事	11. 自分や家族の将来（進学、就職、結婚など）のこと	12. 移動（買い物や通院など）に関する事	13. 災害に関する事	14. 新型コロナウイルス感染症等の感染症への罹患に関する事	15. 住まい（持ち家、借家など）に関する事	16. その他	17. 悩みや不安はない	18. 無回答	
全体	112 (10.0)	24 (2.2)	119 (10.7)	65 (5.8)	149 (13.4)	44 (3.9)	105 (9.4)	17 (1.5)	63 (5.7)	41 (3.7)	
問2 年齢	1. 18～39歳	58 (26.0)	5 (2.2)	41 (18.4)	10 (4.5)	26 (11.7)	8 (3.6)	23 (10.3)	4 (1.8)	15 (6.7)	3 (1.3)
	2. 40～64歳	52 (10.4)	15 (3.0)	66 (13.1)	19 (3.8)	71 (14.1)	17 (3.4)	48 (9.6)	10 (2.0)	27 (5.4)	10 (2.0)
	3. 65～74歳	2 (1.0)	2 (1.0)	7 (3.7)	12 (6.3)	28 (14.7)	10 (5.2)	20 (10.5)	2 (1.0)	10 (5.2)	9 (4.7)
	4. 75～84歳	0 (-)	2 (1.4)	5 (3.6)	15 (10.9)	20 (14.5)	6 (4.3)	10 (7.2)	1 (0.7)	8 (5.8)	12 (8.7)
	5. 85歳以上	0 (-)	0 (-)	0 (-)	9 (18.8)	4 (8.3)	3 (6.3)	3 (6.3)	0 (-)	3 (6.3)	4 (8.3)
	6. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (7.7)	0 (-)	0 (-)	3 (23.1)

注：()内はワブル数を100とした割合

(6) 日常生活で困ったときの相談先 (問 11)

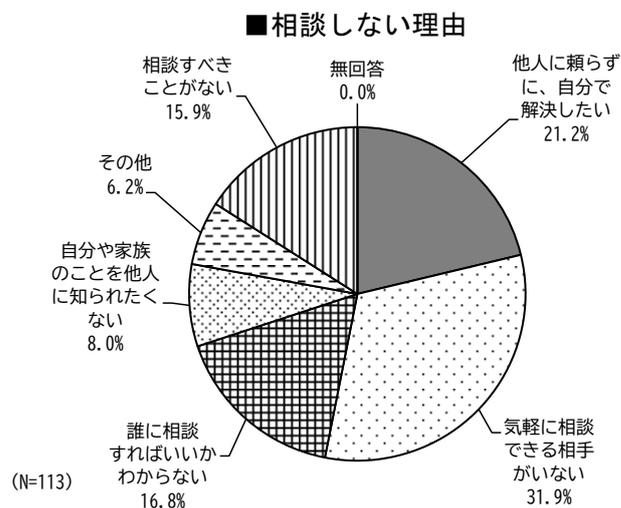
相談先については、「家族」が76.8%で最も多く、次いで「(川口市以外にお住いの) 友人・知人」が19.6%、「(川口市にお住いの) 友人・知人」が18.1%となっています。

■困ったときの相談先 (3つまで)



(7) 相談しない理由 (問 11-2)

問 11 で「相談しない」と回答した方にその理由をきいたところ、「気軽に相談できる相手がいない」が 31.9%で最も多く、次いで「他人に頼らずに、自分で解決したい」が 21.2%、「誰に相談すればいいかわからない」が 16.8%となっています。



居住地域別にみると、中央地域、青木地域は「気軽に相談できる相手がいない」、南平地域、神根地域は「他人に頼らずに、自分で解決したい」、新郷地域は「相談すべきことがない」、安行地域は「他人に頼らずに、自分で解決したい」、「気軽に相談できる相手がいない」、戸塚地域は「他人に頼らずに、自分で解決したい」、「自分や家族のことを他人に知られたくない」、鳩ヶ谷地域は「誰に相談すればいいかわからない」が全体に比べ多くなっています。

■相談しない理由 (居住地域別)

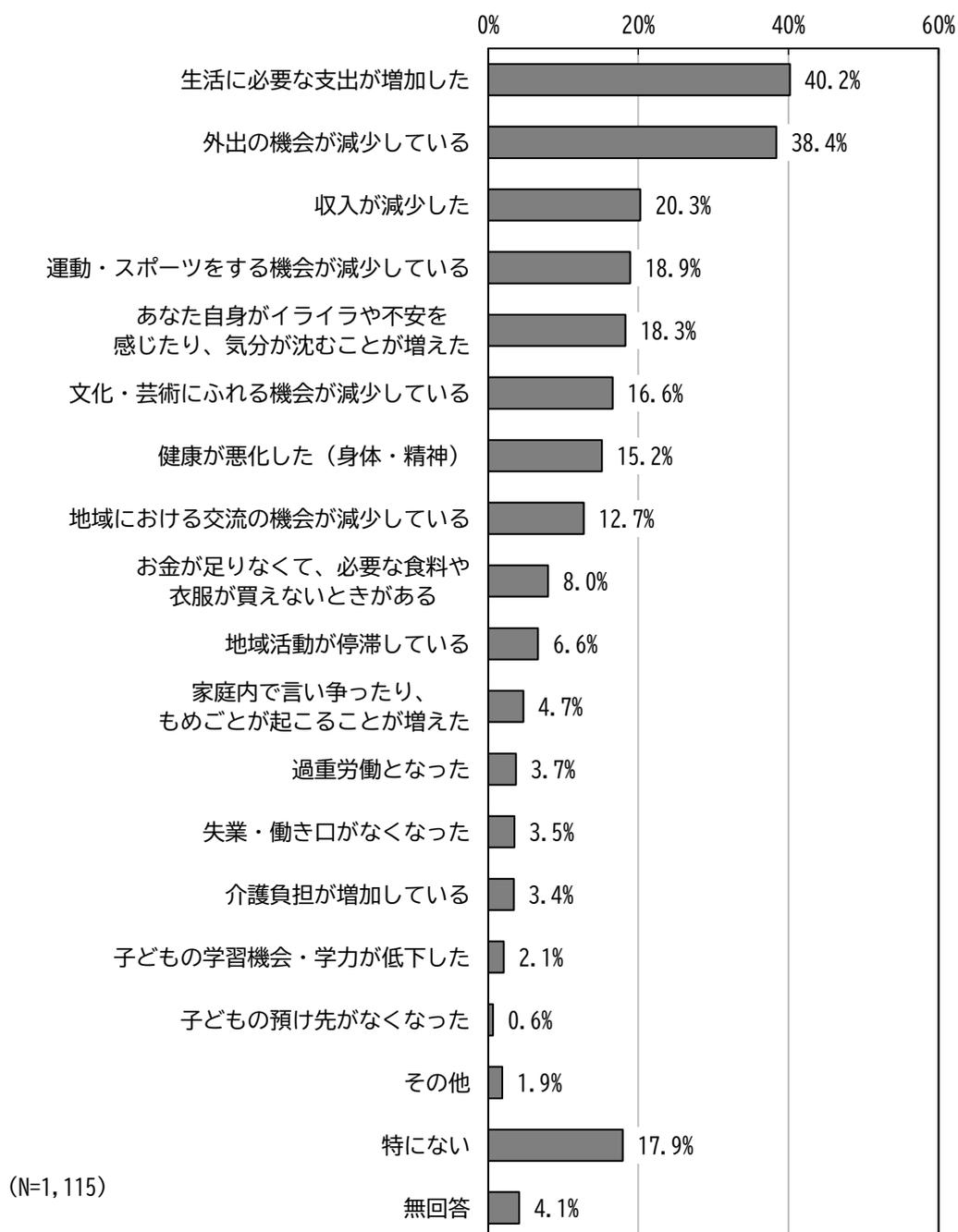
	合計	理由							
		1. 他人に頼らずに、自分で解決したい	2. 気軽に相談できる相手がいない	3. 誰に相談すればいいかわからない	4. 自分や家族のことを他人に知られたくない	5. その他	6. 相談すべきことがない	7. 無回答	
全体	113 (100.0)	24 (21.2)	36 (31.9)	19 (16.8)	9 (8.0)	7 (6.2)	18 (15.9)	0 (-)	
問6 居住地域	1. 中央地域	10 (100.0)	1 (10.0)	5 (50.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	0 (-)	2 (20.0)	0 (-)
	2. 横曽根地域	15 (100.0)	2 (13.3)	5 (33.3)	3 (20.0)	1 (6.7)	2 (13.3)	2 (13.3)	0 (-)
	3. 青木地域	17 (100.0)	3 (17.6)	8 (47.1)	3 (17.6)	0 (-)	1 (5.9)	2 (11.8)	0 (-)
	4. 南平地域	8 (100.0)	3 (37.5)	3 (37.5)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (25.0)	0 (-)
	5. 新郷地域	10 (100.0)	2 (20.0)	2 (20.0)	2 (20.0)	0 (-)	0 (-)	4 (40.0)	0 (-)
	6. 神根地域	5 (100.0)	3 (60.0)	0 (-)	0 (20.0)	1 (20.0)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)
	7. 芝地域	18 (100.0)	2 (11.1)	7 (38.9)	4 (22.2)	3 (16.7)	1 (5.6)	1 (5.6)	0 (-)
	8. 安行地域	5 (100.0)	2 (40.0)	3 (60.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	9. 戸塚地域	9 (100.0)	4 (44.4)	1 (11.1)	0 (-)	3 (33.3)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)
	10. 鳩ヶ谷地域	15 (100.0)	2 (13.3)	2 (13.3)	5 (33.3)	1 (6.7)	2 (13.3)	3 (20.0)	0 (-)
	11. 無回答	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(8) 新型コロナウイルス感染症による生活への影響 (問12)

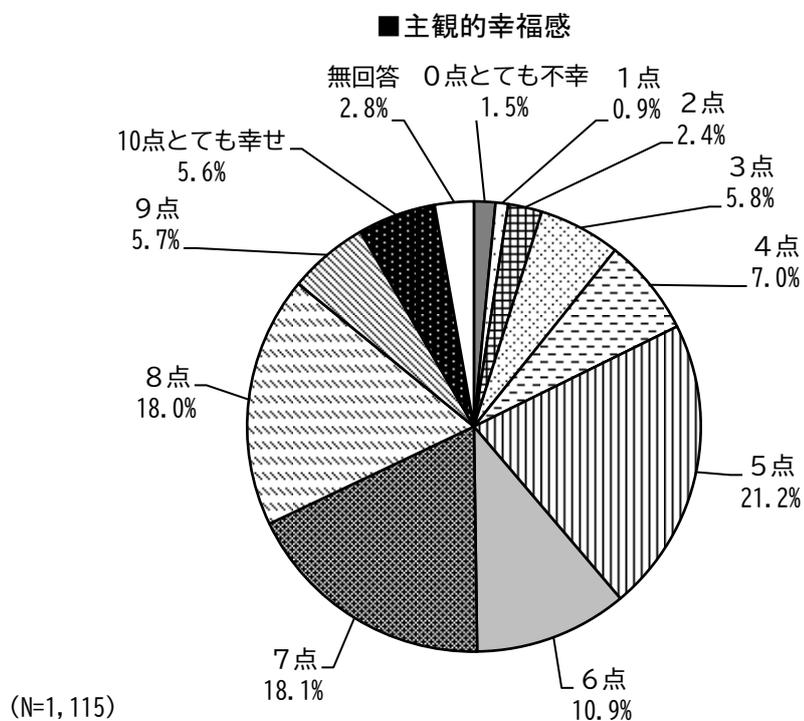
新型コロナウイルス感染症による生活への影響については、「生活に必要な支出が増加した」が40.2%で最も多く、次いで「外出の機会が減少している」が38.4%となっています。

■新型コロナウイルス感染症による生活への影響 (複数回答)



(9) 主観的幸福感 (問 13)

主観的幸福感については、「5点」が21.2%で最も多く、次いで「7点」が18.1%、「8点」が18.0%となっています。

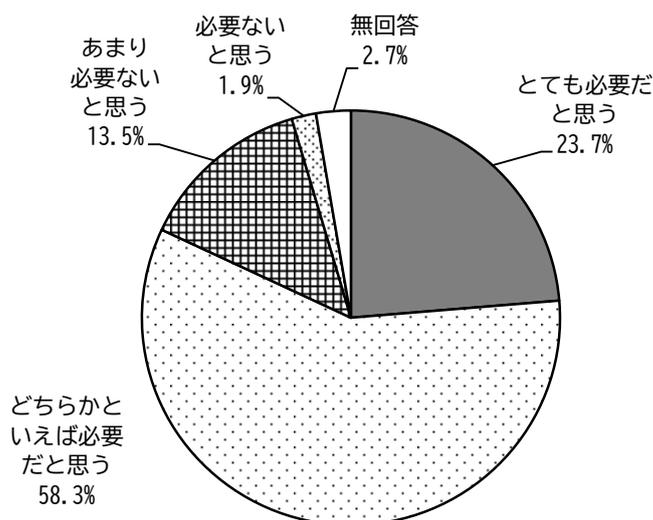


3. 地域とのつながりについて

(1) 地域とのつながりの必要性 (問 14)

地域とのつながりの必要性については、「どちらかといえば必要だと思う」が 58.3%で最も多く、次いで「とても必要だと思う」が 23.7%となっています。

■地域とのつながりの必要性



(N=1,115)

定住意向別にみると、転出したいは「必要ないと思う」が全体に比べ多くなっています。

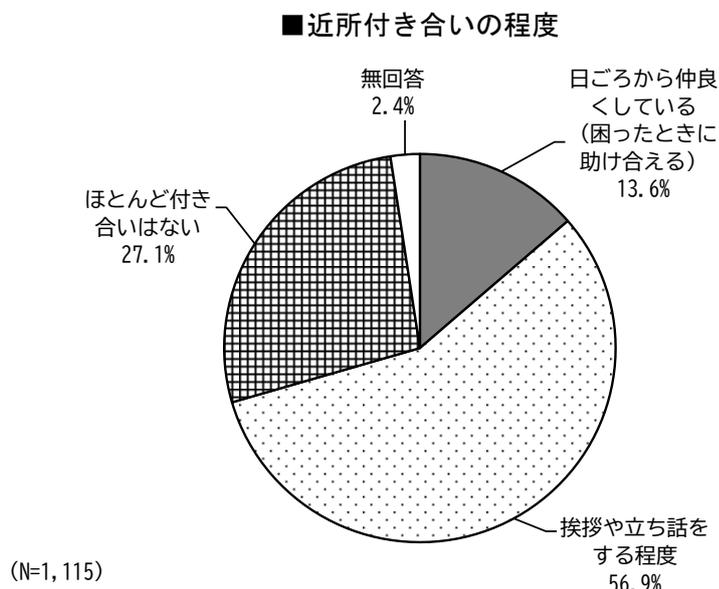
■地域とのつながりの必要性 (定住意向別)

		合計	1. とても必要だと思う	2. どちらかといえば必要だと思う	3. あまり必要ないと思う	4. 必要ないと思う	5. 無回答
全体		1,115 (100.0)	264 (23.7)	650 (58.3)	150 (13.5)	21 (1.9)	30 (2.7)
問 7 定住意向	1. ずっと住み続けたい	368 (100.0)	123 (33.4)	193 (52.4)	34 (9.2)	6 (1.6)	12 (3.3)
	2. できれば住み続けたい	567 (100.0)	111 (19.6)	358 (63.1)	79 (13.9)	5 (0.9)	14 (2.5)
	3. できれば転出したい	128 (100.0)	21 (16.4)	76 (59.4)	27 (21.1)	4 (3.1)	0 (-)
	4. 転出したい	29 (100.0)	3 (10.3)	14 (48.3)	6 (20.7)	6 (20.7)	0 (-)
	5. 無回答	23 (100.0)	6 (26.1)	9 (39.1)	4 (17.4)	0 (-)	4 (17.4)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(2) 近所付き合いの程度 (問15)

近所付き合いについては、「日ごろから仲良くしている (困ったときに助け合える)」が13.6%、「挨拶や立ち話をする程度」が56.9%、「ほとんど付き合いはない」が27.1%となっています。



年齢別にみると、18～39歳は「ほとんど付き合いはない」、75～84歳は「日ごろから仲良くしている (困ったときに助け合える)」が全体に比べ多く、75～84歳、85歳以上は「ほとんど付き合いはない」が全体に比べ少なくなっています。

■ 近所付き合いの程度 (年齢別)

		合 計	1. 日ごろから仲良くしている (困ったときに助け合える)	2. 挨拶や立ち話をする程度	3. ほとんど付き合いはない	4. 無回答
全 体		1,115 (100.0)	152 (13.6)	634 (56.9)	302 (27.1)	27 (2.4)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	14 (6.3)	118 (52.9)	90 (40.4)	1 (0.4)
	2. 40～64歳	502 (100.0)	58 (11.6)	298 (59.4)	140 (27.9)	6 (1.2)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	31 (16.2)	106 (55.5)	47 (24.6)	7 (3.7)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	37 (26.8)	77 (55.8)	16 (11.6)	8 (5.8)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	10 (20.8)	29 (60.4)	7 (14.6)	2 (4.2)
	6. 無回答	13 (100.0)	2 (15.4)	6 (46.2)	2 (15.4)	3 (23.1)

注:()内は有効回答数を100とした割合

定住意向別にみると、転出したいは「ほとんど付き合いはない」が全体に比べ多くなっています。

■近所付き合いの程度（定住意向別）

		合 計	1. 日ごろから仲良く している (困った ときに助 け合え る)	2. 挨拶や立 ち話をす る程度	3. ほとん ど付 き合 い は な い	4. 無回答
全 体		1,115 (100.0)	152 (13.6)	634 (56.9)	302 (27.1)	27 (2.4)
問 7 定 住 意 向	1. ずっと住み続けたい	368 (100.0)	83 (22.6)	204 (55.4)	70 (19.0)	11 (3.0)
	2. できれば住み続けたい	567 (100.0)	56 (9.9)	329 (58.0)	170 (30.0)	12 (2.1)
	3. できれば転出したい	128 (100.0)	9 (7.0)	73 (57.0)	45 (35.2)	1 (0.8)
	4. 転出したい	29 (100.0)	1 (3.4)	13 (44.8)	15 (51.7)	0 (-)
	5. 無回答	23 (100.0)	3 (13.0)	15 (65.2)	2 (8.7)	3 (13.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合

地域とのつながりの必要性別にみると、とても必要だと思うは「日ごろから仲良くしている（困ったときに助け合える）」、あまり必要ないと思う、必要ないと思うは「ほとんど付き合いはない」が全体に比べ多くなっています。

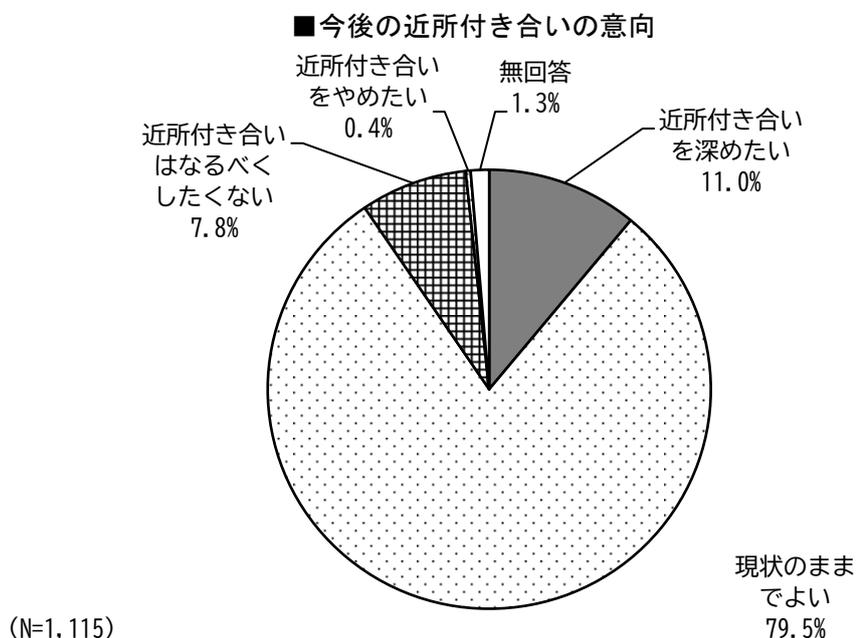
■近所付き合いの程度（地域とのつながりの必要性別）

		合 計	1. 日ごろから仲良く している (困った ときに助 け合え る)	2. 挨拶や立 ち話をす る程度	3. ほとん ど付 き合 い は な い	4. 無回答
全 体		1,115 (100.0)	152 (13.6)	634 (56.9)	302 (27.1)	27 (2.4)
問14 地域と のつな がり	1. とても必要だと思う	264 (100.0)	88 (33.3)	137 (51.9)	37 (14.0)	2 (0.8)
	2. どちらかといえば必要だと思う	650 (100.0)	57 (8.8)	413 (63.5)	180 (27.7)	0 (-)
	3. あまり必要ないと思う	150 (100.0)	6 (4.0)	77 (51.3)	67 (44.7)	0 (-)
	4. 必要ないと思う	21 (100.0)	1 (4.8)	5 (23.8)	15 (71.4)	0 (-)
	5. 無回答	30 (100.0)	0 (-)	2 (6.7)	3 (10.0)	25 (83.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(3) 今後の近所付き合いについての意向 (問16)

今後の近所付き合いについては、「近所付き合いを深めたい」が11.0%、「現状のままでよい」が79.5%、「近所付き合いはなるべくしたくない」が7.8%となっています。



地域とのつながりの必要性別にみると、とても必要だと思うは「近所付き合いを深めたい」、あまり必要ないと思う、必要ないと思うは「近所付き合いはなるべくしたくない」が全体に比べ多くなっています。

■今後の近所付き合い意向 (地域とのつながりの必要性別)

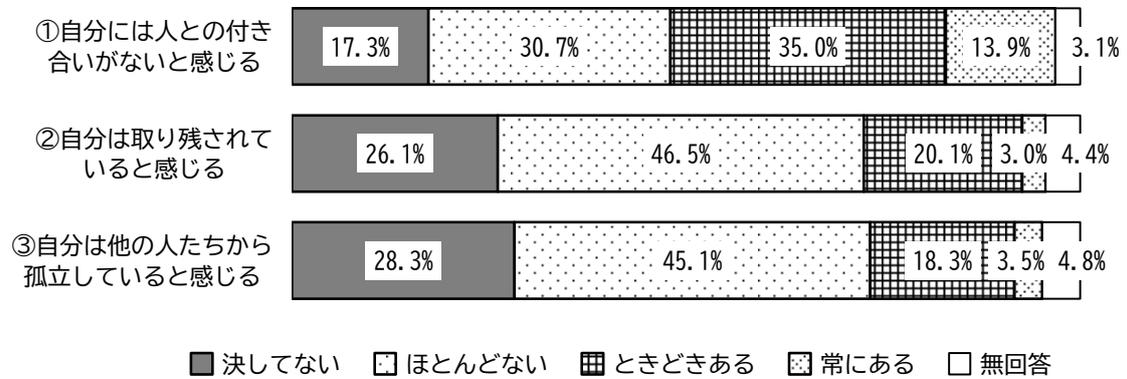
		合計	1. 近所付き合いを深めたい	2. 現状のままでよい	3. 近所付き合いはなるべくしたくない	4. 近所付き合いをやめたい	5. 無回答
全体		1,115 (100.0)	123 (11.0)	886 (79.5)	87 (7.8)	4 (0.4)	15 (1.3)
問14 地域との つながり	1. とても必要だと思う	264 (100.0)	77 (29.2)	177 (67.0)	6 (2.3)	0 (-)	4 (1.5)
	2. どちらかといえば必要だと思う	650 (100.0)	44 (6.8)	567 (87.2)	34 (5.2)	0 (-)	5 (0.8)
	3. あまり必要ないと思う	150 (100.0)	1 (0.7)	109 (72.7)	38 (25.3)	2 (1.3)	0 (-)
	4. 必要ないと思う	21 (100.0)	0 (-)	13 (61.9)	6 (28.6)	2 (9.5)	0 (-)
	5. 無回答	30 (100.0)	1 (3.3)	20 (66.7)	3 (10.0)	0 (-)	6 (20.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(4) 孤独感・孤立感 (問 17)

孤独感・孤立感については、『自分には人との付き合いがないと感じる』では「ときどきある」が35.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が30.7%となっています。『自分を取り残されていると感じる』では、「ほとんどない」が46.5%で最も多く、次いで「決してない」が26.1%となっています。『自分は他の人たちから孤立していると感じる』では、「ほとんどない」が45.1%で最も多く、次いで「決してない」が28.3%となっています。

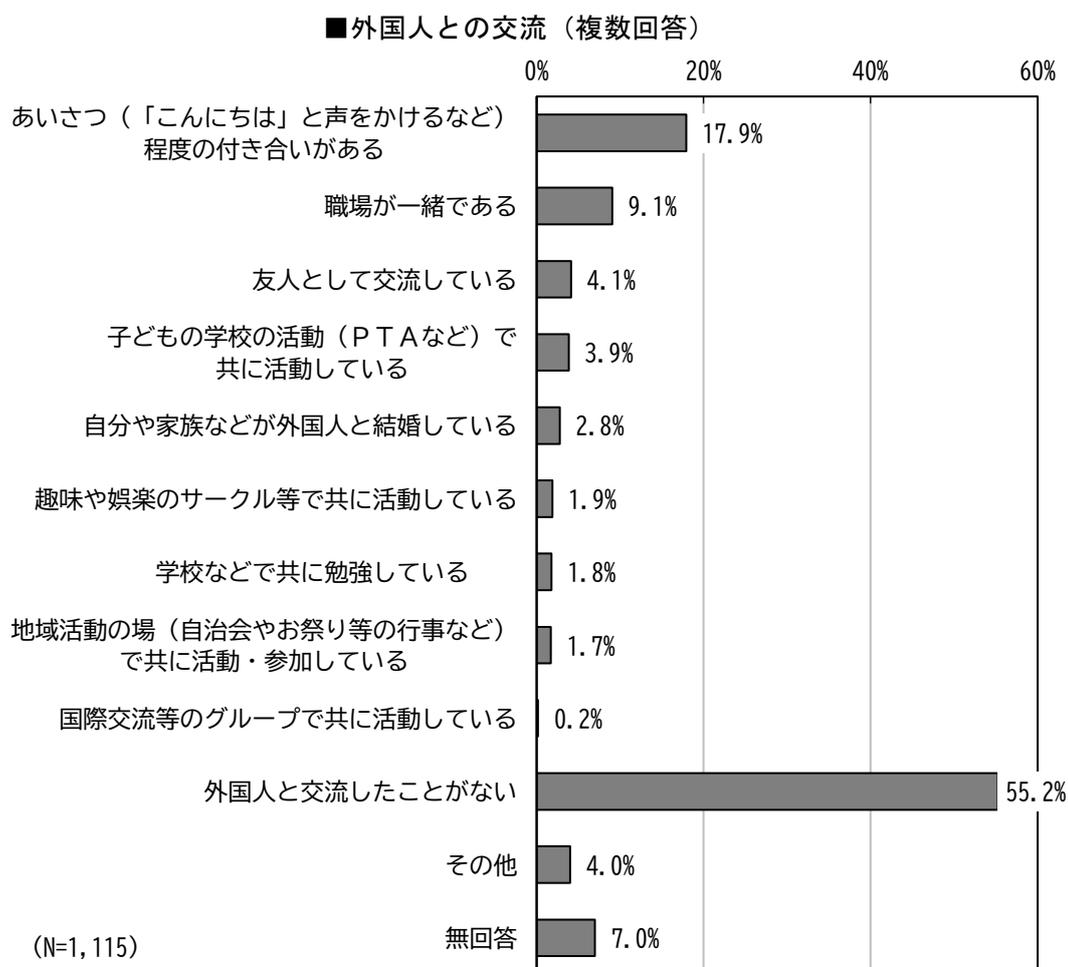
■ 孤独感・孤立感



(N=1,115)

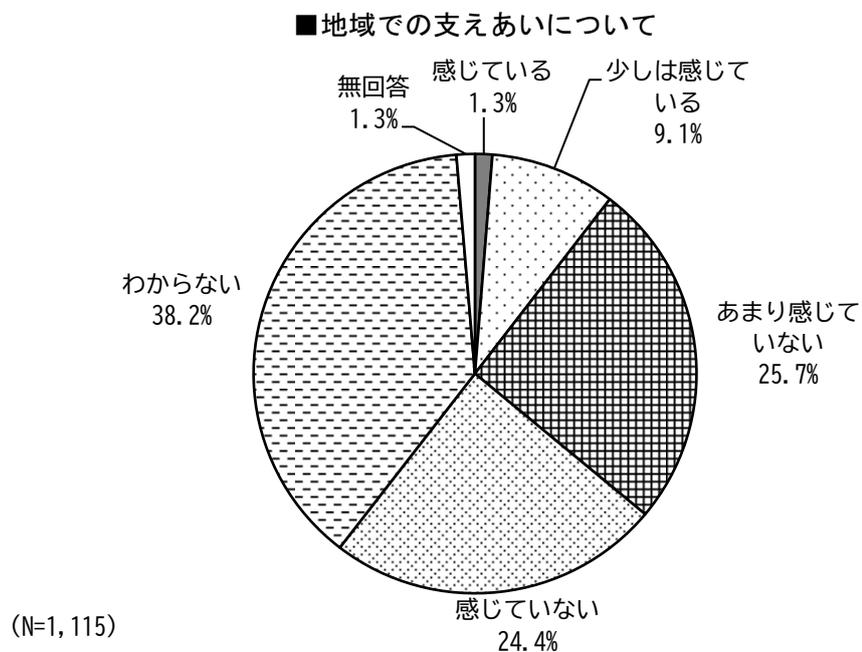
(5) 市内で活動している外国人との交流（問 18）

市内で活動している外国人との交流については、「外国人と交流したことがない」が 55.2%で最も多く、「交流がある」中では「あいさつ程度の付き合いがある」が 17.9%で最も多く、次いで「職場が一緒である」が 9.1%となっています。



(6) 地域での支えあいの状況 (問 19)

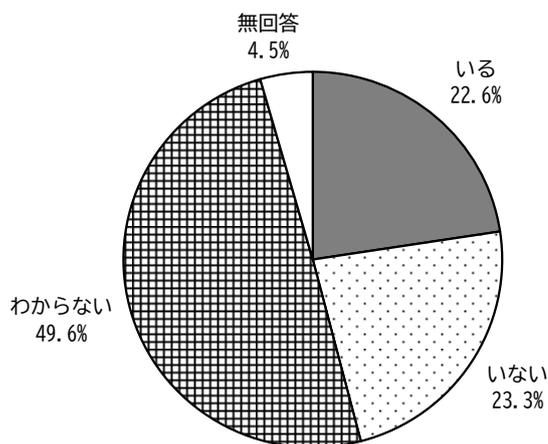
様々な困難を抱えている人たちの生活を地域全体で支えあっていると感じているかについては、「あまり感じていない」が 25.7%、「感じていない」が 24.4%、「わからない」が 38.2%となっています。



(7) 日常生活を送るうえで気にかかる方（支援が必要と思われる）の有無（問 20）

気にかかる方については、「いる」が 22.6%、「いない」が 23.3%、「わからない」が 49.6% となっています。

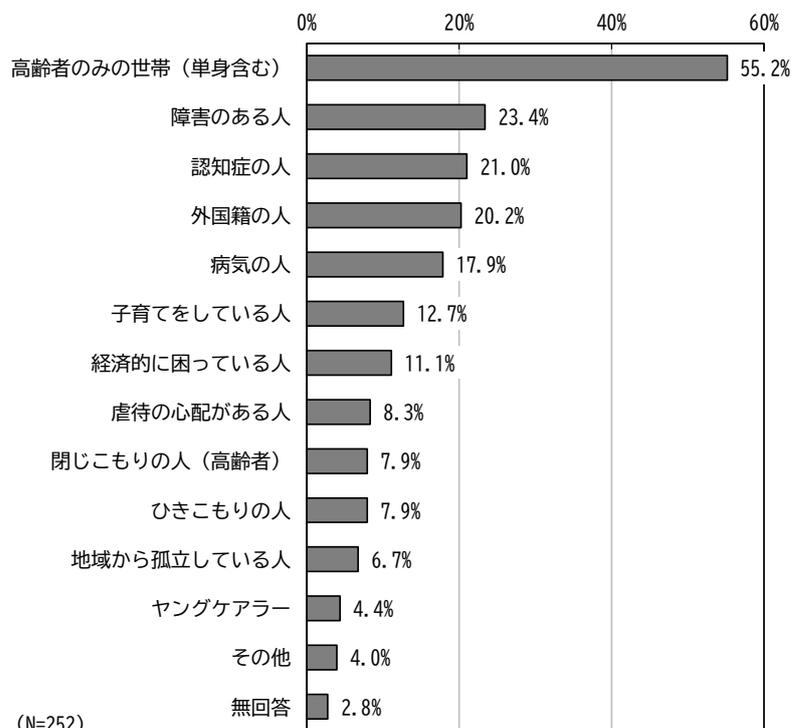
■ 気にかかる方の有無



(N=1,115)

また、気にかかる方が「いる」と回答した場合の対象者については、「高齢者のみの世帯（単身含む）」が 55.2%で最も多く、次いで「障害のある人」が 23.4%、「認知症の人」が 21.0%、「外国籍の人」が 20.2%となっています。

■ 気にかかる方の内訳（複数回答）

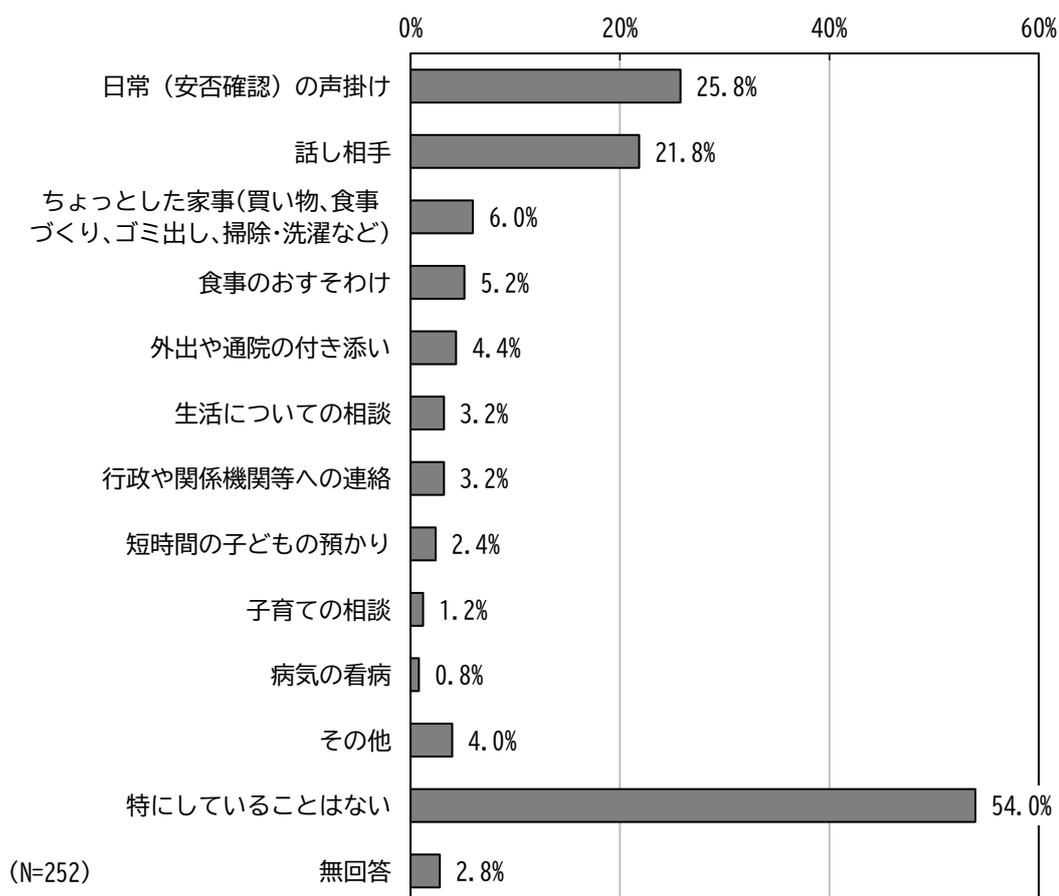


(N=252)

(8) 現在、気にかかる方に行っていること (問 20-2)

気にかかる方に行っていることは、「日常 (安否確認) の声掛け」が 25.8%で最も多く、次いで「話し相手」が 21.8%となっています。また「特にしていることはない」も 54.0%と多くなっています。

■困っている方に行っていること (複数回答)



居住地域別にみると、中央地域は「短時間の子どもの預かり」、横曽根地域、芝地域は「特
 にしていることはない」、南平地域は「生活についての相談」、新郷地域は「日常（安否確
 認）の声掛け」、「ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）」、
 「食事のおすそわけ」、「外出や通院の付き添い」、安行地域、鳩ヶ谷地域は「日常（安否確
 認）の声掛け」が全体に比べ多くなっています。

■困っている方にしていること（居住地域別）

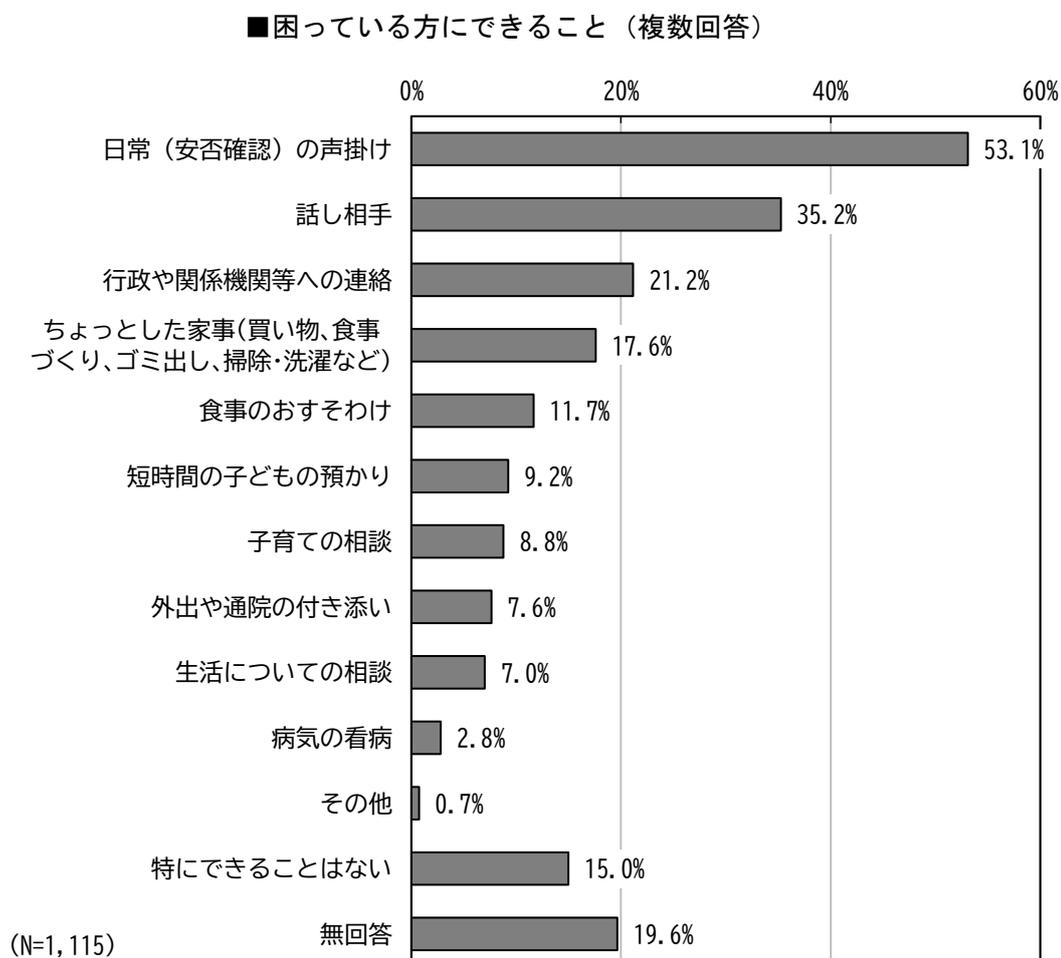
	回答者数	合 計	1. 日常（安 否確認） の声掛け	2. 話し相手	3. ちょっ とした家 事（買 い物、食 事づく り、ゴ ミ出し 、掃除 ・洗濯 など）	4. 食事のお すそわけ	5. 外出や通 院の付き 添い	6. 病気の看 病
全 体	252 (100.0)	339 (134.5)	65 (25.8)	55 (21.8)	15 (6.0)	13 (5.2)	11 (4.4)	2 (0.8)
問 6 居 住 地 域	1. 中央地域	15 (100.0)	21 (140.0)	4 (26.7)	4 (26.7)	2 (13.3)	1 (6.7)	0 (-)
	2. 横曽根地域	25 (100.0)	32 (128.0)	4 (16.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	1 (-)
	3. 青木地域	43 (100.0)	56 (130.2)	10 (23.3)	11 (25.6)	5 (11.6)	1 (2.3)	2 (4.7)
	4. 南平地域	22 (100.0)	33 (150.0)	3 (13.6)	6 (27.3)	2 (9.1)	1 (4.5)	3 (13.6)
	5. 新郷地域	15 (100.0)	29 (193.3)	6 (40.0)	4 (26.7)	3 (20.0)	4 (26.7)	3 (20.0)
	6. 神根地域	27 (100.0)	33 (122.2)	4 (14.8)	6 (22.2)	0 (-)	1 (3.7)	0 (-)
	7. 芝地域	39 (100.0)	47 (120.5)	9 (23.1)	4 (10.3)	0 (-)	2 (5.1)	0 (-)
	8. 安行地域	16 (100.0)	18 (112.5)	6 (37.5)	5 (31.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	9. 戸塚地域	18 (100.0)	23 (127.8)	6 (33.3)	5 (27.8)	0 (-)	0 (-)	1 (5.6)
	10. 鳩ヶ谷地域	24 (100.0)	31 (129.2)	9 (37.5)	5 (20.8)	1 (4.2)	2 (8.3)	0 (-)
	11. 無回答	8 (100.0)	16 (200.0)	4 (50.0)	3 (37.5)	1 (12.5)	0 (-)	1 (12.5)

	7. 短時間 の子ど もの 預かり	8. 子育て の相 談	9. 生活に つ いての 相 談	10. 行政や 関 係機 関等 への 連絡	11. その他	12. 特にし て い る こ と は な い	13. 無回答
全 体	6 (2.4)	3 (1.2)	8 (3.2)	8 (3.2)	10 (4.0)	136 (54.0)	7 (2.8)
問 6 居 住 地 域	1. 中央地域	2 (13.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	7 (6.7)
	2. 横曽根地域	0 (-)	0 (-)	1 (4.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	19 (76.0)
	3. 青木地域	1 (2.3)	1 (2.3)	0 (-)	1 (2.3)	2 (4.7)	22 (51.2)
	4. 南平地域	0 (-)	0 (-)	3 (13.6)	1 (4.5)	0 (-)	14 (63.6)
	5. 新郷地域	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	8 (53.3)
	6. 神根地域	1 (3.7)	1 (3.7)	1 (3.7)	0 (-)	2 (7.4)	16 (59.3)
	7. 芝地域	0 (-)	0 (-)	1 (2.6)	1 (2.6)	3 (7.7)	26 (66.7)
	8. 安行地域	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (31.3)
	9. 戸塚地域	1 (5.6)	0 (-)	0 (-)	1 (5.6)	0 (-)	8 (44.4)
	10. 鳩ヶ谷地域	0 (-)	0 (-)	1 (4.2)	2 (8.3)	2 (8.3)	9 (37.5)
	11. 無回答	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (-)	2 (25.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(9) 困っている方がいる場合にできること（問 21-1）

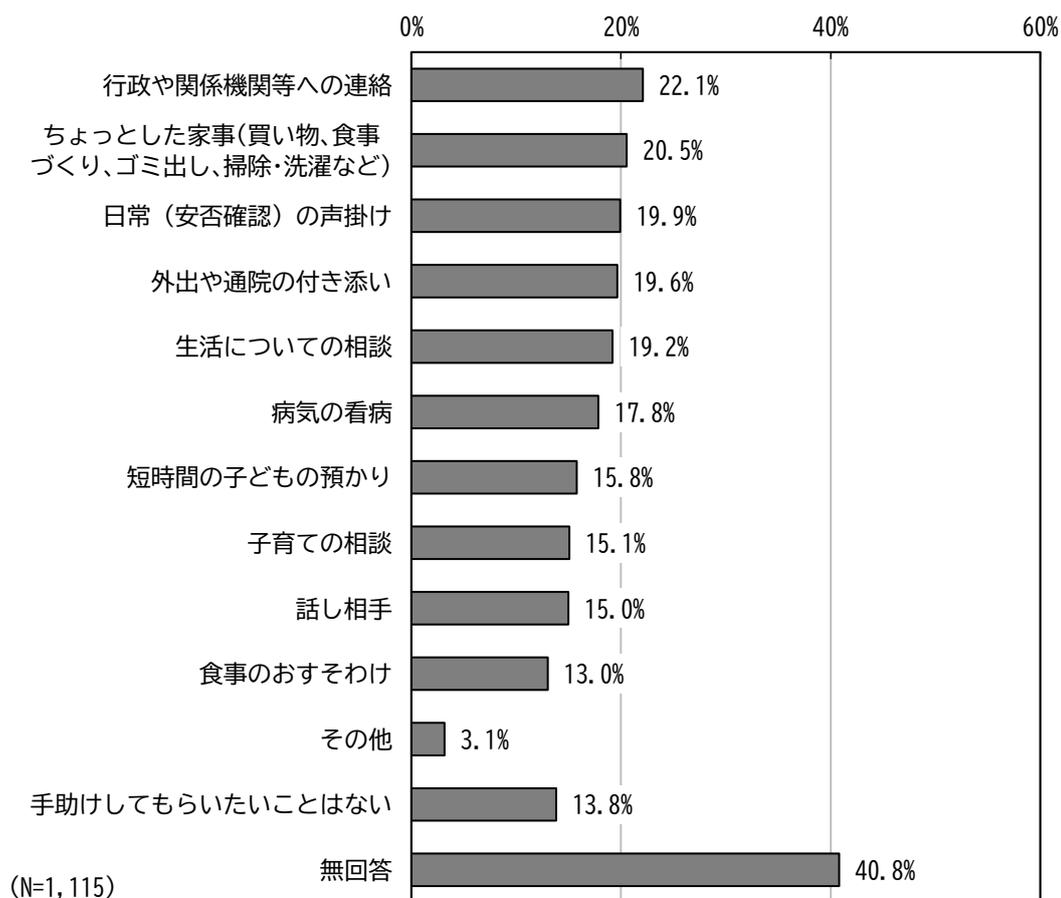
困っている方にできることについては、「日常（安否確認）の声掛け」が 53.1%で最も多く、次いで「話し相手」が 35.2%、「行政や関係機関等への連絡」が 21.2%となっています。



**(10) 日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいこと
(問 21-2)**

手助けをしてもらいたいことについては、「行政や関係機関等への連絡」が 22.1%で最も多く、次いで「ちょっとした家事(買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など)」が 20.5%、「日常(安否確認)の声掛け」が 19.9%となっています。

■手助けをしてもらいたいこと(複数回答)



年齢別にみると、18～39歳は「短時間の子どもの預かり」、「子育ての相談」が全体に比べて多くなっています。

■手助けをしてもらいたいこと（年齢別）

		回答者数	合計	1. 日常（安 否確認） の声掛け	2. 話し相手	3. ちょっと した家事 （買い 物、食事 づくり、 ゴミ出 し、掃 除・洗濯 など）	4. 食事のお すそわけ	5. 外出や通 院の付き 添い	6. 病気の看 病
全	体	1,115 (100.0)	2,629 (235.8)	222 (19.9)	167 (15.0)	229 (20.5)	145 (13.0)	219 (19.6)	199 (17.8)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	653 (292.8)	40 (17.9)	39 (17.5)	60 (26.9)	44 (19.7)	58 (26.0)	57 (25.6)
	2. 40～64歳	502 (100.0)	1,320 (262.9)	124 (24.7)	87 (17.3)	123 (24.5)	78 (15.5)	118 (23.5)	106 (21.1)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	342 (179.1)	37 (19.4)	28 (14.7)	19 (9.9)	14 (7.3)	22 (11.5)	19 (9.9)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	200 (144.9)	10 (7.2)	4 (2.9)	16 (11.6)	3 (2.2)	14 (10.1)	10 (7.2)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	90 (187.5)	8 (16.7)	8 (16.7)	8 (16.7)	5 (10.4)	6 (12.5)	6 (12.5)
	6. 無回答	13 (100.0)	24 (184.6)	3 (23.1)	1 (7.7)	3 (23.1)	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)

		7. 短時間の 子どもの 預かり	8. 子育ての 相談	9. 生活につ いての相 談	10. 行政や関 係機関等 への連絡	11. その他	12. 手助けし てもらい たいこと はない	13. 無回答
全	体	176 (15.8)	168 (15.1)	214 (19.2)	246 (22.1)	35 (3.1)	154 (13.8)	455 (40.8)
問 2 年 齢	1. 18～39歳	65 (29.1)	63 (28.3)	61 (27.4)	53 (23.8)	7 (3.1)	42 (18.8)	64 (28.7)
	2. 40～64歳	88 (17.5)	78 (15.5)	116 (23.1)	141 (28.1)	19 (3.8)	78 (15.5)	164 (32.7)
	3. 65～74歳	14 (7.3)	16 (8.4)	21 (11.0)	31 (16.2)	4 (2.1)	18 (9.4)	99 (51.8)
	4. 75～84歳	5 (3.6)	7 (5.1)	11 (8.0)	15 (10.9)	3 (2.2)	12 (8.7)	90 (65.2)
	5. 85歳以上	3 (6.3)	3 (6.3)	4 (8.3)	5 (10.4)	2 (4.2)	3 (6.3)	29 (60.4)
	6. 無回答	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)	0 (-)	1 (7.7)	9 (69.2)

注：()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、安行地域は「食事のおすそわけ」が全体に比べ多くなっています。

■手助けをしてもらいたいこと（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 日常（安否確認）の声掛け	2. 話し相手	3. ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）	4. 食事のおすそわけ	5. 外出や通院の付き添い	6. 病気の看病	
全体	1,115 (100.0)	2,629 (235.8)	222 (19.9)	167 (15.0)	229 (20.5)	145 (13.0)	219 (19.6)	199 (17.8)	
問6 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	196 (210.8)	17 (18.3)	19 (20.4)	15 (16.1)	7 (7.5)	14 (15.1)	12 (12.9)
	2. 横曽根地域	124 (100.0)	275 (221.8)	33 (26.6)	19 (15.3)	24 (19.4)	11 (8.9)	21 (16.9)	15 (12.1)
	3. 青木地域	159 (100.0)	312 (196.2)	24 (15.1)	15 (9.4)	30 (18.9)	16 (10.1)	25 (15.7)	20 (12.6)
	4. 南平地域	119 (100.0)	330 (277.3)	32 (26.9)	23 (19.3)	25 (21.0)	23 (19.3)	30 (25.2)	26 (21.8)
	5. 新郷地域	73 (100.0)	204 (279.5)	14 (19.2)	13 (17.8)	19 (26.0)	14 (19.2)	19 (26.0)	19 (26.0)
	6. 神根地域	97 (100.0)	221 (227.8)	22 (22.7)	13 (13.4)	18 (18.6)	12 (12.4)	17 (17.5)	16 (16.5)
	7. 芝地域	142 (100.0)	275 (193.7)	25 (17.6)	18 (12.7)	21 (14.8)	11 (7.7)	21 (14.8)	20 (14.1)
	8. 安行地域	62 (100.0)	176 (283.9)	9 (14.5)	10 (16.1)	17 (27.4)	16 (25.8)	15 (24.2)	14 (22.6)
	9. 戸塚地域	113 (100.0)	312 (276.1)	22 (19.5)	21 (18.6)	32 (28.3)	15 (13.3)	33 (29.2)	30 (26.5)
	10. 鳩ヶ谷地域	105 (100.0)	271 (258.1)	20 (19.0)	13 (12.4)	24 (22.9)	17 (16.2)	20 (19.0)	23 (21.9)
	11. 無回答	28 (100.0)	57 (203.6)	4 (14.3)	3 (10.7)	4 (14.3)	3 (10.7)	4 (14.3)	4 (14.3)

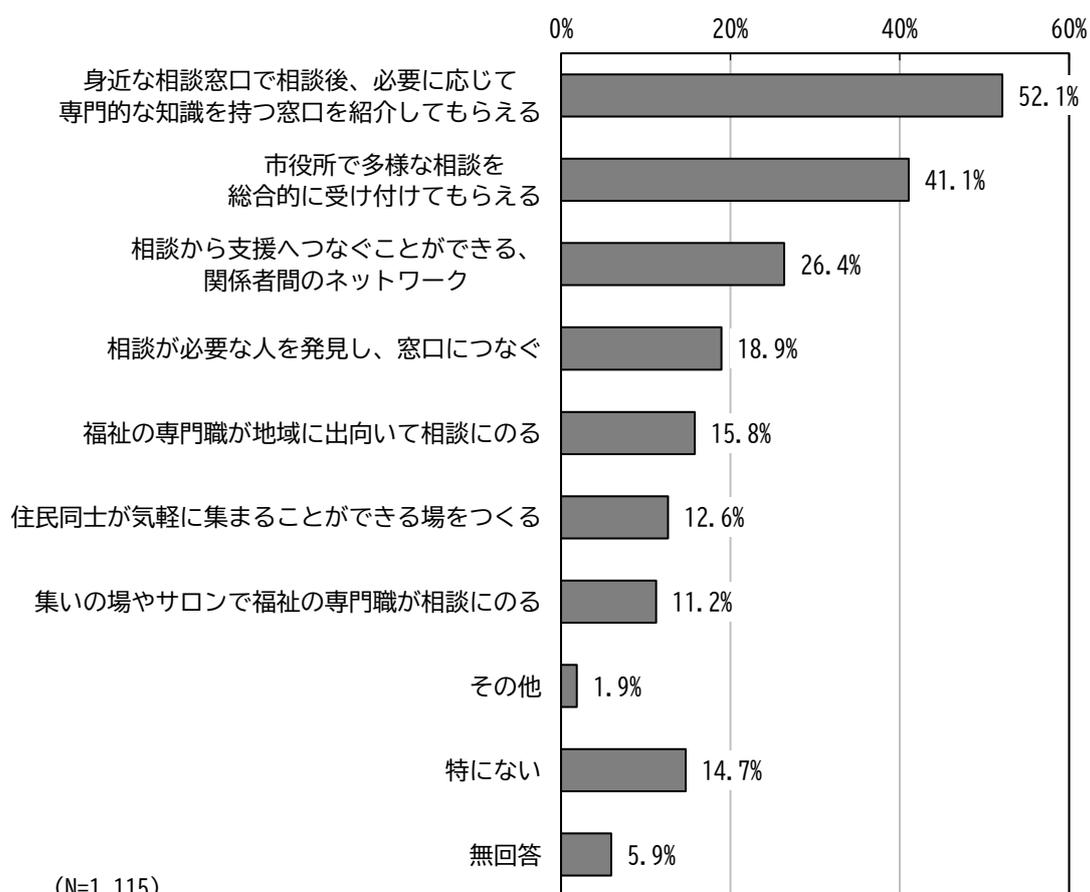
	7. 短時間の子ども預かり	8. 子育ての相談	9. 生活についての相談	10. 行政や関係機関等への連絡	11. その他	12. 手助けしてもらいたいことはない	13. 無回答	
全体	176 (15.8)	168 (15.1)	214 (19.2)	246 (22.1)	35 (3.1)	154 (13.8)	455 (40.8)	
問6 居住地域	1. 中央地域	14 (15.1)	16 (17.2)	11 (11.8)	11 (11.8)	5 (5.4)	17 (18.3)	38 (40.9)
	2. 横曽根地域	18 (14.5)	20 (16.1)	24 (19.4)	31 (25.0)	3 (2.4)	16 (12.9)	40 (32.3)
	3. 青木地域	12 (7.5)	14 (8.8)	23 (14.5)	31 (19.5)	2 (1.3)	28 (17.6)	72 (45.3)
	4. 南平地域	26 (21.8)	22 (18.5)	28 (23.5)	33 (27.7)	4 (3.4)	12 (10.1)	46 (38.7)
	5. 新郷地域	13 (17.8)	13 (17.8)	17 (23.3)	17 (23.3)	6 (8.2)	5 (6.8)	35 (47.9)
	6. 神根地域	14 (14.4)	16 (16.5)	18 (18.6)	19 (19.6)	1 (1.0)	9 (9.3)	46 (47.4)
	7. 芝地域	14 (9.9)	12 (8.5)	24 (16.9)	24 (16.9)	3 (2.1)	22 (15.5)	60 (42.3)
	8. 安行地域	15 (24.2)	11 (17.7)	14 (22.6)	18 (29.0)	3 (4.8)	11 (17.7)	23 (37.1)
	9. 戸塚地域	25 (22.1)	20 (17.7)	29 (25.7)	31 (27.4)	4 (3.5)	17 (15.0)	33 (29.2)
	10. 鳩ヶ谷地域	21 (20.0)	19 (18.1)	24 (22.9)	28 (26.7)	3 (2.9)	15 (14.3)	44 (41.9)
	11. 無回答	4 (14.3)	5 (17.9)	2 (7.1)	3 (10.7)	1 (3.6)	2 (7.1)	18 (64.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(11) 日常生活の困りごとや、気がかりな人に気づいたときに必要な仕組み（問 22）

日常生活に困りごとがあったときや、気がかりな人に気づいたとき、あるとよい仕組みについては、「身近な相談窓口で相談後、必要に応じて専門的な知識を持つ窓口を紹介してもらえる」が 52.1%で最も多く、次いで「市役所で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」が 41.1%、「相談から支援へつなぐことができる、関係者間のネットワーク」が 26.4%となっています。

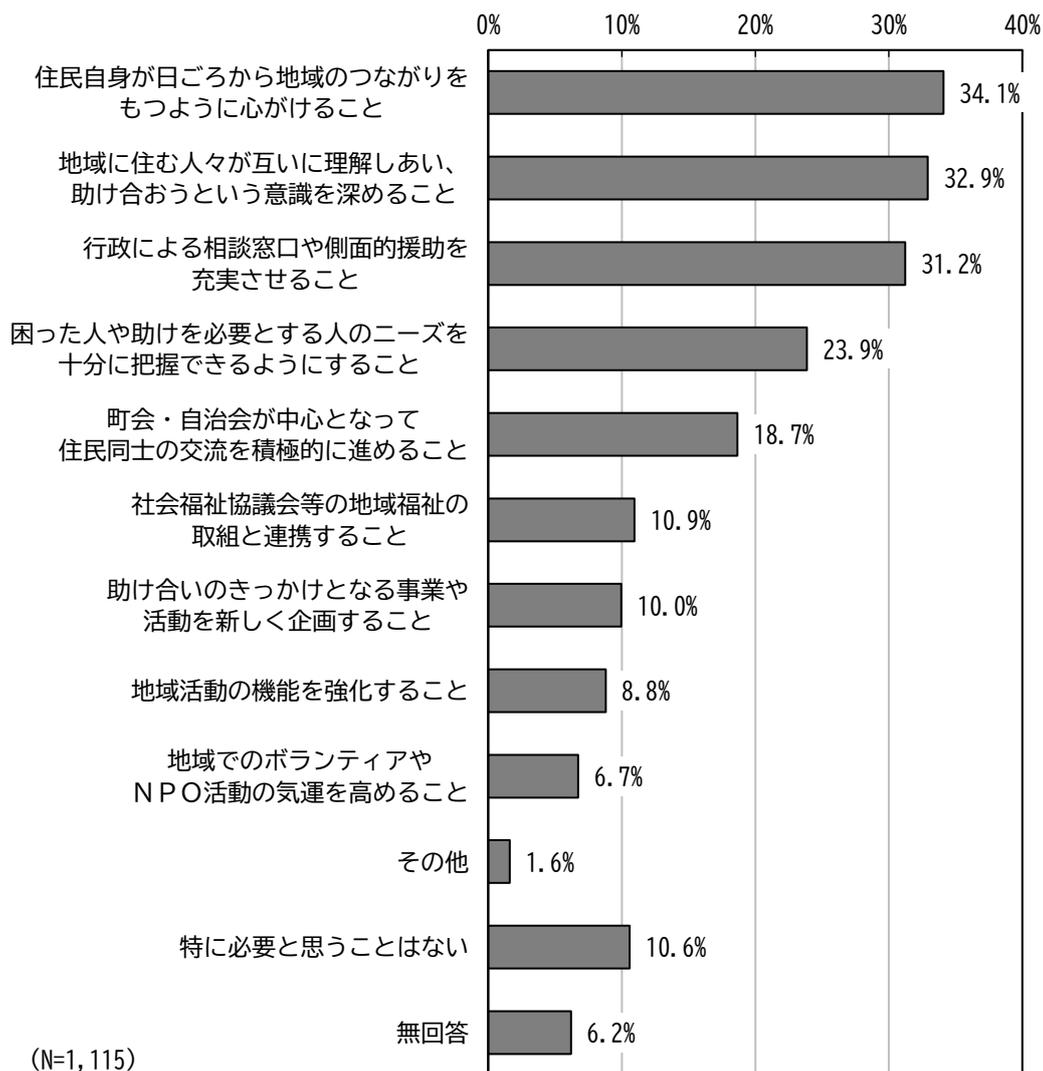
■日常生活の困りごとや、気がかりな人に気づいたときに必要な仕組み



(12) 地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと（問 23）

助け合いの輪を広げていくために必要だと思うことについては、「住民自身が日ごろから地域のつながりをもつように心がけること」が 34.1%で最も多く、次いで「地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること」が 32.9%、「行政による相談窓口や側面的援助を充実させること」が 31.2%となっています。

■ 助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと（3つまで）



居住地域別にみると、神根地域は「住民自身が日ごろから地域のつながりをもつように心がけること」が全体に比べ多くなっています。

■助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 住民自身が日ごろから地域のつながりをもつように心がけること	2. 地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること	3. 町会・自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること	4. 地域でのボランティアやNPO活動の気運を高めること	5. 助け合いのきつかけとなる事業や活動を新しく企画すること	
全体	1,115 (100.0)	2,180 (195.5)	380 (34.1)	367 (32.9)	208 (18.7)	75 (6.7)	111 (10.0)	
問6 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	185 (198.9)	34 (36.6)	28 (30.1)	17 (18.3)	7 (7.5)	10 (10.8)
	2. 横曽根地域	124 (100.0)	244 (196.8)	44 (35.5)	38 (30.6)	20 (16.1)	11 (8.9)	10 (8.1)
	3. 青木地域	159 (100.0)	302 (189.9)	55 (34.6)	47 (29.6)	28 (17.6)	14 (8.8)	13 (8.2)
	4. 南平地域	119 (100.0)	223 (187.4)	30 (25.2)	42 (35.3)	25 (21.0)	6 (5.0)	13 (10.9)
	5. 新郷地域	73 (100.0)	134 (183.6)	29 (39.7)	26 (35.6)	14 (19.2)	4 (5.5)	5 (6.8)
	6. 神根地域	97 (100.0)	207 (213.4)	43 (44.3)	36 (37.1)	17 (17.5)	6 (6.2)	10 (10.3)
	7. 芝地域	142 (100.0)	282 (198.6)	41 (28.9)	40 (28.2)	26 (18.3)	8 (5.6)	16 (11.3)
	8. 安行地域	62 (100.0)	111 (179.0)	23 (37.1)	19 (30.6)	13 (21.0)	3 (4.8)	8 (12.9)
	9. 戸塚地域	113 (100.0)	230 (203.5)	33 (29.2)	41 (36.3)	26 (23.0)	9 (8.0)	16 (14.2)
	10. 鳩ヶ谷地域	105 (100.0)	205 (195.2)	38 (36.2)	38 (36.2)	16 (15.2)	6 (5.7)	9 (8.6)
	11. 無回答	28 (100.0)	57 (203.6)	10 (35.7)	12 (42.9)	6 (21.4)	1 (3.6)	1 (3.6)

	6. 困った人や助けを必要とする人のニーズを十分に把握できるようにすること	7. 行政による相談窓口や側面的援助を充実させること	8. 社会福祉協議会等の地域福祉の取組と連携すること	9. 地域活動の機能を強化すること	10. その他	11. 特に必要と思うことはない	12. 無回答	
全体	266 (23.9)	348 (31.2)	122 (10.9)	98 (8.8)	18 (1.6)	118 (10.6)	69 (6.2)	
問6 居住地域	1. 中央地域	22 (23.7)	27 (29.0)	11 (11.8)	12 (12.9)	2 (2.2)	10 (10.8)	5 (5.4)
	2. 横曽根地域	38 (30.6)	44 (35.5)	9 (7.3)	7 (5.6)	2 (1.6)	16 (12.9)	5 (4.0)
	3. 青木地域	35 (22.0)	48 (30.2)	20 (12.6)	12 (7.5)	2 (1.3)	16 (10.1)	12 (7.5)
	4. 南平地域	24 (20.2)	42 (35.3)	10 (8.4)	10 (8.4)	2 (1.7)	13 (10.9)	6 (5.0)
	5. 新郷地域	17 (23.3)	13 (17.8)	7 (9.6)	7 (9.6)	1 (1.4)	7 (9.6)	4 (5.5)
	6. 神根地域	23 (23.7)	37 (38.1)	13 (13.4)	11 (11.3)	0 (-)	7 (7.2)	4 (4.1)
	7. 芝地域	36 (25.4)	53 (37.3)	19 (13.4)	16 (11.3)	3 (2.1)	14 (9.9)	10 (7.0)
	8. 安行地域	12 (19.4)	9 (14.5)	5 (8.1)	5 (8.1)	0 (-)	7 (11.3)	7 (11.3)
	9. 戸塚地域	27 (23.9)	42 (37.2)	10 (8.8)	8 (7.1)	5 (4.4)	7 (6.2)	6 (5.3)
	10. 鳩ヶ谷地域	25 (23.8)	26 (24.8)	16 (15.2)	7 (6.7)	0 (-)	18 (17.1)	6 (5.7)
	11. 無回答	7 (25.0)	7 (25.0)	2 (7.1)	3 (10.7)	1 (3.6)	3 (10.7)	4 (14.3)

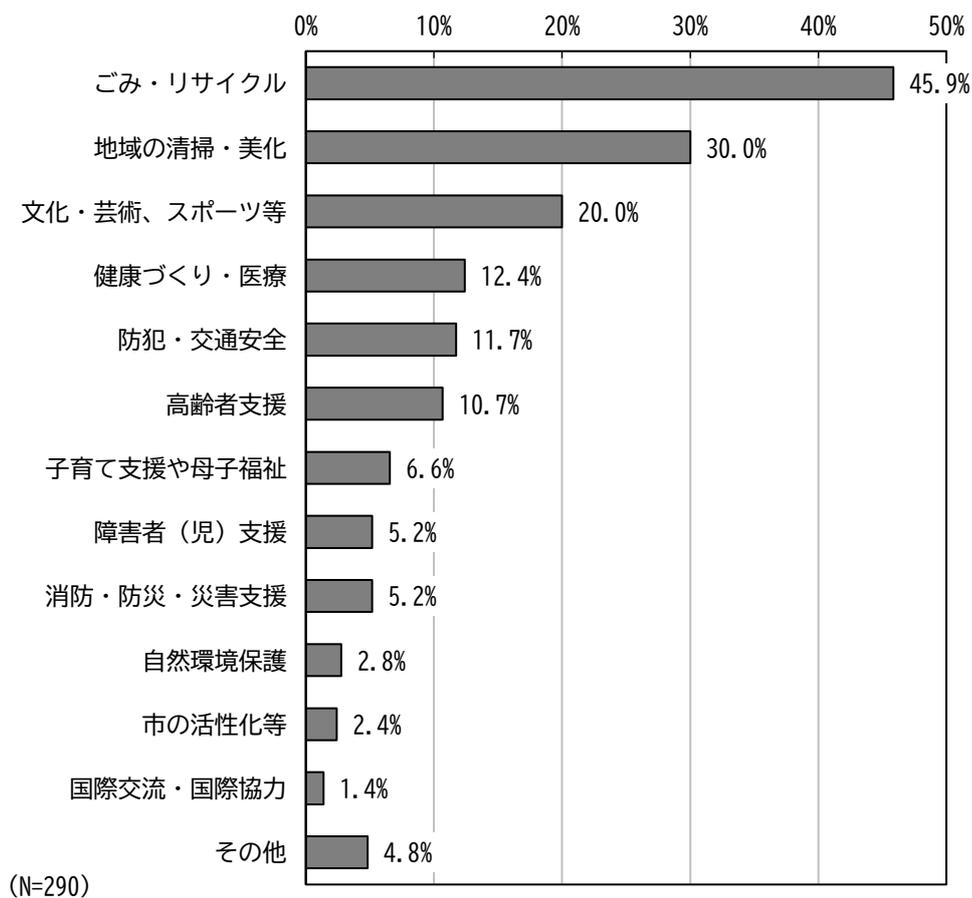
注：()内は割合(数を100とした割合)

4. 地域活動について

(1) 参加している地域活動の内容（問 24-1）

地域活動に参加している方の内容は、「ごみ・リサイクル」が45.9%、「地域の清掃・美化」が30.0%、「文化・芸術、スポーツ等」が20.0%となっています。

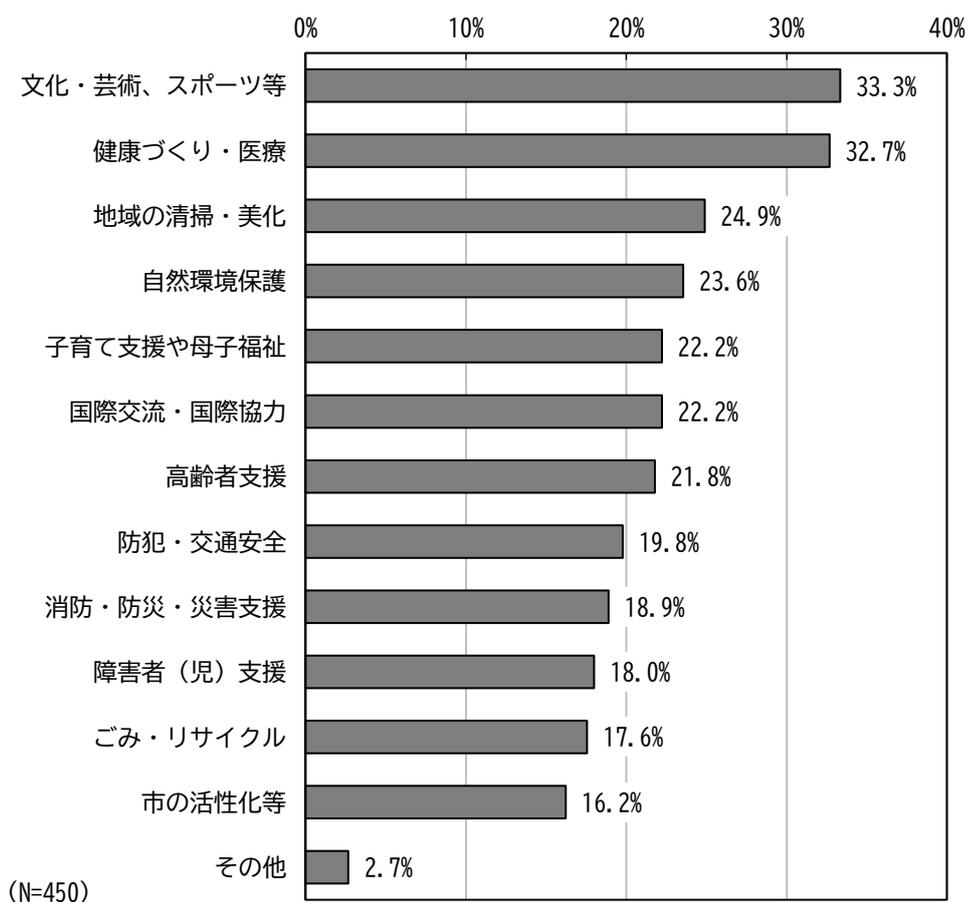
■参加している地域活動の内容（複数回答）



(2) 今後取り組んでみたい地域活動（問 24-2）

今後取り組んでみたい地域活動については、「文化・芸術、スポーツ等」が 33.3%で最も多く、次いで「健康づくり・医療」が 32.7%、「地域の清掃・美化」が 24.9%となっています。

■ 今後取り組んでみたい地域活動（3つまで）



年齢別にみると、18～39歳は「子育て支援や母子福祉」、85歳以上は「高齢者支援」、「障害者（児）支援」、「健康づくり・医療」、「消防・防災・災害支援」、「ごみ・リサイクル」が全体に比べ多くなっています。

■今後取り組んでみたい地域活動（年齢別）

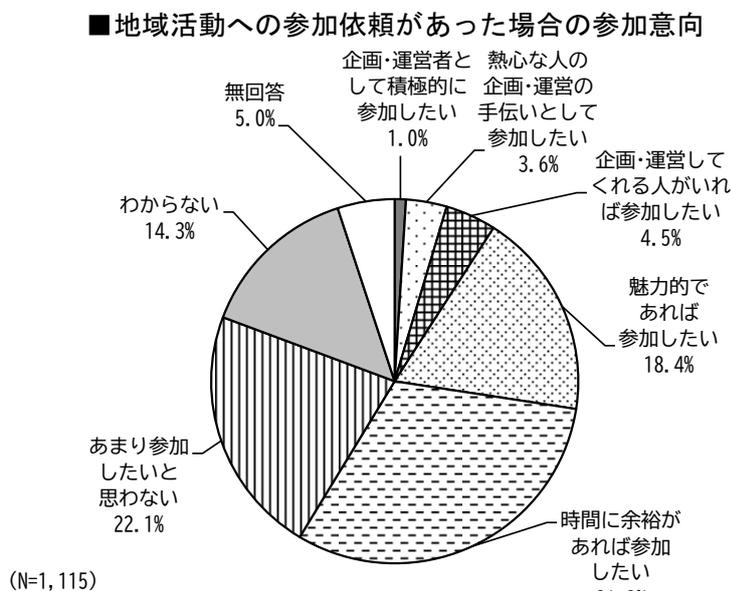
		回答者数	合計	1. 高齢者支援	2. 障害者（児）支援	3. 子育て支援や母子福祉	4. 健康づくり・医療	5. 地域の清掃・美化	6. 市の活性化等
全体		450 (100.0)	1,232 (273.8)	98 (21.8)	81 (18.0)	100 (22.2)	147 (32.7)	112 (24.9)	73 (16.2)
問2 年齢	1. 18～39歳	107 (100.0)	317 (296.3)	17 (15.9)	21 (19.6)	42 (39.3)	30 (28.0)	31 (29.0)	19 (17.8)
	2. 40～64歳	224 (100.0)	619 (276.3)	46 (20.5)	45 (20.1)	48 (21.4)	69 (30.8)	53 (23.7)	38 (17.0)
	3. 65～74歳	67 (100.0)	177 (264.2)	20 (29.9)	9 (13.4)	8 (11.9)	27 (40.3)	16 (23.9)	11 (16.4)
	4. 75～84歳	39 (100.0)	81 (207.7)	9 (23.1)	3 (7.7)	1 (2.6)	15 (38.5)	9 (23.1)	4 (10.3)
	5. 85歳以上	10 (100.0)	32 (320.0)	5 (50.0)	3 (30.0)	1 (10.0)	5 (50.0)	3 (30.0)	1 (10.0)
	6. 無回答	3 (100.0)	6 (200.0)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3)	0 (-)	0 (-)

		7. 防犯・交通安全	8. 消防・防災・災害支援	9. 自然環境保護	10. ごみ・リサイクル	11. 文化・芸術、スポーツ等	12. 国際交流・国際協力	13. その他
全体		89 (19.8)	85 (18.9)	106 (23.6)	79 (17.6)	150 (33.3)	100 (22.2)	12 (2.7)
問2 年齢	1. 18～39歳	23 (21.5)	22 (20.6)	21 (19.6)	19 (17.8)	39 (36.4)	30 (28.0)	3 (2.8)
	2. 40～64歳	41 (18.3)	44 (19.6)	52 (23.2)	39 (17.4)	83 (37.1)	56 (25.0)	5 (2.2)
	3. 65～74歳	18 (26.9)	9 (13.4)	18 (26.9)	10 (14.9)	19 (28.4)	10 (14.9)	2 (3.0)
	4. 75～84歳	6 (15.4)	6 (15.4)	11 (28.2)	6 (15.4)	7 (17.9)	3 (7.7)	1 (2.6)
	5. 85歳以上	1 (10.0)	3 (30.0)	3 (30.0)	3 (30.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	1 (10.0)
	6. 無回答	0 (-)	1 (33.3)	1 (33.3)	2 (66.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(3) 地域活動への参加依頼があった場合の参加意向 (問25)

地域活動への参加依頼があった場合の参加意向については、「時間に余裕があれば参加したい」が31.2%で最も多く、次いで「あまり参加したいと思わない」が22.1%、「魅力的であれば参加したい」が18.4%となっています。



定住意向別にみると、転出したいは「あまり参加したいと思わない」が全体に比べ多くなっています。

■ 地域活動への参加依頼があった場合の参加意向 (定住意向別)

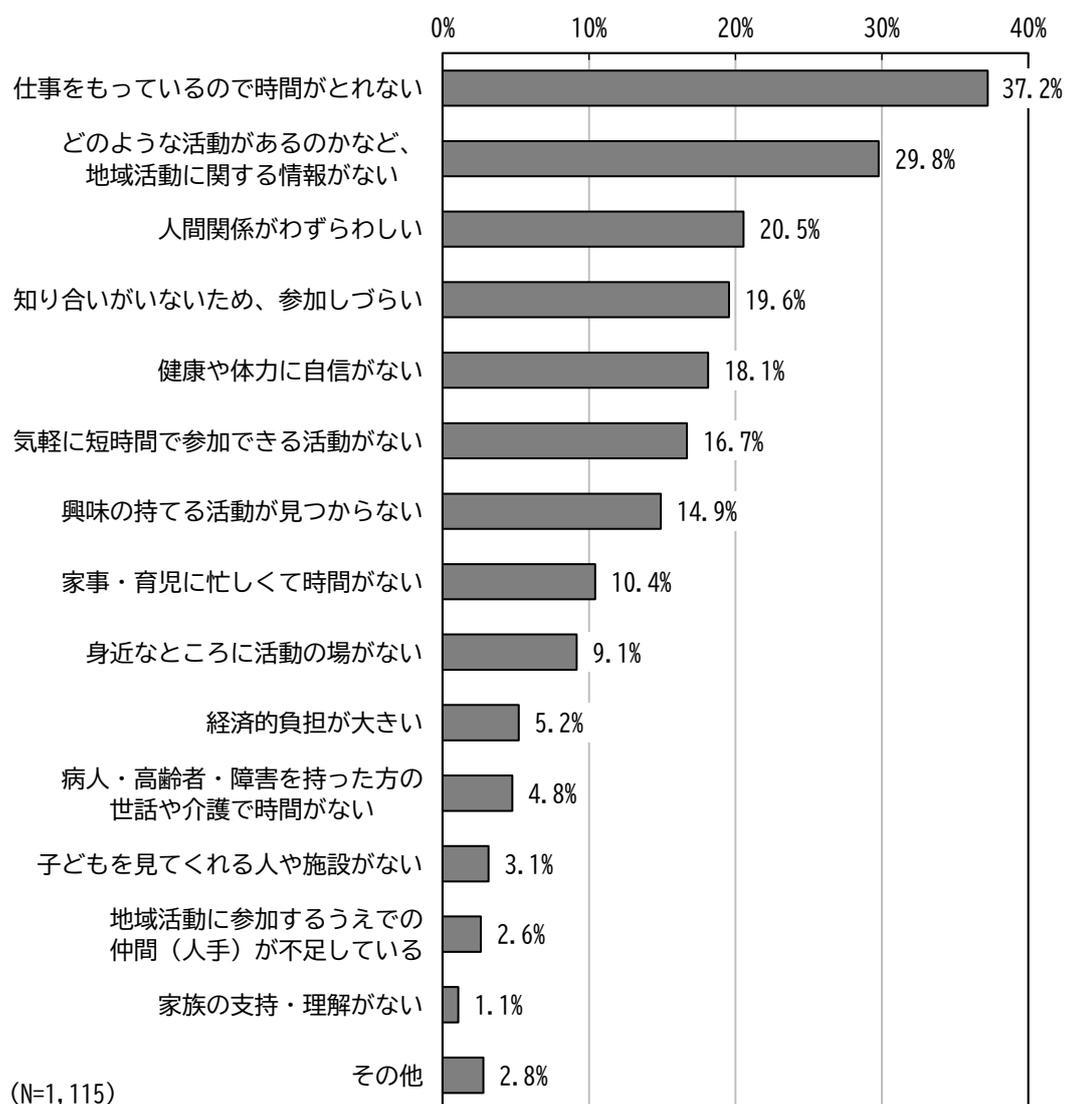
		合計	1. 企画・運営者として積極的に参加したい	2. 熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい	3. 企画・運営してくれる人がいれば参加したい	4. 魅力的であれば参加したい	5. 時間に余裕があれば参加したい	6. あまり参加したいと思わない	7. わからない	8. 無回答
全体		1,115 (100.0)	11 (1.0)	40 (3.6)	50 (4.5)	205 (18.4)	348 (31.2)	246 (22.1)	159 (14.3)	56 (5.0)
問7 定住意向	1. ずっと住み続けたい	368 (100.0)	5 (1.4)	13 (3.5)	22 (6.0)	54 (14.7)	104 (28.3)	73 (19.8)	67 (18.2)	30 (8.2)
	2. できれば住み続けたい	567 (100.0)	4 (0.7)	21 (3.7)	22 (3.9)	115 (20.3)	191 (33.7)	122 (21.5)	77 (13.6)	15 (2.6)
	3. できれば転出したい	128 (100.0)	1 (0.8)	5 (3.9)	6 (4.7)	27 (21.1)	39 (30.5)	36 (28.1)	8 (6.3)	6 (4.7)
	4. 転出したい	29 (100.0)	0 (-)	1 (3.4)	0 (-)	8 (27.6)	8 (27.6)	11 (37.9)	0 (-)	1 (3.4)
	5. 無回答	23 (100.0)	1 (4.3)	0 (-)	0 (-)	1 (4.3)	6 (26.1)	4 (17.4)	7 (30.4)	4 (17.4)

注:()内はカブ 数を100とした割合

(4) 地域活動に参加しづらいと感じる理由 (問 26)

地域活動に参加しづらいと感じる理由については、「仕事をもっているので時間がとれない」が37.2%で最も多く、次いで「どのような活動があるのかなど、地域活動に関する情報がない」が29.8%、「人間関係がわずらわしい」が20.5%となっています。

■ 地域活動に参加しづらいと感じる理由 (複数回答)



年齢別にみると、18～39歳は「家事・育児に忙しくて時間がない」、「仕事をもっているので時間がとれない」、40～64歳は「仕事をもっているので時間がとれない」、75～84歳、85歳以上は「健康や体力に自信がない」が全体に比べ多くなっています。

■地域活動に参加しづらいと感じる理由（年齢別）

	回答者数	合計	1. どのような活動があるのかなど、地域活動に関する情報がない	2. 興味の持てる活動が見つからない	3. 気軽に短時間で参加できる活動がない	4. 健康や体力に自信がない	5. 人間関係がわずらわしい	6. 身近なところに活動の場がない	7. 家事・育児に忙しくて時間がない	8. 地域活動に参加するうえで仲間（人手）が不足している	
全体	1,115 (100.0)	2,319 (208.0)	332 (29.8)	166 (14.9)	186 (16.7)	202 (18.1)	229 (20.5)	102 (9.1)	116 (10.4)	29 (2.6)	
問2 年齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	548 (245.7)	83 (37.2)	47 (21.1)	43 (19.3)	19 (8.5)	58 (26.0)	26 (11.7)	50 (22.4)	3 (1.3)
	2. 40～64歳	502 (100.0)	1,136 (226.3)	159 (31.7)	73 (14.5)	105 (20.9)	54 (10.8)	122 (24.3)	39 (7.8)	64 (12.7)	15 (3.0)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	335 (175.4)	59 (30.9)	24 (12.6)	25 (13.1)	46 (24.1)	31 (16.2)	19 (9.9)	1 (0.5)	6 (3.1)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	222 (160.9)	26 (18.8)	21 (15.2)	12 (8.7)	59 (42.8)	16 (11.6)	15 (10.9)	0 (-)	4 (2.9)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	60 (125.0)	3 (6.3)	1 (2.1)	1 (2.1)	20 (41.7)	1 (2.1)	2 (4.2)	0 (-)	1 (2.1)
	6. 無回答	13 (100.0)	18 (138.5)	2 (15.4)	0 (-)	0 (-)	4 (30.8)	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)	0 (-)

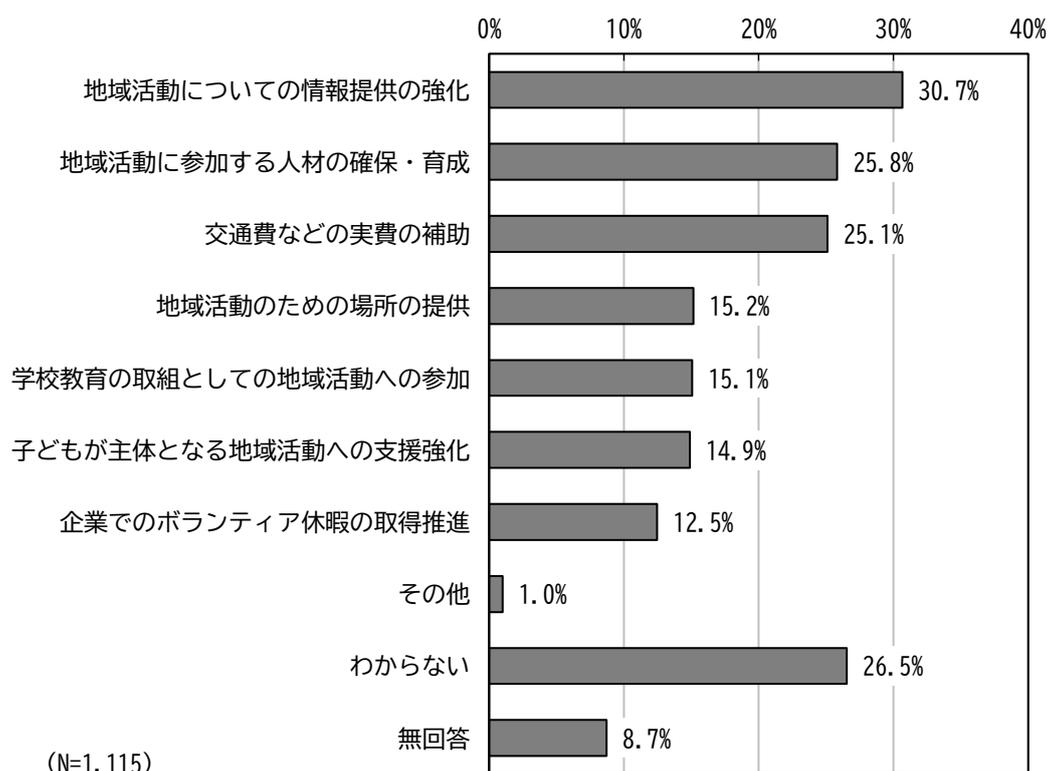
	9. 病人・高齢者・障害を持った方の世話や介護で時間がない	10. 経済的負担が大きい	11. 子どもを見てくれる人や施設がない	12. 家族の支持・理解がない	13. 仕事をもっているので時間がとれない	14. 知り合いがいないため、参加しづらい	15. その他	16. 特にない	17. 無回答	
全体	53 (4.8)	58 (5.2)	35 (3.1)	12 (1.1)	415 (37.2)	218 (19.6)	31 (2.8)	77 (6.9)	58 (5.2)	
問2 年齢	1. 18～39歳	2 (0.9)	17 (7.6)	16 (7.2)	2 (0.9)	106 (47.5)	54 (24.2)	4 (1.8)	14 (6.3)	4 (1.8)
	2. 40～64歳	32 (6.4)	30 (6.0)	18 (3.6)	8 (1.6)	249 (49.6)	115 (22.9)	13 (2.6)	31 (6.2)	9 (1.8)
	3. 65～74歳	7 (3.7)	6 (3.1)	1 (0.5)	2 (1.0)	48 (25.1)	28 (14.7)	3 (1.6)	13 (6.8)	16 (8.4)
	4. 75～84歳	9 (6.5)	4 (2.9)	0 (-)	0 (-)	9 (6.5)	16 (11.6)	7 (5.1)	10 (7.2)	14 (10.1)
	5. 85歳以上	3 (6.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (4.2)	3 (6.3)	4 (8.3)	7 (14.6)	12 (25.0)
	6. 無回答	0 (-)	1 (7.7)	0 (-)	0 (-)	1 (7.7)	2 (15.4)	0 (-)	2 (15.4)	3 (23.1)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(5) 地域活動を広げていくために必要な支援（問 27）

地域活動を広げていくために必要な支援については、「地域活動についての情報提供の強化」が30.7%で最も多く、次いで「わからない」が26.5%、「地域活動に参加する人材の確保・育成」が25.8%、「交通費などの実費の補助」が25.1%となっています。

■地域活動を広げていくために必要な支援（複数回答）

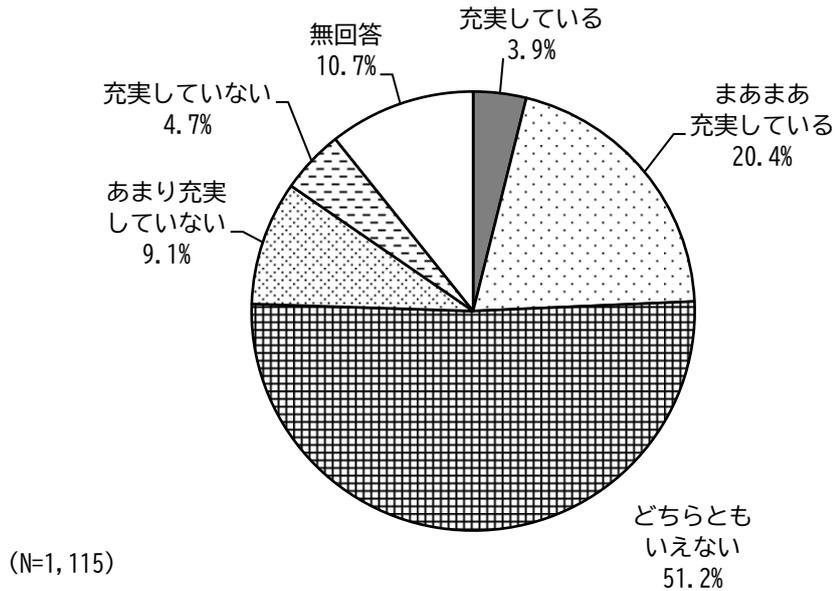


5. 今後の福祉施策について

(1) 川口市の福祉施策（サービス）の充実度（問 28）

川口市の福祉施策（サービス）の充実度については、「どちらともいえない」が 51.2%で最も多く、次いで「まあまあ充実している」が 20.4%、「あまり充実していない」が 9.1%となっています。

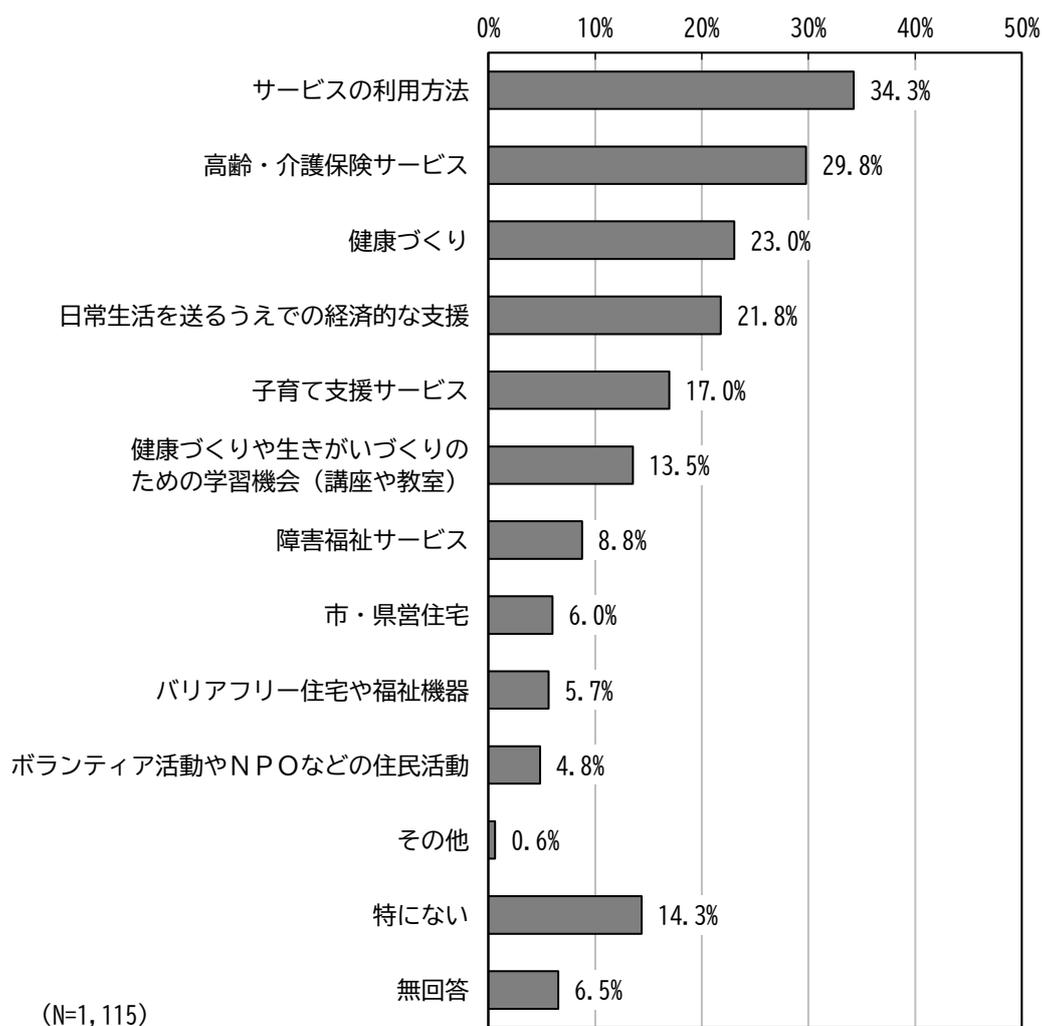
■川口市の福祉施策（サービス）の充実度



(2) 福祉や健康について知りたい情報（問 29）

福祉や健康について知りたい情報については、「サービスの利用方法」が 34.3%で最も多く、次いで「高齢・介護保険サービス」が 29.8%、「健康づくり」が 23.0%となっています。

■福祉や健康について知りたい情報（3つまで）



年齢別にみると、18～39歳は「子育て支援サービス」、75～84歳、85歳以上は「高齢・介護保険サービス」が全体に比べ多くなっています。

■福祉や健康について知りたい情報（年齢別）

		回答者数	合計	1. 健康づくり	2. 子育て支援サービス	3. 高齢・介護保険サービス	4. 障害福祉サービス	5. サービスの利用方法	6. ボランティア活動やNPOなどの住民活動
全体		1,115 (100.0)	2,076 (186.2)	257 (23.0)	189 (17.0)	332 (29.8)	98 (8.8)	382 (34.3)	54 (4.8)
問2 年齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	423 (189.7)	54 (24.2)	101 (45.3)	28 (12.6)	20 (9.0)	60 (26.9)	14 (6.3)
	2. 40～64歳	502 (100.0)	967 (192.6)	110 (21.9)	78 (15.5)	158 (31.5)	49 (9.8)	192 (38.2)	27 (5.4)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	347 (181.7)	47 (24.6)	7 (3.7)	66 (34.6)	17 (8.9)	66 (34.6)	6 (3.1)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	230 (166.7)	31 (22.5)	2 (1.4)	55 (39.9)	8 (5.8)	45 (32.6)	5 (3.6)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	87 (181.3)	13 (27.1)	1 (2.1)	23 (47.9)	3 (6.3)	15 (31.3)	1 (2.1)
	6. 無回答	13 (100.0)	22 (169.2)	2 (15.4)	0 (-)	2 (15.4)	1 (7.7)	4 (30.8)	1 (7.7)

		7. 健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）	8. バリアフリー住宅や福祉機器	9. 日常生活を送るうえでの経済的な支援	10. 市・県営住宅	11. その他	12. 特にない	13. 無回答
全体		151 (13.5)	63 (5.7)	243 (21.8)	67 (6.0)	7 (0.6)	160 (14.3)	73 (6.5)
問2 年齢	1. 18～39歳	19 (8.5)	11 (4.9)	69 (30.9)	8 (3.6)	1 (0.4)	31 (13.9)	7 (3.1)
	2. 40～64歳	66 (13.1)	32 (6.4)	116 (23.1)	38 (7.6)	5 (1.0)	82 (16.3)	14 (2.8)
	3. 65～74歳	36 (18.8)	12 (6.3)	35 (18.3)	10 (5.2)	0 (-)	22 (11.5)	23 (12.0)
	4. 75～84歳	24 (17.4)	5 (3.6)	15 (10.9)	6 (4.3)	0 (-)	16 (11.6)	18 (13.0)
	5. 85歳以上	4 (8.3)	2 (4.2)	6 (12.5)	2 (4.2)	1 (2.1)	7 (14.6)	9 (18.8)
	6. 無回答	2 (15.4)	1 (7.7)	2 (15.4)	3 (23.1)	0 (-)	2 (15.4)	2 (15.4)

注：()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、安行地域は「日常生活を送るうえでの経済的な支援」、戸塚地域は「子育て支援サービス」が全体に比べ高くなっています。

■福祉や健康について知りたい情報（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 健康づくり	2. 子育て支援サービス	3. 高齢・介護保険サービス	4. 障害福祉サービス	5. サービスの利用方法	6. ボランティア活動やNPOなどの住民活動	
全体	1,115 (100.0)	2,076 (186.2)	257 (23.0)	189 (17.0)	332 (29.8)	98 (8.8)	382 (34.3)	54 (4.8)	
問6 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	156 (167.7)	16 (17.2)	12 (12.9)	26 (28.0)	9 (9.7)	25 (26.9)	8 (8.6)
	2. 横曽根地域	124 (100.0)	233 (187.9)	27 (21.8)	26 (21.0)	39 (31.5)	7 (5.6)	45 (36.3)	5 (4.0)
	3. 青木地域	159 (100.0)	279 (175.5)	31 (19.5)	21 (13.2)	44 (27.7)	12 (7.5)	58 (36.5)	13 (8.2)
	4. 南平地域	119 (100.0)	230 (193.3)	30 (25.2)	22 (18.5)	34 (28.6)	14 (11.8)	36 (30.3)	3 (2.5)
	5. 新郷地域	73 (100.0)	128 (175.3)	15 (20.5)	10 (13.7)	27 (37.0)	6 (8.2)	21 (28.8)	1 (1.4)
	6. 神根地域	97 (100.0)	187 (192.8)	22 (22.7)	15 (15.5)	30 (30.9)	7 (7.2)	41 (42.3)	6 (6.2)
	7. 芝地域	142 (100.0)	287 (202.1)	41 (28.9)	19 (13.4)	49 (34.5)	17 (12.0)	57 (40.1)	8 (5.6)
	8. 安行地域	62 (100.0)	106 (171.0)	13 (21.0)	8 (12.9)	15 (24.2)	2 (3.2)	19 (30.6)	0 (-)
	9. 戸塚地域	113 (100.0)	223 (197.3)	31 (27.4)	33 (29.2)	30 (26.5)	10 (8.8)	38 (33.6)	5 (4.4)
	10. 鳩ヶ谷地域	105 (100.0)	190 (181.0)	26 (24.8)	21 (20.0)	29 (27.6)	10 (9.5)	33 (31.4)	3 (2.9)
	11. 無回答	28 (100.0)	57 (203.6)	5 (17.9)	2 (7.1)	9 (32.1)	4 (14.3)	9 (32.1)	2 (7.1)

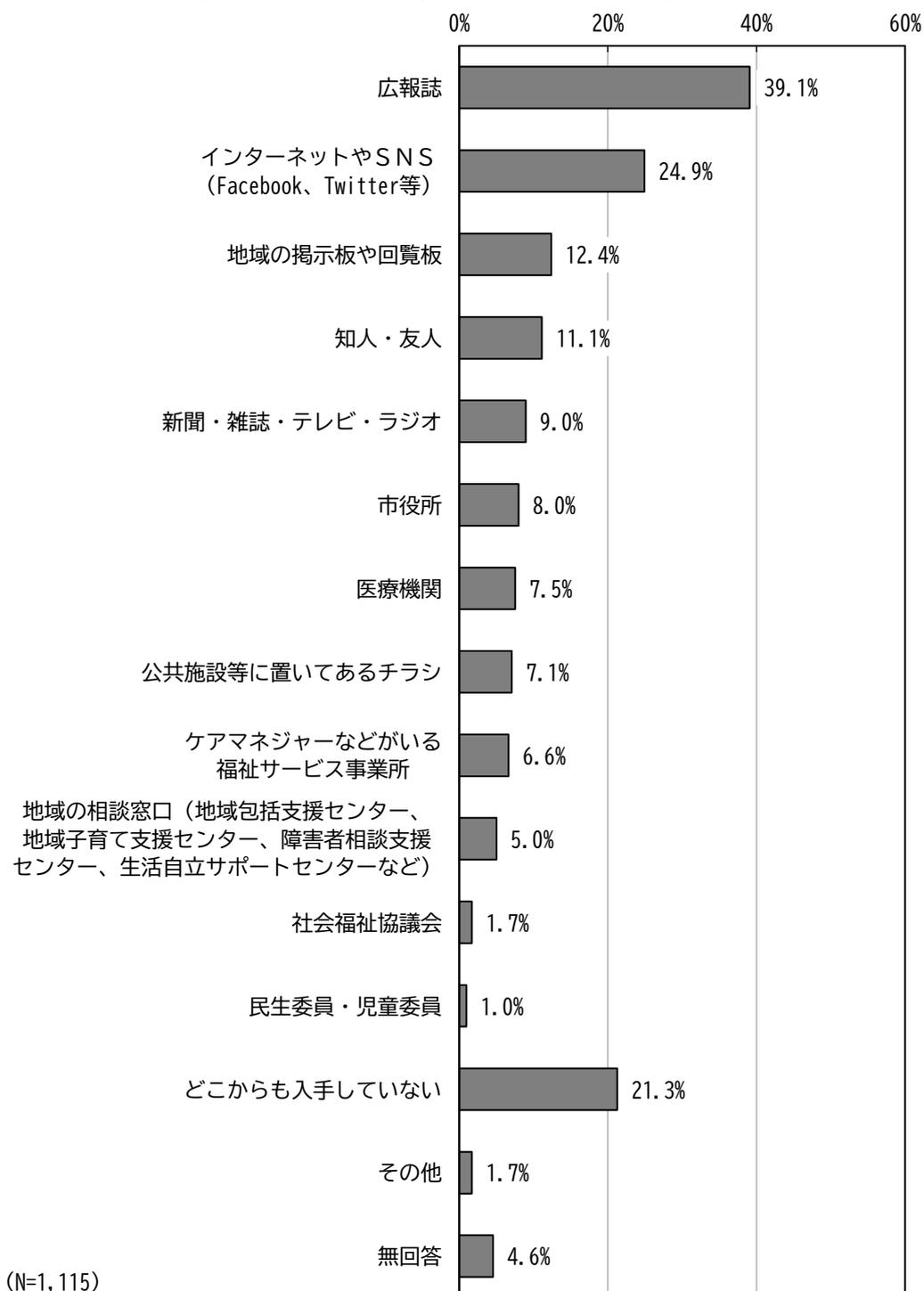
	7. 健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）	8. バリアフリー住宅や福祉機器	9. 日常生活を送るうえでの経済的な支援	10. 市・県営住宅	11. その他	12. 特にない	13. 無回答	
全体	151 (13.5)	63 (5.7)	243 (21.8)	67 (6.0)	7 (0.6)	160 (14.3)	73 (6.5)	
問6 居住地域	1. 中央地域	18 (19.4)	6 (6.5)	15 (16.1)	3 (3.2)	1 (1.1)	12 (12.9)	5 (5.4)
	2. 横曽根地域	19 (15.3)	8 (6.5)	20 (16.1)	10 (8.1)	1 (0.8)	25 (20.2)	1 (0.8)
	3. 青木地域	17 (10.7)	9 (5.7)	25 (15.7)	11 (6.9)	1 (0.6)	26 (16.4)	11 (6.9)
	4. 南平地域	19 (16.0)	6 (5.0)	32 (26.9)	11 (9.2)	1 (0.8)	18 (15.1)	4 (3.4)
	5. 新郷地域	10 (13.7)	7 (9.6)	12 (16.4)	2 (2.7)	0 (-)	12 (16.4)	5 (6.8)
	6. 神根地域	11 (11.3)	8 (8.2)	28 (28.9)	1 (1.0)	1 (1.0)	12 (12.4)	5 (5.2)
	7. 芝地域	15 (10.6)	8 (5.6)	36 (25.4)	9 (6.3)	0 (-)	16 (11.3)	12 (8.5)
	8. 安行地域	7 (11.3)	6 (9.7)	20 (32.3)	5 (8.1)	0 (-)	6 (9.7)	5 (8.1)
	9. 戸塚地域	13 (11.5)	1 (0.9)	32 (28.3)	7 (6.2)	2 (1.8)	14 (12.4)	7 (6.2)
	10. 鳩ヶ谷地域	17 (16.2)	2 (1.9)	17 (16.2)	4 (3.8)	0 (-)	18 (17.1)	10 (9.5)
	11. 無回答	5 (17.9)	2 (7.1)	6 (21.4)	4 (14.3)	0 (-)	1 (3.6)	8 (28.6)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(3) 福祉サービスに関する情報の入手先 (問 30)

福祉サービスに関する情報の入手先については、「広報誌」が 39.1%で最も多く、次いで「インターネットやSNS (Facebook、Twitter 等)」が 24.9%、「どこからも入手していない」が 21.3%となっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先 (3つまで)



年齢別にみると、18～39歳は「インターネットやSNS（Facebook、Twitter等）」、85歳以上は「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が全体に比べ多くなっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先（年齢別）

	回答者数	合計	1. 広報誌	2. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	3. 公共施設等に置いてあるチラシ	4. インターネットやSNS（Facebook、Twitter等）	5. 知人・友人	6. 民生委員・児童委員	7. 市役所	
全体	1,115 (100.0)	1,795 (161.0)	436 (39.1)	100 (9.0)	79 (7.1)	278 (24.9)	124 (11.1)	11 (1.0)	89 (8.0)	
問2 年齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	48 (21.5)	18 (8.1)	12 (5.4)	97 (43.5)	21 (9.4)	2 (0.9)	20 (9.0)	
	2. 40～64歳	502 (100.0)	818 (162.9)	217 (43.2)	31 (6.2)	41 (8.2)	151 (30.1)	52 (10.4)	2 (0.4)	32 (6.4)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	309 (161.8)	89 (46.6)	17 (8.9)	13 (6.8)	21 (11.0)	25 (13.1)	1 (0.5)	22 (11.5)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	228 (165.2)	60 (43.5)	18 (13.0)	8 (5.8)	6 (4.3)	21 (15.2)	5 (3.6)	14 (10.1)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	75 (156.3)	16 (33.3)	13 (27.1)	4 (8.3)	0 (-)	3 (6.3)	1 (2.1)	1 (2.1)
	6. 無回答	13 (100.0)	23 (176.9)	6 (46.2)	3 (23.1)	1 (7.7)	3 (23.1)	2 (15.4)	0 (-)	0 (-)

	8. 社会福祉協議会	9. 医療機関	10. ケアマネジャーなどがある福祉サービス事業所	11. 地域の相談窓口（地域包括支援センター、地域子育て支援センター、障害者相談支援センター、生活自立サポートセンターなど）	12. 地域の掲示板や回覧板	13. どこからも入手していない	14. その他	15. 無回答	
全体	19 (1.7)	84 (7.5)	74 (6.6)	56 (5.0)	138 (12.4)	237 (21.3)	19 (1.7)	51 (4.6)	
問2 年齢	1. 18～39歳	1 (0.4)	14 (6.3)	8 (3.6)	10 (4.5)	20 (9.0)	5 (2.2)	3 (1.3)	
	2. 40～64歳	6 (1.2)	34 (6.8)	36 (7.2)	22 (4.4)	60 (12.0)	116 (23.1)	7 (1.4)	11 (2.2)
	3. 65～74歳	8 (4.2)	19 (9.9)	14 (7.3)	8 (4.2)	20 (10.5)	31 (16.2)	3 (1.6)	18 (9.4)
	4. 75～84歳	2 (1.4)	13 (9.4)	10 (7.2)	12 (8.7)	28 (20.3)	19 (13.8)	2 (1.4)	10 (7.2)
	5. 85歳以上	1 (2.1)	4 (8.3)	5 (10.4)	3 (6.3)	7 (14.6)	7 (14.6)	2 (4.2)	8 (16.7)
	6. 無回答	1 (7.7)	0 (-)	1 (7.7)	1 (7.7)	3 (23.1)	1 (7.7)	0 (-)	1 (7.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、安行地域は「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が全体に比べ多くなっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先（居住地域別）

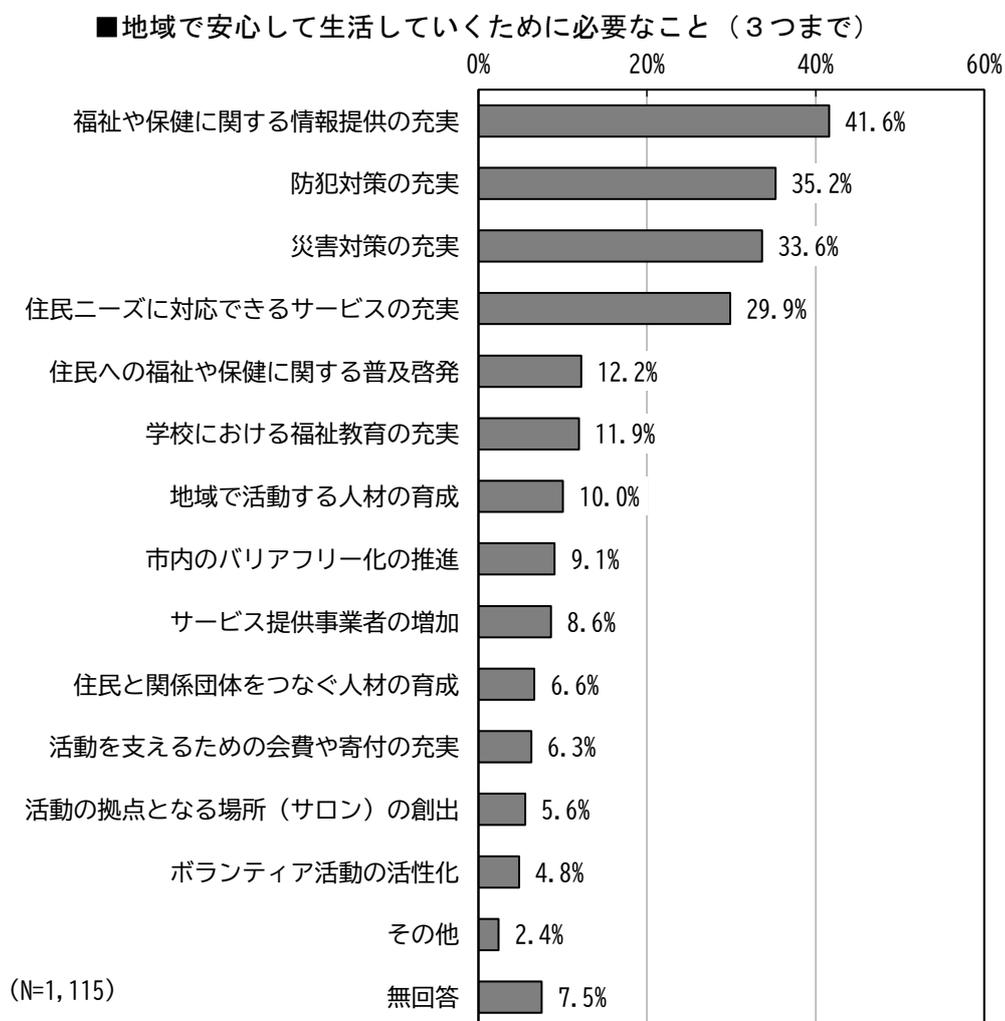
	回答者数	合計	1. 広報誌	2. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	3. 公共施設等に置いてあるチラシ	4. インターネットやSNS (Facebook、Twitter等)	5. 知人・友人	6. 民生委員・児童委員	7. 市役所	
全体	1,115 (100.0)	1,795 (161.0)	436 (39.1)	100 (9.0)	79 (7.1)	278 (24.9)	124 (11.1)	11 (1.0)	89 (8.0)	
問6 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	147 (158.1)	37 (39.8)	4 (4.3)	6 (6.5)	26 (28.0)	9 (9.7)	0 (-)	11 (11.8)
	2. 横曽根地域	124 (100.0)	195 (157.3)	60 (48.4)	9 (7.3)	11 (8.9)	33 (26.6)	16 (12.9)	0 (-)	6 (4.8)
	3. 青木地域	159 (100.0)	244 (153.5)	55 (34.6)	12 (7.5)	7 (4.4)	37 (23.3)	17 (10.7)	0 (-)	16 (10.1)
	4. 南平地域	119 (100.0)	176 (147.9)	44 (37.0)	12 (10.1)	7 (5.9)	31 (26.1)	11 (9.2)	1 (0.8)	9 (7.6)
	5. 新郷地域	73 (100.0)	126 (172.6)	27 (37.0)	10 (13.7)	4 (5.5)	15 (20.5)	8 (11.0)	1 (1.4)	8 (11.0)
	6. 神根地域	97 (100.0)	170 (175.3)	45 (46.4)	11 (11.3)	8 (8.2)	26 (26.8)	7 (7.2)	2 (2.1)	10 (10.3)
	7. 芝地域	142 (100.0)	237 (166.9)	59 (41.5)	14 (9.9)	8 (5.6)	27 (19.0)	22 (15.5)	2 (1.4)	9 (6.3)
	8. 安行地域	62 (100.0)	108 (174.2)	24 (38.7)	13 (21.0)	5 (8.1)	16 (25.8)	8 (12.9)	0 (-)	3 (4.8)
	9. 戸塚地域	113 (100.0)	175 (154.9)	35 (31.0)	7 (6.2)	11 (9.7)	35 (31.0)	10 (8.8)	1 (0.9)	9 (8.0)
	10. 鳩ヶ谷地域	105 (100.0)	164 (156.2)	37 (35.2)	8 (7.6)	9 (8.6)	25 (23.8)	11 (10.5)	1 (1.0)	5 (4.8)
	11. 無回答	28 (100.0)	53 (189.3)	13 (46.4)	0 (-)	3 (10.7)	7 (25.0)	5 (17.9)	3 (10.7)	3 (10.7)

	8. 社会福祉協議会	9. 医療機関	10. ケアマネジャーなどがいる福祉サービス事業所	11. 地域の相談窓口 (地域包括支援センター、地域子育て支援センター、障害者相談支援センター、生活自立サポートセンターなど)	12. 地域の掲示板や回覧板	13. どこからも入手していない	14. その他	15. 無回答	
全体	19 (1.7)	84 (7.5)	74 (6.6)	56 (5.0)	138 (12.4)	237 (21.3)	19 (1.7)	51 (4.6)	
問6 居住地域	1. 中央地域	1 (1.1)	7 (7.5)	9 (9.7)	4 (4.3)	9 (9.7)	21 (22.6)	0 (-)	3 (3.2)
	2. 横曽根地域	1 (0.8)	6 (4.8)	5 (4.0)	4 (3.2)	16 (12.9)	24 (19.4)	1 (0.8)	3 (2.4)
	3. 青木地域	4 (2.5)	9 (5.7)	6 (3.8)	6 (3.8)	23 (14.5)	35 (22.0)	5 (3.1)	12 (7.5)
	4. 南平地域	3 (2.5)	2 (1.7)	8 (6.7)	8 (6.7)	9 (7.6)	26 (21.8)	2 (1.7)	3 (2.5)
	5. 新郷地域	3 (4.1)	8 (11.0)	7 (9.6)	7 (9.6)	7 (9.6)	16 (21.9)	3 (4.1)	2 (2.7)
	6. 神根地域	2 (2.1)	11 (11.3)	8 (8.2)	4 (4.1)	17 (17.5)	15 (15.5)	1 (1.0)	3 (3.1)
	7. 芝地域	1 (0.7)	15 (10.6)	14 (9.9)	11 (7.7)	19 (13.4)	29 (20.4)	1 (0.7)	6 (4.2)
	8. 安行地域	2 (3.2)	8 (12.9)	5 (8.1)	5 (8.1)	7 (11.3)	8 (12.9)	1 (1.6)	3 (4.8)
	9. 戸塚地域	0 (-)	9 (8.0)	3 (2.7)	1 (0.9)	14 (12.4)	31 (27.4)	4 (3.5)	5 (4.4)
	10. 鳩ヶ谷地域	2 (1.9)	7 (6.7)	7 (6.7)	4 (3.8)	12 (11.4)	29 (27.6)	1 (1.0)	6 (5.7)
	11. 無回答	0 (-)	2 (7.1)	2 (7.1)	2 (7.1)	5 (17.9)	3 (10.7)	0 (-)	5 (17.9)

注：()内は割合(%)を示す

(4) 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために必要なこと (問 31)

住みなれた地域で安心して生活していくために必要なことについては、「福祉や保健に関する情報提供の充実」が 41.6%で最も多く、次いで「防犯対策の充実」が 35.2%、「災害対策の充実」が 33.6%となっています。



年齢別にみると、18～39歳は「学校における福祉教育の充実」が全体に比べ多くなっています。

■地域で安心して生活していくために必要なこと（年齢別）

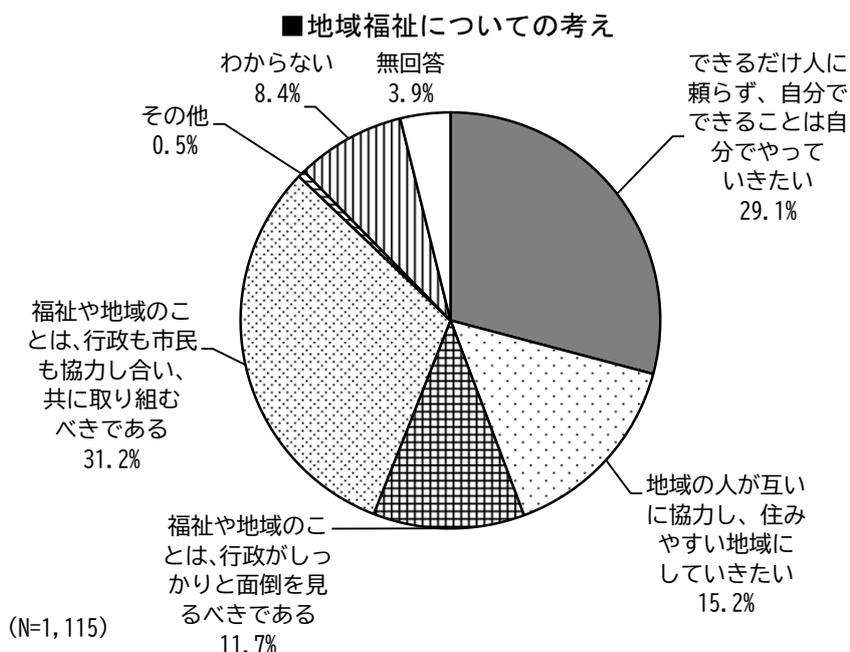
		回答者数	合計	1. 福祉や保健に関する情報提供の充実	2. 住民ニーズに対応できるサービスの充実	3. サービス提供事業者の増加	4. 地域で活動する人材の育成	5. 住民と関係団体をつなぐ人材の育成	6. ボランティア活動の活性化	7. 活動の拠点となる場所（サロン）の創出
全体		1,115 (100.0)	2,514 (225.5)	464 (41.6)	333 (29.9)	96 (8.6)	112 (10.0)	74 (6.6)	54 (4.8)	62 (5.6)
問2 年齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	510 (228.7)	87 (39.0)	66 (29.6)	27 (12.1)	20 (9.0)	11 (4.9)	9 (4.0)	11 (4.9)
	2. 40～64歳	502 (100.0)	1,170 (233.1)	199 (39.6)	181 (36.1)	46 (9.2)	50 (10.0)	32 (6.4)	24 (4.8)	23 (4.6)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	434 (227.2)	94 (49.2)	55 (28.8)	14 (7.3)	22 (11.5)	18 (9.4)	7 (3.7)	10 (5.2)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	282 (204.3)	58 (42.0)	24 (17.4)	7 (5.1)	13 (9.4)	7 (5.1)	12 (8.7)	15 (10.9)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	93 (193.8)	21 (43.8)	6 (12.5)	1 (2.1)	5 (10.4)	5 (10.4)	1 (2.1)	2 (4.2)
	6. 無回答	13 (100.0)	25 (192.3)	5 (38.5)	1 (7.7)	1 (7.7)	2 (15.4)	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)

		8. 活動を支えるための会費や寄付の充実	9. 学校における福祉教育の充実	10. 住民への福祉や保健に関する普及啓発	11. 市内のバリアフリー化の推進	12. 災害対策の充実	13. 防犯対策の充実	14. その他	15. 無回答
全体		70 (6.3)	133 (11.9)	136 (12.2)	101 (9.1)	375 (33.6)	393 (35.2)	27 (2.4)	84 (7.5)
問2 年齢	1. 18～39歳	20 (9.0)	50 (22.4)	19 (8.5)	27 (12.1)	67 (30.0)	77 (34.5)	6 (2.7)	13 (5.8)
	2. 40～64歳	31 (6.2)	59 (11.8)	63 (12.5)	44 (8.8)	183 (36.5)	201 (40.0)	13 (2.6)	21 (4.2)
	3. 65～74歳	8 (4.2)	13 (6.8)	35 (18.3)	11 (5.8)	67 (35.1)	57 (29.8)	3 (1.6)	20 (10.5)
	4. 75～84歳	10 (7.2)	8 (5.8)	15 (10.9)	11 (8.0)	40 (29.0)	40 (29.0)	2 (1.4)	20 (14.5)
	5. 85歳以上	1 (2.1)	3 (6.3)	4 (8.3)	7 (14.6)	13 (27.1)	13 (27.1)	3 (6.3)	8 (16.7)
	6. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (7.7)	5 (38.5)	5 (38.5)	0 (-)	2 (15.4)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(5) 地域福祉についての考え (問 32)

地域福祉についての考えは、「福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである」が31.2%で最も多く、次いで「できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい」が29.1%、「地域の人が互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい」が15.2%となっています。



年齢別にみると、75～84歳は「できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい」が全体に比べ多くなっています。

■ 地域における福祉についての考え (年齢別)

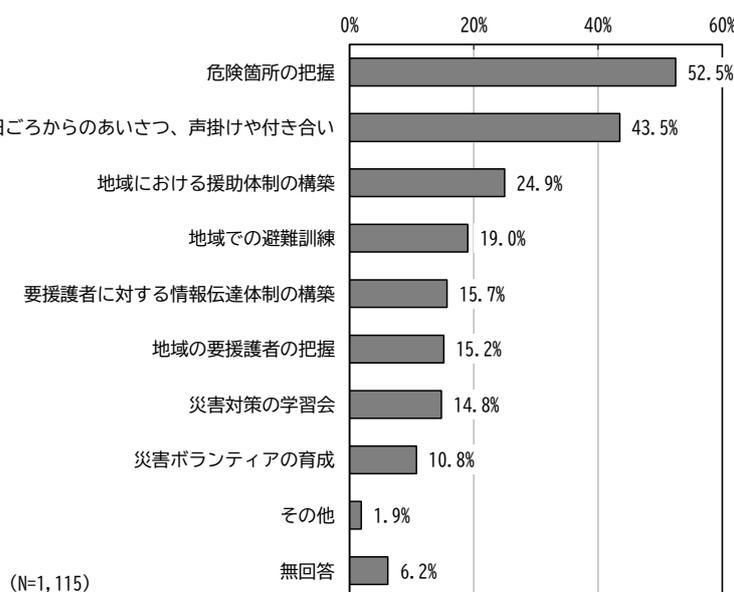
	合計	1. できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい	2. 地域の人が互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい	3. 福祉や地域のことは、行政がしっかりと面倒を見るべきである	4. 福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである	5. その他	6. わからない	7. 無回答
全体	1,115 (100.0)	325 (29.1)	169 (15.2)	130 (11.7)	348 (31.2)	6 (0.5)	94 (8.4)	43 (3.9)
問2 年齢	1. 18～39歳	223 (100.0)	52 (23.3)	47 (21.1)	28 (12.6)	66 (29.6)	1 (0.4)	23 (10.3)
	2. 40～64歳	502 (100.0)	128 (25.5)	68 (13.5)	68 (13.5)	176 (35.1)	5 (1.0)	53 (10.6)
	3. 65～74歳	191 (100.0)	58 (30.4)	28 (14.7)	20 (10.5)	65 (34.0)	0 (-)	4 (2.1)
	4. 75～84歳	138 (100.0)	64 (46.4)	18 (13.0)	7 (5.1)	26 (18.8)	0 (-)	12 (8.7)
	5. 85歳以上	48 (100.0)	17 (35.4)	5 (10.4)	7 (14.6)	13 (27.1)	0 (-)	1 (2.1)
	6. 無回答	13 (100.0)	6 (46.2)	3 (23.1)	0 (-)	2 (15.4)	0 (-)	1 (7.7)

注：()内はカギ括弧を100とした割合

(6) 居住地域で災害時の備えとして必要なこと (問 33)

居住地域で災害時の備えとして必要なことについては、「危険箇所の把握」が 52.5%で最も多く、次いで「日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い」が 43.5%、「地域における援助体制の構築」が 24.9%となっています。

■災害時の備えとして必要なこと (3つまで)



居住地域別にみると、安行地域は「日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い」が全体に比べ多くなっています。

■災害時の備えとして必要なこと (居住地域別)

	回答者数	合計	1. 災害対策の学習会	2. 日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い	3. 地域での避難訓練	4. 危険箇所の把握	5. 地域における援助体制の構築	6. 地域の要援護者の把握	7. 要援護者に対する情報伝達体制の構築	8. 災害ボランティアの育成	9. その他	10. 無回答	
全体	1,115 (100.0)	2,279 (204.4)	165 (14.8)	485 (43.5)	212 (19.0)	585 (52.5)	278 (24.9)	169 (15.2)	175 (15.7)	120 (10.8)	21 (1.9)	69 (6.2)	
問6 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	187 (201.1)	14 (15.1)	40 (43.0)	24 (25.8)	47 (50.5)	24 (25.8)	8 (8.6)	13 (14.0)	7 (7.5)	2 (2.2)	8 (8.6)
	2. 横曽根地域	124 (100.0)	258 (208.1)	23 (18.5)	48 (38.7)	30 (24.2)	70 (56.5)	31 (25.0)	15 (12.1)	18 (14.5)	16 (12.9)	3 (2.4)	4 (3.2)
	3. 青木地域	159 (100.0)	331 (208.2)	22 (13.8)	71 (44.7)	30 (18.9)	72 (45.3)	50 (31.4)	29 (18.2)	23 (14.5)	14 (8.8)	5 (3.1)	15 (9.4)
	4. 南平地域	119 (100.0)	250 (210.1)	19 (16.0)	47 (39.5)	20 (16.8)	61 (51.3)	39 (32.8)	17 (14.3)	22 (18.5)	19 (16.0)	-	6 (5.0)
	5. 新郷地域	73 (100.0)	148 (202.7)	9 (12.3)	38 (52.1)	9 (12.3)	43 (58.9)	15 (20.5)	12 (16.4)	4 (5.5)	11 (15.1)	1 (1.4)	6 (8.2)
	6. 神根地域	97 (100.0)	199 (205.2)	21 (21.6)	41 (42.3)	14 (14.4)	53 (54.6)	17 (17.5)	16 (16.5)	17 (17.5)	14 (14.4)	3 (3.1)	3 (3.1)
	7. 芝地域	142 (100.0)	289 (203.5)	17 (12.0)	61 (43.0)	25 (17.6)	70 (49.3)	34 (23.9)	22 (15.5)	33 (23.2)	16 (11.3)	4 (2.8)	7 (4.9)
	8. 安行地域	62 (100.0)	124 (200.0)	4 (6.5)	38 (61.3)	13 (21.0)	29 (46.8)	17 (27.4)	9 (14.5)	11 (17.7)	0 (-)	0 (-)	3 (4.8)
	9. 戸塚地域	113 (100.0)	219 (193.8)	17 (15.0)	44 (38.9)	26 (23.0)	67 (59.3)	22 (19.5)	18 (15.9)	11 (9.7)	10 (8.8)	1 (0.9)	3 (2.7)
	10. 鳩ヶ谷地域	105 (100.0)	213 (202.9)	16 (15.2)	44 (41.9)	15 (14.3)	62 (59.0)	25 (23.8)	17 (16.2)	16 (15.2)	8 (7.6)	-	10 (9.5)
	11. 無回答	28 (100.0)	61 (217.9)	3 (10.7)	13 (46.4)	6 (21.4)	11 (39.3)	4 (14.3)	6 (21.4)	7 (25.0)	5 (17.9)	2 (7.1)	4 (14.3)

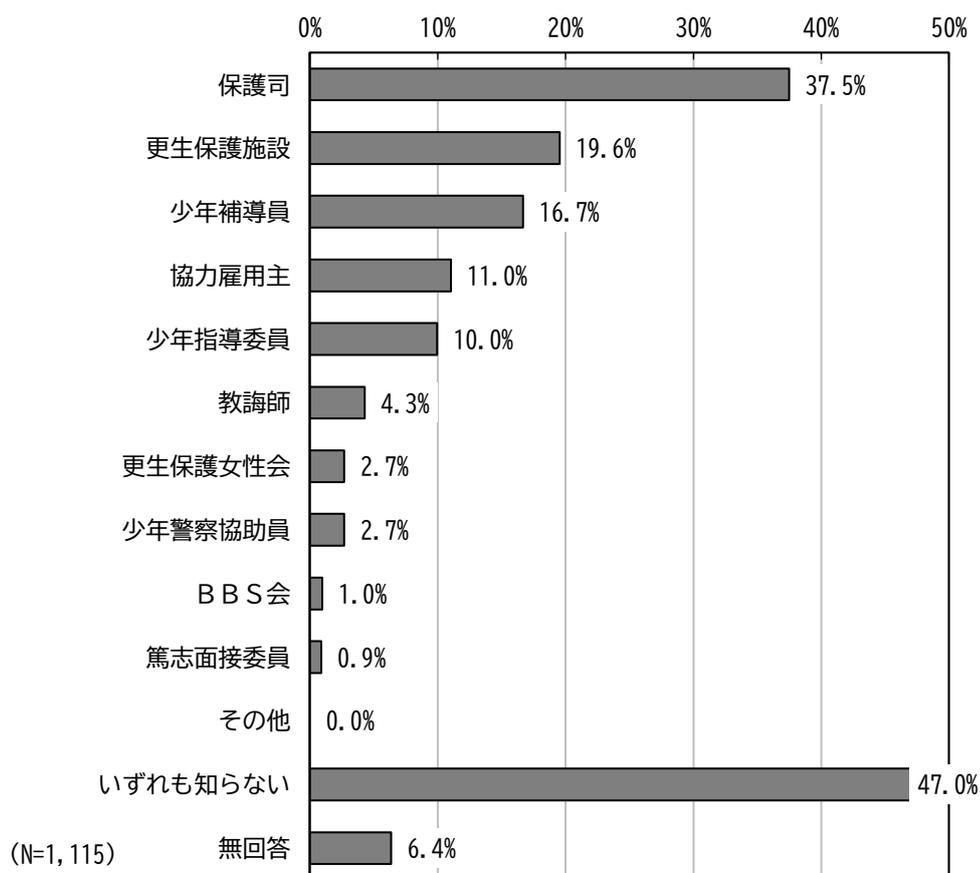
注: ()内はサンプル数を100とした割合

6. 再犯防止について

(1) 再犯防止における民間協力者の認知度（問 34）

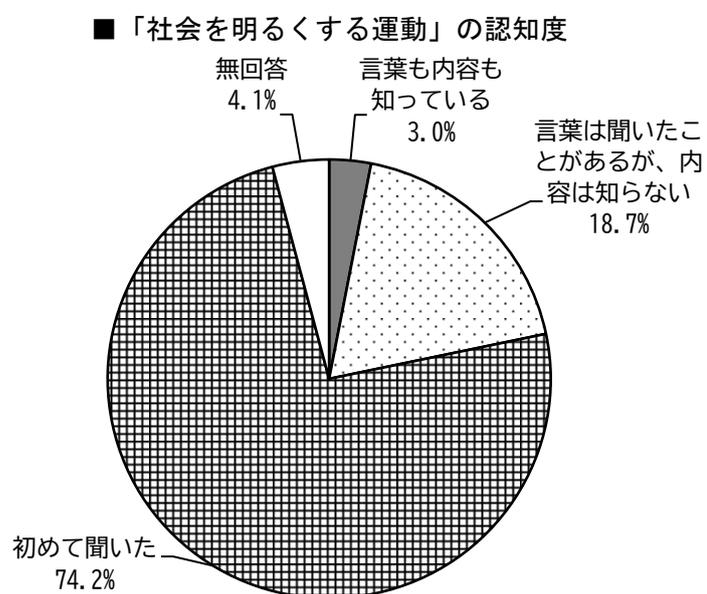
再犯防止における民間協力者の認知度については、「いずれも知らない」が 47.0%で最も多くなっています。認知しているものについては、「保護司」が 37.5%で最も多く、次いで「更生保護施設」が 19.6%、「少年補導員」が 16.7%となっています。

■再犯防止における民間協力者の認知度（複数回答）



(2) 「社会を明るくする運動」の認知度 (問 35)

「社会を明るくする運動」の認知度については、「初めて聞いた」が74.2%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が18.7%となっています。

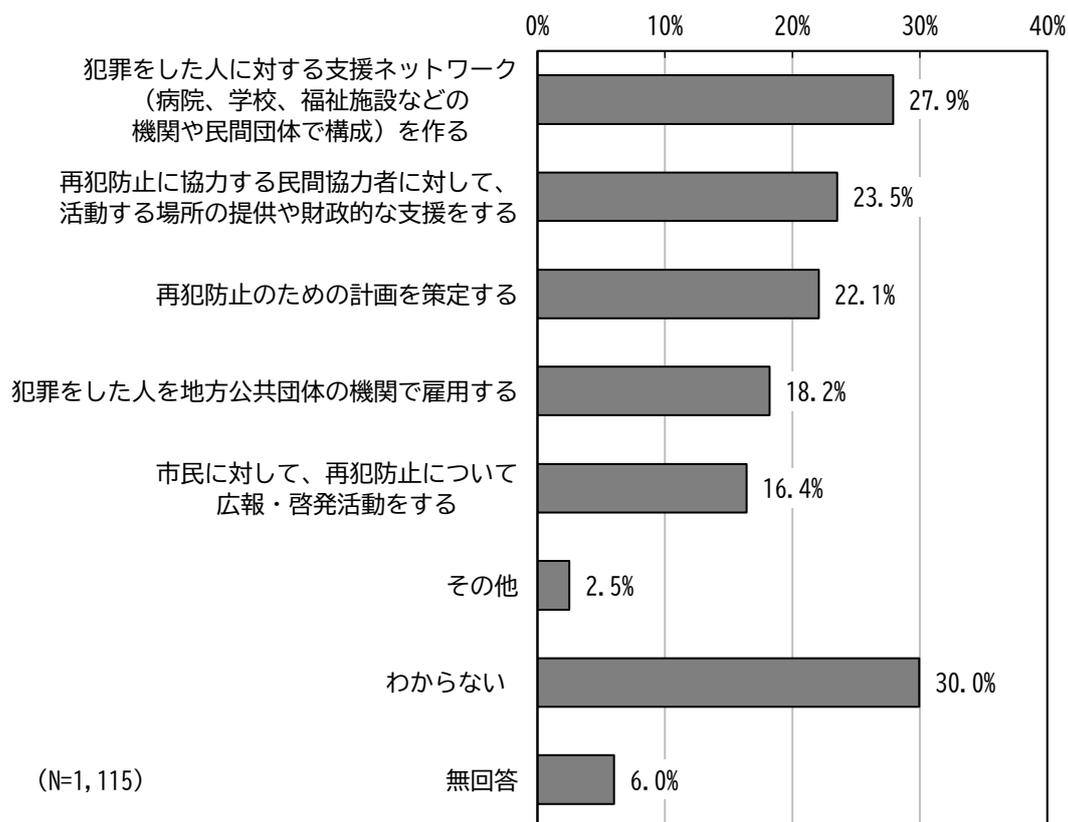


(N=1,115)

(3) 再犯防止のために行政が取り組むべきこと（問 36）

再犯防止のために行政が取り組むべきことについては、「犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る」が 27.9%で最も多く、次いで「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」が 23.5%、「再犯防止のための計画を策定する」が 22.1%となっています。

■再犯防止のために行政が取り組むべきこと（複数回答）



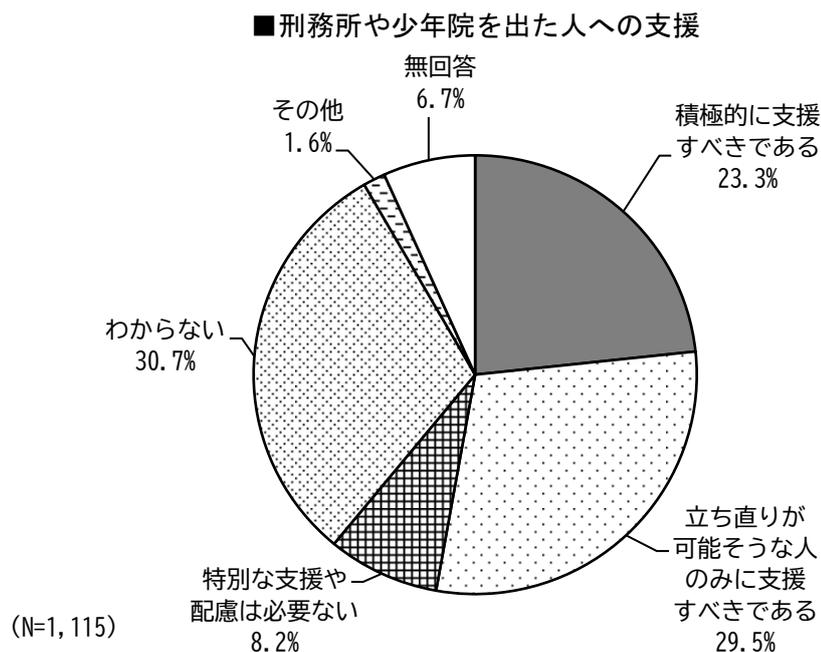
「社会を明るくする運動」の言葉も内容も知っている」と答えた方は「再犯防止のための計画を策定する」、「市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする」、「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」、「犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る」が全体に比べ多くなっています。

	回答者数	合計	1. 再犯防止のための計画を策定する	2. 犯罪をした人を地方公共団体の機関で雇用する	3. 市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする	4. 再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする	5. 犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る	6. その他	7. わからない	8. 無回答	
全体	1,115 (100.0)	1,634 (146.5)	246 (22.1)	203 (18.2)	183 (16.4)	262 (23.5)	311 (27.9)	28 (2.5)	334 (30.0)	67 (6.0)	
問35 社会を 明るく する運 動	1. 言葉も内容も知っている	34 (100.0)	64 (188.2)	17 (50.0)	7 (20.6)	9 (26.5)	14 (41.2)	13 (38.2)	1 (2.9)	1 (2.9)	2 (5.9)
	2. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない	208 (100.0)	308 (148.1)	47 (22.6)	43 (20.7)	41 (19.7)	62 (29.8)	49 (23.6)	2 (1.0)	55 (26.4)	9 (4.3)
	3. 初めて聞いた	827 (100.0)	1,211 (146.4)	179 (21.6)	151 (18.3)	131 (15.8)	183 (22.1)	248 (30.0)	25 (3.0)	276 (33.4)	18 (2.2)
	4. 無回答	46 (100.0)	51 (110.9)	3 (6.5)	2 (4.3)	2 (4.3)	3 (6.5)	1 (2.2)	0 (-)	2 (4.3)	38 (82.6)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(4) 刑務所や少年院を出た人への支援 (問37)

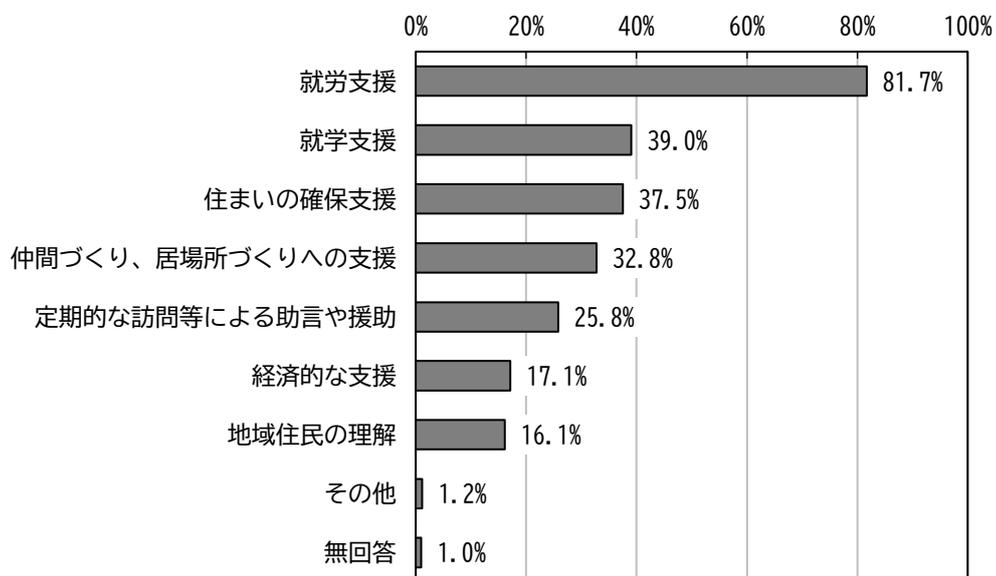
刑務所や少年院を出た人への支援については、「立ち直りが可能そうな人のみに支援すべきである」が29.5%で最も多く、次いで「積極的に支援すべきである」が23.3%、「特別な支援や配慮は必要ない」が8.2%となっています。



(5) 刑務所や少年院を出た人に支援すべきこと (問 37-2)

刑務所や少年院を出た人に支援すべきことについては、「就労支援」が 81.7%で最も多く、次いで「就学支援」が 39.0%、「住まいの確保支援」が 37.5%となっています。

■ 刑務所や少年院を出た人に支援すべきこと (3つまで)



(N=589)

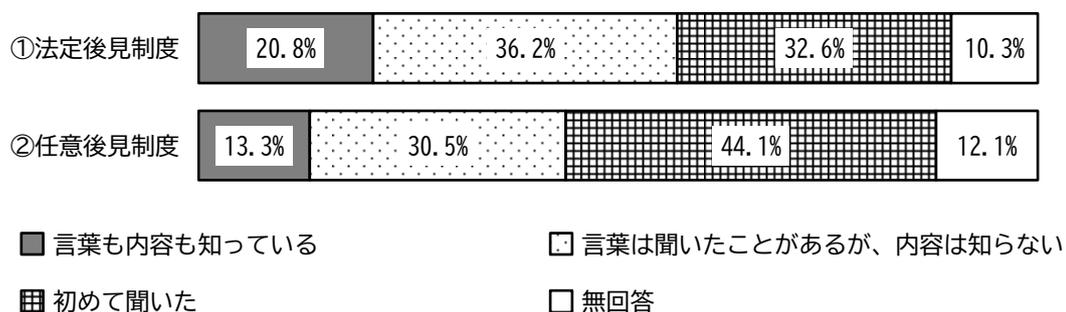
7. 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知度 (問 38)

成年後見制度の認知度については、『法定後見制度』は「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が36.2%で最も多く、次いで「初めて聞いた」が32.6%となっています。

『任意後見制度』は、「初めて聞いた」が44.1%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が30.5%となっています。

■ 成年後見制度の認知度

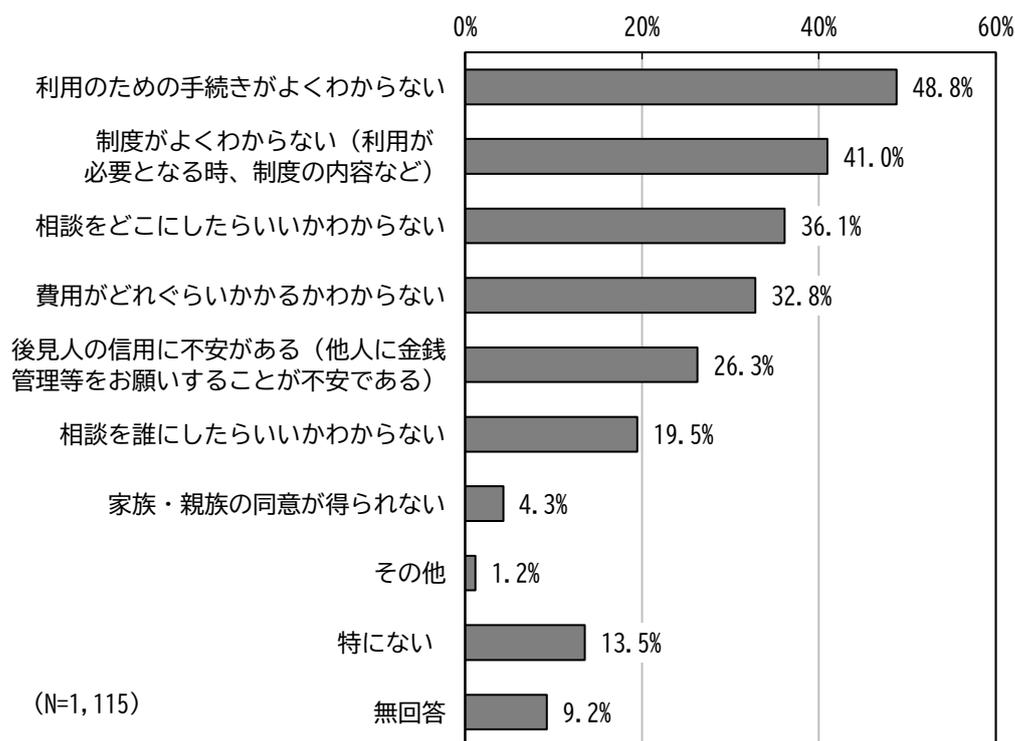


(N=1,115)

(2) 成年後見制度が必要になった際に不安なこと (問 39)

成年後見制度が必要になった際に不安なことについては、「利用のための手続きがよくわからない」が48.8%で最も多く、次いで「制度がよくわからない(利用が必要となる時、制度の内容など)」が41.0%、「相談をどこにしたらいいかわからない」が36.1%、「費用がどれくらいかかるかわからない」が32.8%となっています。

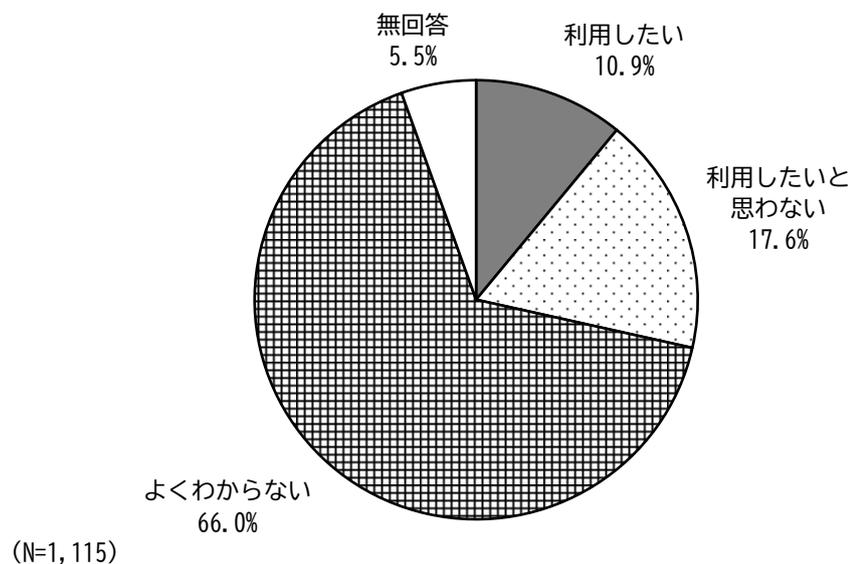
■ 成年後見制度が必要になった際に不安なこと (複数回答)



(3) 市民後見人の利用意向 (問 40)

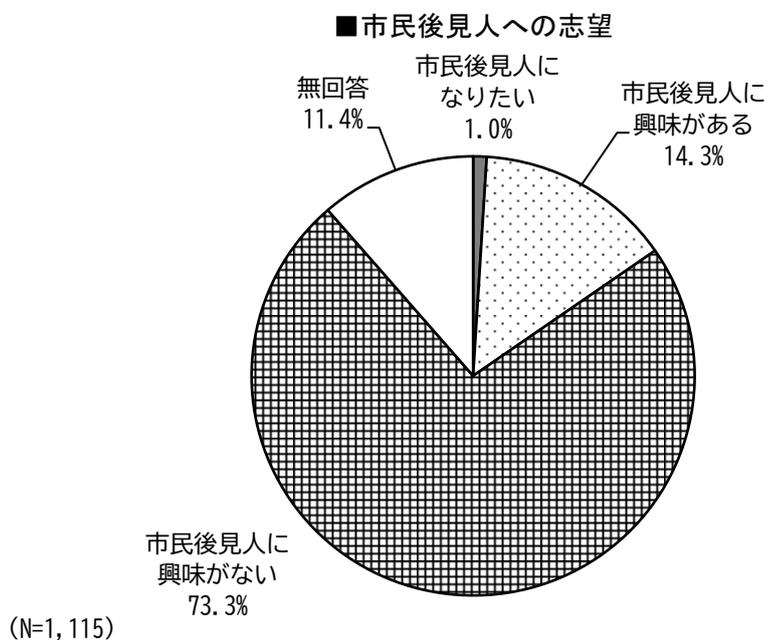
市民後見人の利用意向については、「よくわからない」が 66.0%で最も多く、次いで「利用したいと思わない」が 17.6%、「利用したい」が 10.9%となっています。

■ 市民後見人の利用の意向



(4) 市民後見人への志望 (問 41)

市民後見人への志望については、「市民後見人に興味がない」が 73.3%で最も多く、次いで「市民後見人に興味がある」が 14.3%となっています。



市民後見人を利用したいは「市民後見人に興味がある」、市民後見人を利用したいと思わないは「市民後見人に興味がない」が全体に比べ多くなっています。

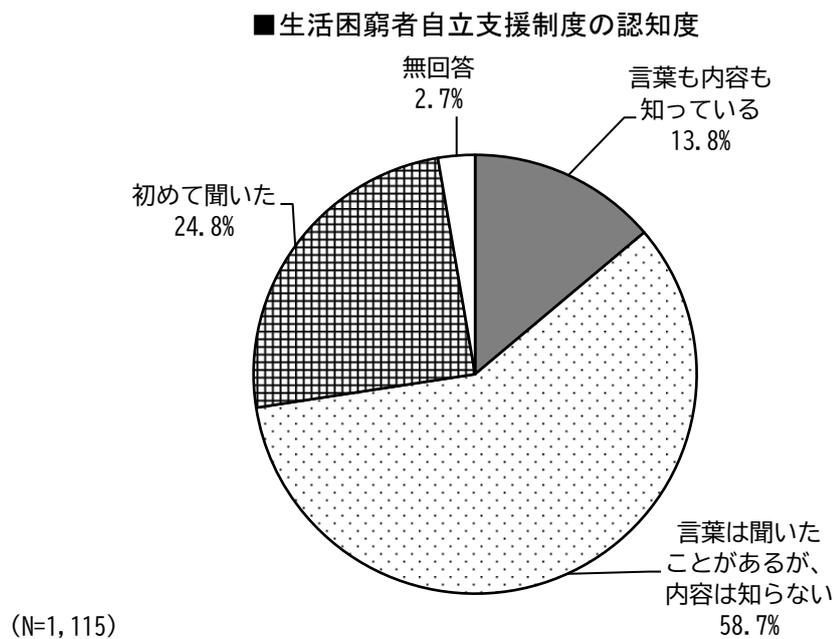
		合 計	1. 市民後見 人になり たい	2. 市民後見 人に興味 がある	3. 市民後見 人に興味 がない	4. 無回答
全 体		1,115 (100.0)	11 (1.0)	160 (14.3)	817 (73.3)	127 (11.4)
問40 市民後 見人	1. 利用したい	122 (100.0)	6 (4.9)	53 (43.4)	58 (47.5)	5 (4.1)
	2. 利用したいと思わない	196 (100.0)	1 (0.5)	20 (10.2)	169 (86.2)	6 (3.1)
	3. よくわからない	736 (100.0)	4 (0.5)	84 (11.4)	586 (79.6)	62 (8.4)
	4. 無回答	61 (100.0)	0 (-)	3 (4.9)	4 (6.6)	54 (88.5)

注:()内はサンプル数を100とした割合

8. 生活困窮者自立支援について

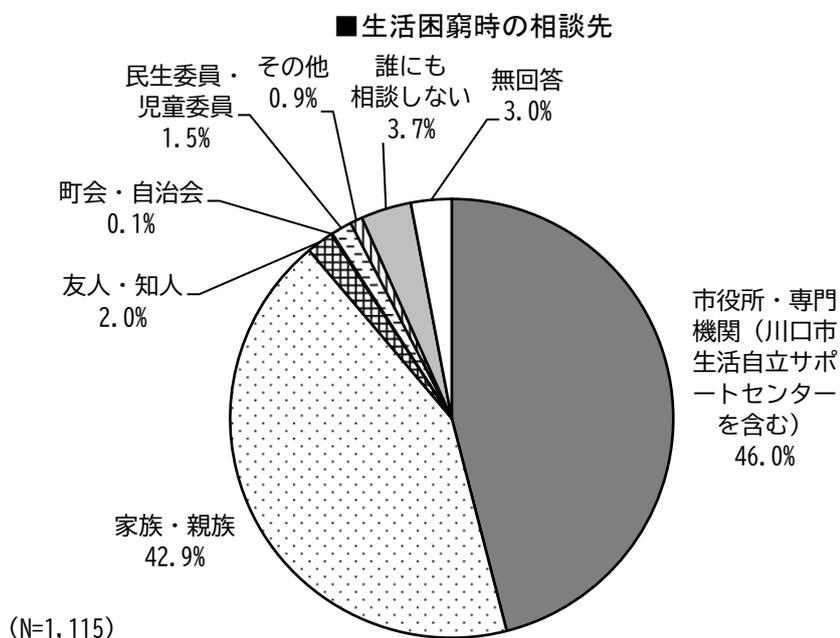
(1) 生活困窮者自立支援制度の認知度（問 42）

生活困窮者自立支援制度の認知度については、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が58.7%で最も多く、次いで「初めて聞いた」が24.8%、「言葉も内容も知っている」が13.8%、「言葉も内容も知っている」が13.8%となっています。



(2) 生活困窮時の相談先 (問 43)

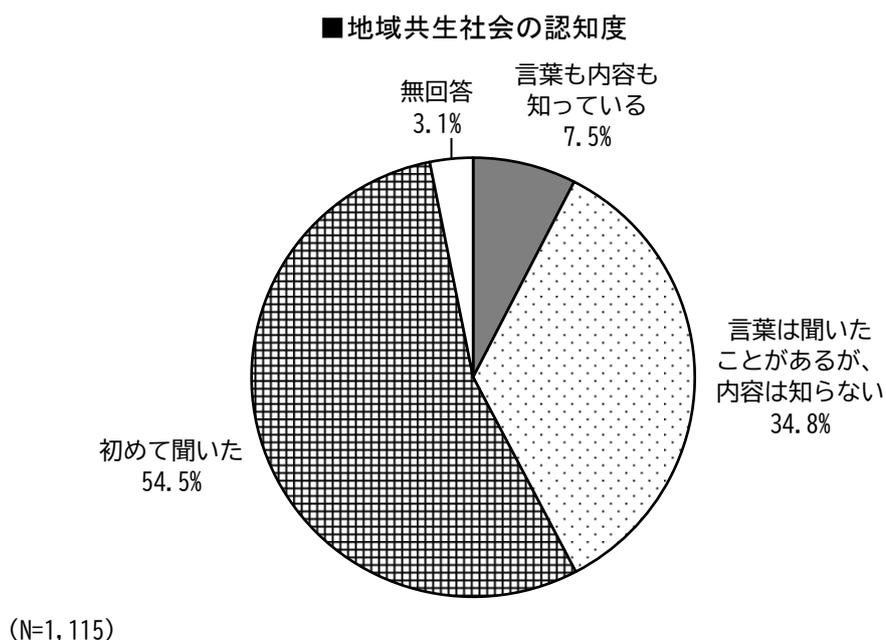
生活困窮時の相談先については、「市役所・専門機関（川口市生活自立サポートセンターを含む）」が46.0%で最も多く、次いで「家族・親族」が42.9%となっています。



9. 地域共生社会について

(1) 地域共生社会の認知度 (問 44)

地域共生社会の認知度については、「初めて聞いた」が54.5%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が34.8%となっています。



資料編

「(仮) 第3期川口市地域福祉計画」の策定に向けた アンケート調査のお願い

市民の皆様には、日ごろから市政に対し格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、川口市では、社会環境の変化や市民ニーズ等の実態を踏まえ、一層の地域福祉の増進を図るため、「(仮) 第3期川口市地域福祉計画」を策定することとなりました。

この調査は、川口市にお住まいの方々の生活状況や福祉に対するご意見をお聞かせいただき、「(仮) 第3期川口市地域福祉計画」に反映させていくための大切な基礎資料となるものです。

調査にあたりましては18歳以上の市民の方から無作為に対象者を選ばせていただきました。ご回答者の名前を記入せずにご回答いただき、皆様からのお答えはすべて統計的に処理します。本調査の目的以外に使用することはありませんので、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年6月

川口市長 奥ノ木 信夫

- 1 この調査票にお名前を記入する必要はありません。
- 2 ご記入は原則としてご本人にお願いします。ご本人がお答えになりにくい、あるいはできない場合には、ご家族の方がご本人の立場になってお答えください。
- 3 回答は、郵送による回答方法とインターネットによる回答方法があります。詳しくは次ページを参照ください。
- 4 お答えはあてはまる番号を○で囲んでください（インターネットの場合はあてはまる番号に☑チェック）。「その他」回答を選択した場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
なお、答えたくない質問に対しては無理にお答えいただかなくても結構です。
- 5 質問によっては、回答数やお答えいただく方が限られているものがありますので、断り書きにご注意ください。
- 6 郵送回答・インターネット回答いずれの回答方法の場合でも、**令和5年7月14日（金）**までにご回答ください。（郵送回答の場合、切手は不要です。）
- 7 記入にあたって、ご不明な点がある方やお困りの方は、下記のところまで気軽にお問い合わせください。

〈問合せ先〉

川口市役所 福祉部 福祉総務課

〒332-0032 川口市中青木1丁目5番1号（第二庁舎4F）

TEL：048-259-7929

FAX：048-255-3188

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします
★この調査では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

問1 あなたの性別をお答えください（ひとつに○）。

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・答えたくない |
|-------|-------|---------------|

問2 あなたの年齢をお答えください（ひとつに○）。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 18～39歳 | 3. 65～74歳 | 5. 85歳以上 |
| 2. 40～64歳 | 4. 75～84歳 | |

問3 あなたは、現在どなたと一緒に住まいかお答えください（あてはまるものすべてに○）。

- | | | |
|----------------|----------|-----------------|
| 1. 一人暮らし（自分のみ） | 5. 子の配偶者 | 9. あなたや配偶者の兄弟姉妹 |
| 2. 配偶者（65歳未満） | 6. 親 | 10. その他（ ） |
| 3. 配偶者（65歳以上） | 7. 祖父母 | |
| 4. 子 | 8. 孫・ひ孫 | |

問4 あなたの世帯の状況についてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

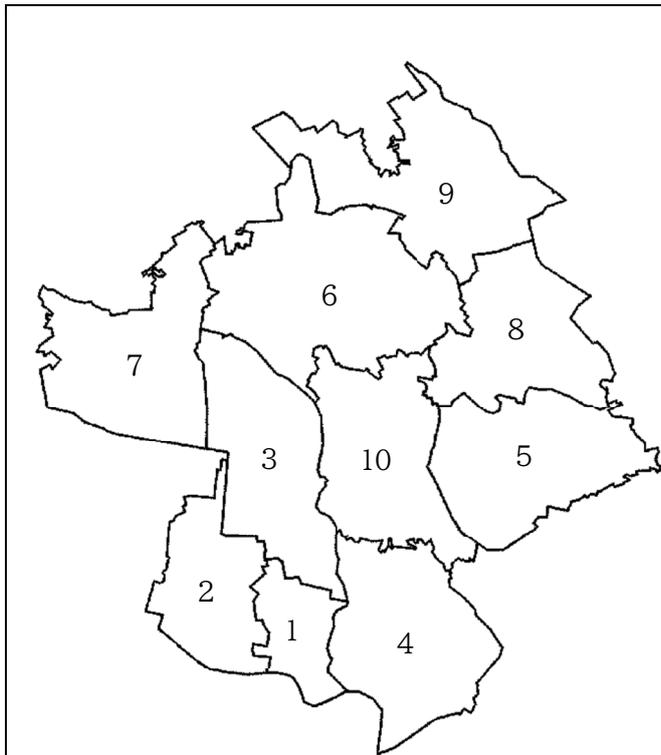
- | |
|--|
| 1. 子育てをしている（6歳未満） |
| 2. 子育てをしている（6歳以上18歳未満） |
| 3. 要介護（支援）認定を受けている方と同居している |
| 4. 要介護（支援）認定は受けていないが、介護が必要な高齢の方と同居している |
| 5. 介護が必要な障害のある方と同居している |
| 6. 同居はしてないが、介護が必要な方がいる |
| 7. ひきこもりの状態にある方と同居している |
| 8. 「1」から「7」に該当しない |

問5 あなたは、現在の収入での暮らしをどのように感じているかお答えください（ひとつに○）。

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ゆとりがある | 3. ふつう | 5. 大変苦しい |
| 2. ややゆとりがある | 4. やや苦しい | |

問6 あなたのお住まいの地域についてお答えください（ひとつに○）。

1. 中央地域（本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1～3丁目）
2. 横曽根地域（川口4～6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木）
3. 青木地域（青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川）
4. 南平地域（朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町）
5. 新郷地域（赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀、新堀町、榛松、江戸、江戸袋、本蓮）
6. 神根地域（安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町）
7. 芝地域（芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎）
8. 安行地域（安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽）
9. 戸塚地域（戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、北原台、戸塚鋏町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵）
10. 鳩ヶ谷地域（坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和）



生活の状況について

問7 あなたは、将来も川口市に住み続けたいと思いますか（ひとつに○）。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 3. できれば転出したい |
| 2. できれば住み続けたい | 4. 転出したい |

問8 あなたは、川口市の「1：良いところ」「2：改善すべきところ」は何だと感じますか（①～⑰についてあてはまるものすべてに○。※該当するものがない場合は回答不要）。

※各選択肢の（ ）内が「2：改善すべきところ」の文言	1	2
	と良いところ	と改善すべきところ
【回答例】①公共交通機関が便利（不便）である	①	2
①公共交通機関が便利（不便）である	1	2
②気軽に住民が利用できる会議室・集会所等がある（ない）	1	2
③暮らしや健康・福祉にかかわる公的制度の説明がある（ない）	1	2
④暮らしや健康・福祉等で相談に乗ってくれる窓口がある（ない）	1	2
⑤いつでもみってくれる医療機関が身近にある（ない）	1	2
⑥ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが良い（悪い）	1	2
⑦ひとり暮らしや高齢者などに対する見守り体制が十分（不十分）である	1	2
⑧障害や高齢者を抱えている家族を支援する体制が十分（不十分）である	1	2
⑨働く親の生活にあった学童保育や保育所がある（ない）	1	2
⑩老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど的高齢者の施設がある（ない）	1	2
⑪障害者の施設がある（ない）	1	2
⑫災害が起きた際にどうすれば良いか周知されている（いない）	1	2
⑬防犯対策が良くされている（悪い）	1	2
⑭近所で買い物がしやすい（しづらい）	1	2
⑮公民館などの文化拠点がある（ない）	1	2
⑯公園や緑地などの自然環境が豊富（不足）	1	2
⑰その他（ ）	1	2

問9 あなたは、次のような地域福祉の拠点や組織等を知っていますか（あてはまるものすべてに○）。

1. 社会福祉協議会	地域福祉を進める民間の福祉団体で、全国・都道府県・市区町村のそれぞれに組織されています
2. 民生委員・児童委員	地域住民の中から選ばれ、自らも地域に住む一員として、住民の見守りや相談活動を行なうボランティアのことで
3. 地域包括支援センター （高齢者の総合相談窓口）	高齢者やそのご家族の方の身近な相談窓口であり、介護・福祉・保健・医療など様々な面から総合的に支援を行っています
4. 生活自立サポートセンター	働きたくても就職活動がうまくいかない、将来が不安など、経済的な問題と併せて生活上の様々な問題に直面している方の支援を行っています
5. 地域子育て支援センター	在宅で子育てをしているお母さんを応援するため、様々な事業を企画し、また育児相談を受けています
6. 子ども発達相談センター （るるる）	子どもの発達について気になることや、心配なことなど、相談員が相談を受け付け、一緒に考えます
7. 子育て世代包括支援センター	妊娠・出産・子育てに関する相談を受けています
8. 障害者相談支援センター	地域で生活する障害のある方やご家族、関係機関の皆様からの相談に応じ、必要な情報提供や助言を行うことで、自立した日常生活または社会生活が送れるように総合的・継続的に支援します
9. 児童センター	乳幼児から小・中・高校生まで幅広い年代の子どもたちがいつでも自由に来て過ごすことができる場です
10. どれも知らない	

問10 あなたの悩みや不安は何ですか（○は3つまで）。

1. 自身の健康に関する事
2. 自身の仕事に関する事
3. 自身の老後（介護）に関する事
4. 家族の健康に関する事
5. 家族の老後（介護）に関する事
6. 生活費など経済的問題に関する事
7. 家族間のもめごとに関する事
8. 近所との関係に関する事
9. 育児や子育て、教育に関する事
10. 自分や家族の生活や状況（DVや嫁姑問題、ひきこもりなど）に関する事
11. 自分や家族の将来（進学、就職、結婚など）のこと
12. 移動（買い物や通院など）に関する事
13. 災害に関する事
14. 新型コロナウイルス感染症等の感染症への罹患に関する事
15. 住まい（持ち家、借家など）に関する事
16. その他（)
17. 悩みや不安はない

問11 あなたは、日々の生活で困ったことがあるときに誰に相談していますか（○は3つまで）。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 家族 | 10. 地域の相談窓口（地域包括支援センター、地域子育て支援センター、障害者相談支援センター、生活自立サポートセンターなど） |
| 2. 親戚 | |
| 3. （川口市にお住まいの）友人・知人 | |
| 4. （川口市以外にお住まいの）友人・知人 | |
| 5. 町会・自治会 | 11. 民生委員・児童委員 |
| 6. 職場の上司・同僚 | 12. 社会福祉協議会 |
| 7. 医療機関（医師を含む） | 13. ケアマネジャーなどがいる福祉サービス事業所 |
| 8. 教育機関（教師や保育士等を含む） | |
| 9. 市役所 | 14. インターネットの掲示板やSNS |
| | 15. その他（) |
| | 16. 相談しない |
- ↓

問11で「16. 相談しない」と回答した方にうかがいます。

それ以外の方は問12にお進みください。

問11-2 相談しない理由は何ですか（ひとつに○）。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 他人に頼らずに、自分で解決したい | 4. 自分や家族のことを他人に知られたくない |
| 2. 気軽に相談できる相手がない | 5. その他（) |
| 3. 誰に相談すればいいかわからない | 6. 相談すべきことがない |

問16 あなたは、近所付き合いの関係を、今後どうしていきたいですか（ひとつに○）。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 近所付き合いを深めたい | 3. 近所付き合いはなるべくしたくない |
| 2. 現状のままでよい | 4. 近所付き合いをやめたい |

問17 あなたは、次の①～③の項目について、どのくらいの頻度で感じていますか（それぞれひとつに○）

	1 決してない	2 ほとんどない	3 ときどきある	4 常にある
①自分には人との付き合いがないと感じる	1	2	3	4
②自分は取り残されていると感じる	1	2	3	4
③自分は他の人たちから孤立していると感じる	1	2	3	4

問18 川口市内で活動されている外国人とあなたとの交流について、現在の交流だけでなく、過去の交流も含めてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

- | |
|--|
| 1. 友人として交流している
2. 自分や家族などが外国人と結婚している
3. 職場が一緒である
4. 国際交流等のグループで共に活動している
5. 地域活動の場（自治会やお祭り等の行事など）で共に活動・参加している
6. 学校などで共に勉強している
7. 子どもの学校の活動（PTAなど）で共に活動している
8. 趣味や娯楽のサークル等で共に活動している
9. あいさつ（「こんにちは」と声をかけるなど）程度の付き合いがある
10. 外国人と交流したことがない
11. その他（ ） |
|--|

問19 あなたがお住まいの地域では、高齢や障害、子育て、ひきこもり、貧困・困窮、ヤングケアラー、外国籍などを含めて、お互いの生活を地域全体で支えあっていると感じますか（ひとつに○）。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 感じている | 4. 感じていない |
| 2. 少しは感じている | 5. わからない |
| 3. あまり感じていない | |

問20 あなたのお住まいの近所に、日常生活を送るうえで気にかかる方（支援が必要と思われる）はいますか（ひとつに○）。いる場合は、該当する番号（①～⑬）に○をつけてください（あてはまるものすべてに○）。

1. いる (①～⑬のうちあてはまるものすべてに○)	①高齢者のみの世帯（単身含む）	⑧経済的に困っている人
	②認知症の人	⑨ヤングケアラー
	③障害のある人	⑩虐待の心配がある人
	④病気の人	⑪外国籍の人
	⑤子育てをしている人	⑫地域から孤立している人
	⑥閉じこもりの人（高齢者）	⑬その他
	⑦ひきこもりの人	()
2. いない		
3. わからない		

問20で「1. いる」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は問21にお進みください。

問20-2 近所で気にかかる方に、あなたが現在していることはありますか（あてはまるものすべてに○）。

1. 日常（安否確認）の声掛け	7. 短時間の子どもの預かり
2. 話し相手	8. 子育ての相談
3. ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）	9. 生活についての相談
4. 食事のおすそわけ	10. 行政や関係機関等への連絡
5. 外出や通院の付き添い	11. その他 ()
6. 病気の看病	12. 特にしていることはない

問21 近所に困っている方がいる場合、「1：あなたができること」は何ですか。また、あなたが日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合、「2：地域の方々に手助けをしてもらいたいこと」は何ですか（①～⑬についてあてはまるものすべてに○。※該当するものがない場合は回答不要）。

	1	2
	あなたができること	地域の方々に手助けをしてもらいたいこと
【回答例】①日常（安否確認）の声掛け	①	2
①日常（安否確認）の声掛け	1	2
②話し相手	1	2
③ちょっとした家事（買い物、食事づくり、ゴミ出し、掃除・洗濯など）	1	2
④食事のおすそわけ	1	2
⑤外出や通院の付き添い	1	2
⑥病気の看病	1	2
⑦短時間の子どもの預かり	1	2
⑧子育ての相談	1	2
⑨生活についての相談	1	2
⑩行政や関係機関等への連絡	1	2
⑪その他 ()	1	2
⑫特にできることはない	1	
⑬手助けしてもらいたいことはない		2

問22 あなたは、日常生活に困りごとがあったときや、気がかりな人に気づいたとき、どのような仕組みがあると解決に向けて行動ができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)。

1. 身近な相談窓口で相談後、必要に応じて専門的な知識を持つ窓口を紹介してもらえる
2. 市役所で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる
3. 相談が必要な人を発見し、窓口につなぐ
4. 相談から支援へつなぐことができる、関係者間のネットワーク
5. 集いの場やサロンで福祉の専門職が相談にのる
6. 福祉の専門職が地域に出向いて相談にのる
7. 住民同士が気軽に集まることのできる場をつくる
8. その他 ()
9. 特にない

問23 地域で助け合いの輪を広げていくために、特に必要だと思うことはどのようなことですか(○は3つまで)。

1. 住民自身が日ごろから地域のつながりをもつように心がけること
2. 地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること
3. 町会・自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること
4. 地域でのボランティアやNPO活動の気運を高めること
5. 助け合いのきっかけとなる事業や活動を新しく企画すること
6. 困った人や助けを必要とする人のニーズを十分に把握できるようにすること
7. 行政による相談窓口や側面的援助を充実させること
8. 社会福祉協議会等の地域福祉の取組と連携すること
9. 地域活動の機能を強化すること
10. その他 ()
11. 特に必要と思うことはない

問32 地域の市民同士の助け合い（互助）が以前にも増して大切な時代になってきていますが、地域における福祉について、あなたはどのように考えますか（ひとつに○）。

- | |
|--|
| 1. できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい |
| 2. 地域の人が互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい |
| 3. 福祉や地域のことは、行政がしっかりと面倒を見るべきである |
| 4. 福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである |
| 5. その他（ ） |
| 6. わからない |

問33 地震などの災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことですが、あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが必要だと思いますか（○は3つまで）。

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 災害対策の学習会 | 6. 地域の要援護者の把握 |
| 2. 日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い | 7. 要援護者に対する情報伝達体制の構築 |
| 3. 地域での避難訓練 | 8. 災害ボランティアの育成 |
| 4. 危険箇所の把握 | 9. その他（ ） |
| 5. 地域における援助体制の構築 | |

再犯防止について

問34 あなたは、再犯防止に協力する次のような民間協力者の方々を知っていますか（あてはまるものすべてに○）。

1. 保護司	犯罪をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア
2. 更生保護女性会	地域社会の犯罪の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした者の改善更生に協力することを目的とする女性のボランティア団体
3. 協力雇用主	犯罪をした者等を、その事情を理解したうえで雇用する事業主
4. BBS会	様々な問題を抱える少年少女と兄や姉のような身近な存在として接しながら、少年が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくことを支援するとともに、地域に根差した非行防止活動を行う青年ボランティア団体
5. 更生保護施設	矯正施設から釈放された人や保護観察中の人で、身寄りがなかったりや現在住んでいるところでは更生が妨げられるおそれがある等の理由で、直ちに自立することが困難な人に対し、一定期間宿泊場所や食事を提供する民間の施設
6. 教誨師	矯正施設の被収容者に、希望に応じて宗教教誨を行う民間の篤志宗教家
7. 篤志面接委員	矯正施設の被収容者に対し、民間の篤志家による専門的知識や経験に基づいた助言・指導を行う
8. 少年補導員	地域における街頭補導活動、有害環境浄化活動など、幅広い非行防止活動に従事する少年ボランティア
9. 少年指導委員	少年を有害な風俗環境の影響から守るための少年補導活動や風俗営業者等への助言活動を行う少年警察ボランティア
10. 少年警察協助力員	暴走族などの非行集団に所属する少年を集団から離脱させ、非行を防止するための指導相談等に従事する少年警察ボランティア
11. その他（ ）	
12. いずれも知らない	

問35 あなたは、「社会を明るくする運動※」という言葉や内容を知っていますか（ひとつに○）。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 初めて聞いた

※「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行の防止と犯罪をした人の更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、安全・安心な地域社会を築こうとする全国的な運動のこと。

問36 あなたは、再犯防止のために行政が取り組むべきものはどれだと思いますか（あてはまるものすべてに○）。

1. 再犯防止のための計画を策定する
2. 犯罪をした人を地方公共団体の機関で雇用する
3. 市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする
4. 再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする
5. 犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る
6. その他（)
7. わからない

問37 刑務所や少年院を出た人が立ち直り、地域の一員として生活できるように支援することについて、あなたの考えに近いものは次のどれですか（ひとつに○）。

1. 積極的に支援すべきである
2. 立ち直りが可能そうな人のみに支援すべきである
3. 特別な支援や配慮は必要ない
4. わからない
5. その他（)

問37で「1」「2」に回答した方にうかがいます。それ以外の方は問38にお進みください。

問37-2 支援すべきことは次のうちどれだと思いますか（○は3つまで）。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 住まいの確保支援 | 5. 地域住民の理解 |
| 2. 就労支援 | 6. 仲間づくり、居場所づくりへの支援 |
| 3. 就学支援 | 7. 定期的な訪問等による助言や援助 |
| 4. 経済的な支援 | 8. その他（) |

(仮) 第3期川口市地域福祉計画の策定に向けた
アンケート調査報告書
令和5年10月

発行：川口市

住所：〒332-8601 埼玉県川口市青木2丁目1番1号

電話：048-258-1110（代表）